



Propel

ソフトウェアバージョン: 2.20

HPE Propel管理者ヘルプ

ドキュメントリリース日: 2016年7月

ソフトウェアリリース日: 2016年7月

ご注意

保証

Hewlett Packard Enterprise 製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとします。ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、Hewlett Packard Enterprise はいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、Hewlett Packard Enterprise からの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR 12.211 および 12.212 の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© 2014 - 2016 Hewlett Packard Enterprise Development LP

商標について

Adobe® は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。

Microsoft® および Windows® は、米国における Microsoft Corporation の登録商標です。

UNIX® は、The Open Group の登録商標です。

ドキュメントの更新情報

このマニュアルの表紙には、以下の識別情報が記載されています。

- ソフトウェアバージョンの番号は、ソフトウェアのバージョンを示します。
- ドキュメントリリース日は、ドキュメントが更新されるたびに更新されます。
- ソフトウェアリリース日は、このバージョンのソフトウェアのリリース期日を表します。

更新状況、およびご使用のドキュメントが最新版かどうかは、次のサイトで確認できます。<https://softwaresupport.hp.com/>

このサイトを利用するには、HP Passport に登録してサインインする必要があります。HP Passport ID に登録するには、HP ソフトウェアサポートサイトで **[Register]** をクリックするか、HP Passport ログインページで **[Create an Account]** をクリックします。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPE の営業担当にお問い合わせください。

サポート

次の HP ソフトウェアサポートサイトを参照してください。<https://softwaresupport.hp.com>

このサイトでは、HP のお客様窓口のほか、HP ソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HP ソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HP ソフトウェアサポート Web サイトのサポート範囲は次のとおりです。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HP サポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passport ユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport ID に登録するには、HP サポートサイトで **[Register]** をクリックするか、HP Passport ログインページで **[Create an Account]** をクリックします。

アクセスレベルの詳細については、次の Web サイトをご覧ください。<https://softwaresupport.hp.com/web/softwaresupport/access-levels>

HP Software Solutions Now は、HPSW のソリューションと統合に関するポータル Web サイトです。このサイトでは、お客様のビジネスニーズを満たす HP 製品ソリューションを検索したり、HP 製品間の統合に関する詳細なリストや ITIL プロセスのリストを閲覧することができます。このサイトの URL は <http://h20230.www2.hp.com/sc/solutions/index.jsp> です。

この PDF 版 オンラインヘルプについて

本ドキュメントは PDF 版のオンラインヘルプです。この PDF は、ヘルプ情報から複数のトピックを簡単に印刷したり、オンラインヘルプを PDF 形式で閲覧できるようにするために提供されています。このコンテンツは本来、オンラインヘルプとして Web ブラウザーで閲覧することを想定して作成されているため、トピックによっては正しいフォーマットで表示されない場合があります。また、インタラクティブトピックの一部はこの PDF 版では提供されません。これらのトピックは、オンラインヘルプから正しく印刷することができます。

目次

スタートパッド	7
スタートパッドのセクション	7
タスク	7
アバターとアクションのドロップダウンリスト	9
はじめに	9
検索	14
カタログ管理	16
カタログ	17
カタログの管理	18
カタログの詳細の表示	20
カタログの編集	21
カタログ内のアイテムの管理	22
カタログのアクセス制御の付与	23
カタログ承認ポリシーの管理	24
ローカライズ言語でのカタログの表示	25
カタログアイテム	26
カタログアイテムの追加	29
カテゴリへのカタログアイテムの追加	30
カスタム発行済みアイテムの作成	31
カタログアイテムの価格の非表示	34
カタログアイテムの編集	35
タブを使用したカタログアイテムの管理	36
カタログアイテムの概要	38
カタログアイテムのフォーム	40
カタログアイテムのパラメーターエイリアス	43
カタログアイテムの価格設定	47
カタログアイテムのギャラリー	49
カタログアイテムの添付ファイル	52
カタログアイテムのアクセス制御	55
カタログアイテム承認ポリシー	58
カタログアイテムのサービス	61
カタログアイテムのバンドルアイテム	65

カタログアイテムの発行	69
カタログアイテムの削除	71
カテゴリからのカタログアイテムの削除	73
カタログアイテムの発行解除	74
ローカライズ言語でのカタログアイテムの表示	76
カテゴリ	78
カテゴリの詳細の表示	78
サブカテゴリの追加	79
カテゴリの詳細の編集	80
カテゴリの削除	81
ローカライズ言語でのカテゴリの表示	82
カタログ接続	83
カタログ集約の詳細の表示	86
カタログ集約の追加	87
カタログ集約の削除	90
カタログ集約の編集	91
カタログ集約の解決	92
カタログアイテムの編集	93
カタログアイテムの発行	94
カタログ集約の再起動 (再集約)	95
サプライヤー	97
サプライヤーの詳細の表示	98
サプライヤーの追加	100
サプライヤー用のSSLの構成	101
LWSSOの構成	103
サプライヤーの詳細の編集	104
サポート要求の同期	105
サプライヤーの削除	106
ポリシー	106
ポリシーの詳細の表示	108
ポリシーの作成	109
ポリシーの詳細の編集	111
ポリシーの削除	112
ビジネスプロセス	113
ビジネスプロセスの表示	115

ビジネスプロセスの詳細の表示	118
ビジネスプロセスの複製	119
ビジネスプロセスの編集	120
HPE Propelプロセスエディターの使用	123
ビジネスプロセスの作成	146
ビジネスプロセスの削除	147
ビジネスプロセスの発行	148
ビジネスプロセスのバージョン	148
承認ポリシーとして使用されるビジネスプロセス	148
ID管理	150
組織の管理	152
言語の管理	155
認証の管理	157
カスタマイズの管理	162
ウィジェット	165
ロールの管理	166
グループの管理	170
アクセス許可の管理	174
偽装の管理	179
HPE Propel自動化ライセンス	181
HPE SXコンテンツ管理	183
コンテンツパックの表示	184
コンテンツパックのダウンロード	184
コンテンツパックのアップロード	184
コンテンツパックの削除	185
コンテンツパックの詳細	186
診断	187
HPE Propelサービスのステータスの表示	188
HPE Propelサービスの詳細の表示	189
サプライヤーのステータスの表示	190
サプライヤーの詳細の表示	190
ドキュメントのフィードバックの送信	193

スタートパッド

HPE Propel スタートパッドによろ。ここからコンシューマーは、ITサービスのオーダー、トラッキング、管理、ナレッジ記事へのアクセスなどを実行できます。管理者は、カタログ、組織、カタログアイテムの管理など、管理タスクを実行できます。

スタートパッドのセクション

スタートパッドコンテンツは、いくつかの領域またはセクションに分かれています。

バナー - スタートパッドのこの領域は管理者がカスタマイズでき、一般的には、背景画像、バナー、または一定の間隔で順番に切り替わる画像のグループが表示されます。

次のものも表示される場合があります。

- HPE Propelの製品ロゴまたはお客様の組織のロゴ
- アプリケーションを起動するための1つ以上のボタン
- ユーザーのアバター。これをクリックすると、追加のナビゲーションオプションを含むドロップダウンリストが表示されます。詳細については、「[アバターとアクションのドロップダウンリスト](#)」(9ページ)を参照してください。

バナーの下 の隅の矢印をクリックすると、このコンテンツを展開または最小化することができます。

自分の情報 (コンシューマーおよび組織管理者が利用可能)

このセクションには次の内容が含まれます。

- HPE Propel Webサイトリンク
- 現在の日付と時刻

自分のアプリケーション

スタートパッドの [**マイ アプリケーション**] セクションには、ユーザーがクリックしてアクセスできるアプリケーションのタイルが表示されています。このセクションで実行できるタスクの詳細については、「[タスク](#)」を参照してください。

タスク

ユーザーが実行できるタスクは、ユーザーのロールによって決まります。次の各項目に関する詳細情報は、HPE Propelコンシューマーヘルプまたは管理者ヘルプに記載されています。

次のタイルは、コンシューマータスクに関連しています。

- ナレッジ - ナレッジ記事へのアクセス
- サポートの要求 - サポートの要求支援
- サービス - サービスサブスクリプションの管理
- ショップ - カタログアイテムのオーダー

次のタイルは、組織管理タスクに関連しています。

- ビジネスプロセス - HPE Propelのポリシーとプロセスの作成、カスタマイズ、管理
- カタログ - カタログの作成と管理
- カタログアイテム - カタログアイテムの作成と管理
- カテゴリ - カタログ内のアイテムのグループ化に使用するカテゴリの作成と管理
- カタログ接続 - エンドポイントシステムからインポートされたカタログアイテムを含むカタログ集約の作成と管理
- ポリシー - 承認ポリシーの作成と管理
- サプライヤー - エンドポイントフルフィルメントシステム (別名 サプライヤー) の作成と管理

次のタイルは、管理タスクに関連しています。

- コンテンツ管理 - Service Exchangeコンテンツパックの管理
- 診断 - 基本的なモニタリングおよび正常性チェックデータの表示
- ID - 組織の作成と管理、ライセンスの管理

アプリケーションにアクセスすると、詳細情報をヘルプで参照できます。

その他のアクション

HPE Propelビュー上部にあるアバターをクリックすると、その他のアクションが表示されます。詳細については、「[アバターとアクションのドロップダウンリスト](#)」(9ページ)を参照してください。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel Admin Helpについては、[ここ](#)をクリックし、最新英語バージョンのHPE Propel Consumer Helpについては、[ここ](#)をクリックして、HPE Passportの資格情報(ユーザーIDとパスワード)を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト(<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>)をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、[Sign In]をクリックします。検索テキストボックスに「Propelヘルプ」と

入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

アバターとアクションのドロップダウンリスト

HPE Propelビューには、アバターが表示されます。アバターとは、ユーザーを示す画像です。一般的に、ユーザー名の最初のイニシャルを円で囲った画像が使用されます。

アバターは、ユーザーインターフェイスの一番上に表示されます。アバターをクリックすると、ドロップダウンリストが開き、他のナビゲーションオプションにアクセスできます。次のオプションは、すべてのビューで表示されません。

- **バージョン情報** - 製品名とバージョン番号が表示されます。
- **ヘルプ** - コンテキスト依存のオンラインヘルプが開きます。
- **ログアウト** - ログアウトし、ユーザーセッションを終了します。
- **自分のワークストリーム** - 最新の5つの未読ワークストリームフィードのリストを表示するか、すべてのフィードを表示できる **[自分のワークストリーム]** ビューに移動します。

次のオプションは、コンシューマー向けのビューで表示されます。

- **承認** - 承認が必要な要求を表示および管理できる、**[承認リスト]** ビューに移動します。
- **カート** - **[ショッピングカート]** ビューが開きます。カートの内容の変更やオーダーを実行できます。
- **オーダー** - **[オーダー]** ビューが開きます。オーダーやオーダーの詳細を表示できます。
- **サポート要求** - **[サポートカタログ]** ビューが開きます。サポート要求の参照や管理などを実行できます。

次のオプションは、管理者向けのビューで表示されます。

- **ライセンス** - 製品ライセンス情報を表示および管理します。

はじめに

はじめにお読みください。

- 「前提条件」(10ページ)
- 「ユーザーインターフェイスのカスタマイズ」(10ページ)
- 「適応型コンテンツ」(11ページ)
- 「言語表示」(11ページ)
- 「ログイン」(12ページ)
- 「ログアウト」(12ページ)
- 「オンラインヘルプ」(13ページ)

前提条件

次の要件を確認してください。

- HPE Propelは、httpsを使用し、デフォルトでポート9000で稼働します。スタートパッドをカスタマイズしている場合は、ポートまたはプロトコルが変更されているかどうかをPropel管理者に問い合わせてください。
- サポートされるブラウザを使用してください。サポートされる最小画面解像度は1024×768です。よりよい結果を得るため、HPEでは、1280×1024の画面解像度を推奨しています。サポートされるブラウザの詳細については、HPE Propelサポート一覧表を参照してください。
- デフォルトのURL形式は次のとおりです。`https://<HOST>:9000/org/<ORG_ID>`

パスワードのセキュリティ

admin、consumer、idmTransportUserなどのユーザーアカウントのパスワードを暗号化するために、マスターパスワードが使用されます。組織内のセキュリティのベストプラクティスとして、インストールプロセス時にデフォルトのマスターパスワードを変更することをお勧めします。『HPE Propel Administration Guide』を参照してください。

ユーザーインターフェイスのカスタマイズ

エンドユーザーが、HPE Propelのユーザーインターフェイスで組織のブランドの使用を希望することがあります。

組織のブランドスタイルや標準をサポートするため、スタートパッドのアイコン、タイトル、ようこそメッセージ、フッターメッセージ、ウィジェット、セキュリティ分類といった特定のユーザーインターフェイス要素をカスタマイズできます。ユーザーインターフェイス要素のカスタマイズ方法については、HPE Propelスタートパッドのカスタマイズドキュメントを参照するか、Propel管理者に問い合わせてください。

適応型コンテンツ

ユーザーインターフェイスレイアウトは、さまざまな画面サイズに適応するように設計されており、コンテンツはサイズに応じて自動的に調整されて、すべての機能が画面に表示されます。デスクトップ、タブレット、またはその他のモバイルデバイスでの表示が可能です。これらのデバイス画面上に、わかりやすいユーザーインターフェイスが表示され、すべての機能が含まれます。画面解像度の要件とベストプラクティスについては、「[前提条件](#)」(10ページ)を参照してください。


言語表示

デフォルトでは、ユーザーインターフェイスは左から右へと表示されます。アラビア語やヘブライ語など一部の言語では、右から左への表示を、サポートしているブラウザで設定できます。

- ポータルの一部のナビゲーションコンポーネント (組織のロゴやユーザーアバターなど) は、ブラウザで設定した言語に応じて右側または左側に表示されます。
- 入力フィールドでは、右から左へテキストを入力できます。


Google Chromeでの言語表示設定

Chromeブラウザで言語を設定するには、次の手順を実行します。

1. Chromeのドロップダウンメニューで[設定]を選択します。
2. [設定] ウィンドウで[詳細設定を表示]を選択します。
3. 言語のセクションで[言語と入力の設定]をクリックします。
4. 言語ペインで[追加]をクリックします。
5. 言語の追加ウィンドウで、ドロップダウンリストからサポートされる言語を選択します。
6. [OK]をクリックします。
7. 表示に使用する言語を選択して、言語リストの一番上までドラッグします。
8. 言語ウィンドウに戻ったら、[完了]をクリックします。
9. ログアウトした後にログインし直すと、選択した言語表示に変わります。この言語設定は、変更するまで保持されます。

Mozilla Firefoxでの言語表示設定

Firefoxブラウザで言語を設定するには、次の手順を実行します。

1. Firefoxのド ロップダウンメニュー  で [オプション] を選択します。
2. オプションウィンドウで、[コンテンツ] タブを選択します。
3. 言語セクションで、表示する言語を選択するために [言語設定] をクリックします。
4. 言語 ウィンドウが開いたら、[追加する言語を選択] ドロップダウンリストで、サポートされる言語を選択し、[追加] をクリックします。
5. 表示に使用する言語を選択して [上に移動] をクリックし、リストの一番上に移動します。
6. [OK] をクリックして、変更を保存します。
7. ログアウトした後にログインし直すと、選択した言語表示に変わります。この言語設定は、変更するまで保持されます。

注: ナビゲーションコンポーネントは、ブラウザーの言語設定に応じてユーザーインターフェイスの右または左に表示されます。

ログイン

ログインするには、次の手順を実行します。

1. ブラウザーウィンドウを開きます。
2. Propel管理者が指定したURLを入力します。起動ページが表示されます。
3. [ログイン] をクリックします。ログインページが表示されます。
4. [ユーザー名] と [パスワード] を入力して、[ログイン] をクリックします。
 - ログイン要求トークンが無効または期限切れの場合、警告メッセージが表示され、有効な資格情報を入力できます。
 - HPE Propel スタートパッドはシングルサインオンをサポートするため、組織の設定に応じてログイン画面は異なる可能性があります。詳細については、Propel管理者にお問い合わせください。

ログアウト


ログアウトするには、次の手順を実行します。

- 上部にあるユーザーアバターをクリックし、ドロップダウンリストから [ログアウト] を選択します。
HPE Propelのセッションが終了します。

戻るナビゲーション

ポータル上の任意のビューで、バナーの下の見出しにあるアプリケーションアイコンをクリックすると、現在のアプリケーションの最初に戻ることができます。見出しのPropelアイコンまたは組織アイコンをクリックすると、スタートパッドにアクセスできます。

検索

検索ツール  はほとんどのビューに表示されます。これをクリックすると、入力したテキストをベースにオブジェクトを検索できます。詳細については、「[検索](#)」(14ページ)を参照してください。

オンラインヘルプ

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel Admin Helpについては、[ここ](#)をクリックし、最新英語バージョンのHPE Propel Consumer Helpについては、[ここ](#)をクリックして、HPE Passportの資格情報(ユーザーIDとパスワード)を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト(<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>)をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、[Sign In]をクリックします。検索テキストボックスに「Propelヘルプ」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

オンラインヘルプには、HPE Propelの任意のビューからアクセスできます。コンテキスト依存オンラインヘルプでは、タスクの実行方法を確認できます。

オンラインヘルプへのアクセス

1. ビューでユーザーアバターのドロップダウンリストをクリックするか、[ヘルプ]を選択してオンラインヘルプを開きます。
2. コンテキスト依存のヘルプが表示されます。左側のナビゲーションペインにあるサブフォルダーを選択すると、目次が展開され、別のトピックを表示することができます。
3. 検索ボックスでは、キーワードでトピックを検索できます。
4. (オプション) ブラウザーを使用して、トピックをお気に入りまたはブックマークに保存できます。
5. (オプション) トピックの最下部にある[ヘルプセンターのフィードバックの送信]リンクをクリックして、ヘルプ情報の改善の要望を送信できます。

検索

consumerまたは**orgadmin**ロールでログインした場合、その検索機能を使用して各アプリケーションの情報を検索できます。さらに、HPE Propel **スタートパッド** および**サポートの要求** アプリケーションで利用可能な**Propel**の**検索**機能を使用して、HPE Propelをより広範に検索できます。


ショップの検索、サポートの要求、ナレッジの各アプリケーションは、検索にHPE IDOL (Intelligent Data Operating Layer)を使用します。IDOLでのPropel検索の詳細については、『IDOLによるHPE Propel検索』ホワイトペーパーを参照してください。

IDOL検索のポップヒント

次に、いくつかの基本的なIDOL検索のヒントを示します。IDOLでのPropel検索の詳細については、『IDOLによるHPE Propel検索』ホワイトペーパーを参照してください。

- **ワイルドカード検索** - 検索文字列にワイルドカードを使用します。疑問符 (?) は単一の文字を表し、アスタリスク (*) は任意の数の文字を表します。
- **完全一致のフレーズ検索** - 検索文字列を二重引用符 (") で囲みます。これにより、IDOLは完全一致の文字列のみを検索し、完全一致の検索文字列が見つからなかった場合に関連性がある結果を検索しなくなります。
- **ブール値検索** - AND、NOT、OR、およびその他の演算子を使用して、ブール式検索を実行します。

Propelの検索

[**Propel**の**検索**] テキストボックスにテキストを入力し、指定されたキーワードまたは文字列に基づいて関連するコンテンツを検索し、検索アイコン  をクリックします。検索されるコンテンツには、**ショップ**、**ナレッジ**、および**サポートの要求**の各アプリケーションで見つかったものが含まれます。検索結果ビューには、関連するコンテンツ、およびそのコンテンツが見つかったアプリケーションのリストが表示されます。検索結果をクリックして、特定のコンテンツに移動するか、アプリケーションをクリックして、そのアプリケーション専用の詳細な検索結果を表示します。

検索結果のソート

デフォルトでは、検索結果は最も関連性が高いものが最初に表示されます。ソート順は、ドロップダウンリストで、日時が新しい順、日時が古い順、価格、アルファベット昇順、アルファベット降順などから選択できます。

検索結果のフィルター

コンテンツの表示結果をさらに絞り込むには、コンテンツの検索対象となる特定のアプリケーションを選択します。アプリケーションドロップダウンリストを使用して、使用可能なすべてのアプリケーション、または特

定のアプリケーションを選択します。検索されるコンテンツには、**ショップ、ナレッジ、およびサポートの要求**の各アプリケーションで見つかったデータが含まれます。

カタログ管理

組織管理者は、次のアプリケーションを使用して、カタログアイテム、オーダーフルフィルメント承認ポリシーを提供するカタログおよびサプライヤーを管理できます。

- 「[カタログ](#)」(17ページ) - コンシューマーフルフィルメント用の発行済みカタログアイテムを含む、HPE Propelカタログを作成および管理します。
- 「[カタログアイテム](#)」(26ページ) - HPE Propel カatalogアイテムを作成および管理します。
- 「[カテゴリ](#)」(78ページ) - カatalog内のカタログアイテムをグループ化するために使用される、HPE Propelカテゴリを作成および管理します。
- 「[カタログ接続](#)」(83ページ) - HPE Service Manager (SM)やHPE Cloud Service Automation (CSA)などのエンドポイントシステム (HPE Propelサプライヤー) から、カタログアイテムを集約 (インポート) します。
- 「[サプライヤー](#)」(97ページ) - カatalogアイテムのインポート (集約) 元となるサプライヤーとHPE Propelの統合を管理します。
- 「[ポリシー](#)」(106ページ) - コンシューマーがHPE Propelポータルで実行した、オーダーの承認要件を制御するポリシーを作成および管理します。
- 「[ビジネスプロセス](#)」(113ページ) - ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整する、ビジネスプロセスを作成および管理します。

ヘルプの目次を展開すると、このヘルプに含まれるすべてのトピックを表示できます。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

Hewlett Packard Enterprise製品の詳細については、HPE Webサイト (www.hpe.com) をご覧ください。

カタログ

概念

カタログには、HPE Propelポータルの発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマーフルフィルメントに使用できます。

カタログにはカテゴリが含まれます。カテゴリに基づいて、カタログ内のカタログアイテムをグループ化できます。

タスク

- 「[カタログの管理](#)」(18ページ) - カタログの表示、ソート、追加、削除を行います。
- 「[カタログの詳細の表示](#)」(20ページ) - カタログの詳細 (名前、説明など) を表示します。
- 「[カタログの編集](#)」(21ページ) - カタログの詳細を編集します。これには、名前、説明、表示に使用する画像などがあります。
- 「[カタログ内のアイテムの管理](#)」(22ページ) - カタログのカタログアイテムを表示および管理します。
- 「[カタログのアクセス制御の付与](#)」(23ページ) - カタログにアクセス可能なユーザーを表示および管理します。
- 「[カタログ承認ポリシーの管理](#)」(24ページ) - カタログの承認ポリシーを表示および管理します。
- 「[ローカライズ言語でのカタログの表示](#)」(25ページ) - カタログを表示する言語を設定し、その言語にカタログを翻訳します。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者 ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

カタログの管理

概念

カタログには、HPE Propelポータルが発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマーフルフィルメントに使用できます。

組織管理者は、カタログを表示、作成および管理するため、**カタログアプリケーション**を使用します。カタログを使用することで、コンシューマーフルフィルメント用にカタログアイテムをHPE Propelポータルに発行できます。

タスク

[**カタログ**] 詳細ビューでは、次のタスクを実行します。

- 「[カタログのリストの表示](#)」(18ページ)
- 「[カタログのリストのソート](#)」(18ページ)
- 「[カタログの追加](#)」(19ページ)
- 「[カタログの削除](#)」(19ページ)

カタログのリストの表示

カタログのリストを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアプリケーション**をクリックします。[**カタログ**] ビューにすべてのカタログが表示されます。

ヒント: カatalogのリストをフィルターするには、検索条件を入力します。指定した検索条件に一致するカタログのみが表示されます。

カタログのリストのソート

注: このタスクは、[**カタログ**] ビューで実行します (詳細については「[カタログのリストの表示](#)」(18ページ)を参照してください)。

カタログのソート順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. ドロップダウンリストを開きます。
2. 次の中からソート順序を選択します。[日時が新しい順]、[日時が古い順]、[アルファベット昇順]、または [アルファベット降順]。

カタログの追加

注: このタスクは、[カタログ]ビューで実行します (詳細については「[カタログのリストの表示](#)」(18ページ)を参照してください)。

新しいカタログを作成するには、次の手順を実行します。

1. [カタログ]ビューで **カタログの追加** をクリックします。
2. [新規カタログ] ダイアログボックスが開いたら、新しいカタログの[名前]に入力します。

カタログの追加

をクリックすると、内容が保存されます。

新しいカタログを作成したら、[カタログの詳細]ビューでカタログのプロパティを表示および編集できます (詳細については「[カタログの編集](#)」(21ページ)を参照してください)。



さらに、次の領域で必要な情報を入力し、カタログを構成できます。

- 「[カタログ内のアイテムの管理](#)」(22ページ) - カatalogのカタログアイテムを表示および管理します。
- 「[カタログのアクセス制御の付与](#)」(23ページ) - カatalogへのアクセス権を持つグループを指定します。
- 「[カタログ承認ポリシーの管理](#)」(24ページ) - カatalogの承認ポリシーを指定します。

カタログの削除

カタログを削除するには、次の手順を実行します。

注: このタスクは、[カタログ]ビューで実行します (詳細については「[カタログのリストの表示](#)」(18ページ)を参照してください)。

- 
1. **[カタログ]** ビューで、削除したいカタログの  をクリックしてから **[削除]** を選択します。
 2. カatalogの削除を確認します。

カタログが削除され、**[カタログ]** ビューに表示されなくなります。

ヒント: カatalogは、カタログの**[カタログの詳細]** ビューからも削除されます。

カタログの詳細の表示

概念

カタログには、HPE Propelポータルが発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマー fulfillmentに使用できます。

組織管理者は、**カタログアプリケーション**の**[概要]** タブで、カタログのプロパティを表示できます。この表示には、カタログの**カタログ名**と**説明**が表示されます。

タスク

カタログのプロパティを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアプリケーション**をクリックします。**[カタログ]** ビューが表示されます。
2. **[カタログ]** ビューで、表示したいカタログをクリックします。

[概要] タブが開き、**カタログ名**と**説明**が表示されます。

カタログの編集

概念

カタログには、HPE Propelポータルが発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマーフルフィルメントに使用できます。

組織管理者は、既存のカタログの**カタログ名**、**説明**、**メイン画像** (ビジュアル表示用) などを表示および編集できます。

タスク

既存のカタログを編集するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアプリケーション**をクリックします。**[カタログ]**ビューが表示されます。
2. **[カタログ]**ビューで、編集したいカタログをクリックします。
3. **[カタログの詳細]**ビューで**[編集]**をクリックします。
4. **[カタログの詳細]**ダイアログで、必要な変更をカタログに加えます。
 - **カタログ名**
 - **説明**: 最大4000文字。エディターツールを使用して、表現を改善できます。
 - **メイン画像**: カatalog用の1つの画像ファイル。最大500KBです。画像ファイルをドラッグして、ボックスにドロップするか、またはボックスをクリックし、ファイルを探して選択します。
5. **[保存]**をクリックして、変更内容を保存します。

変更後のプロパティが**[カタログの詳細]**ビューに表示されます。

カタログ内のアイテムの管理

概念

カタログには、HPE Propelポータルが発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマーフルフィルメントに使用できます。

組織管理者は、**カタログアプリケーション**の**[アイテム]**タブで、カタログに発行されたすべてのカタログアイテムのリストを表示し、**カタログアイテムアプリケーション**にアクセスしてカタログアイテムを管理できます。

タスク

カタログ内のカタログアイテムをすべて一覧表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアプリケーション**をクリックします。**[カタログ]**ビューが表示されます。
2. 表示したいカタログアイテムのカタログをクリックします。
3. **[カタログの詳細]**ビューで**[アイテム]**タブをクリックします。

[アイテム]ビューが開き、カタログ内にあるカタログアイテムがすべて表示されます。

カタログアイテムをクリックすると、**カタログアイテムアプリケーション**で管理できます(詳細については「[カタログアイテム](#)」(26ページ)を参照してください)。

ヒント: カatalogアイテムをカタログに追加するには、**カタログアイテムアプリケーション**に移動して、アイテムを作成し、そのアイテムをカタログに発行します。(詳細については「[カタログアイテム](#)」(26ページ)を参照してください)。

カタログのアクセス制御の付与

概念

カタログには、HPE Propelポータルが発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマーフルフィルメントに使用できます。

組織管理者は、**カタログアプリケーション**の**[アクセス制御]**タブを使用して、カタログ内の発行済みカタログアイテムへのグループアクセス権を付与します。組織管理者が、カタログへのグループアクセス権を指定すると、そのグループのすべてのメンバーが、そのカタログ内のすべてのカタログアイテムにアクセスできます。

ヒント: 組織管理者は、カタログ内の個々のカタログアイテムへのアクセス権を制御できません。詳細については「[カタログアイテムのアクセス制御](#)」(55ページ)を参照してください。

カタログ内のすべてのカタログアイテムが、コンシューマー組織のすべての認証済みユーザーに表示されるようにするには、その組織のすべてのグループが、カタログの**[アクセス制御]**ビューに表示されていることを確認します。

タスク

LDAPグループにカタログへのアクセスを許可するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアプリケーション**をクリックします。**[カタログ]**ビューが表示されます。
2. **[カタログ]**ビューで、LDAPグループアクセス権を変更するカタログをクリックします。
3. **[カタログの詳細]**ビューで**[アクセス制御]**タブをクリックします。
4. **[アクセス制御]**ビューで**[アクセス権の付与]**をクリックします。
5. **[アクセス権の付与]**ダイアログボックスが開いたら、カタログへのアクセスを許可するLDAPグループを選択します。

6. **アクセス権の付与** をクリックして、変更内容を保存します。

これで、選択したLDAPグループに、HPE Propelカタログへのアクセス権が割り当てられます。

注: LDAPグループへのアクセスを削除するには、**X** をクリックします。削除を確認するメッ

ページが表示されます。

カタログ承認ポリシーの管理

概念

カタログには、HPE Propelポータルが発行済みカタログアイテムが含まれ、コンシューマー fulfillment に使用できます。

組織管理者は、**カタログアプリケーション**の**[承認ポリシー]**タブで、カタログの承認ポリシーを管理します。

デフォルトでは、カタログに承認は不要であり、**承認不要**ポリシーが割り当てられます。

承認ポリシーは、カタログまたはカタログアイテムに適用できます。カタログに承認ポリシーを適用する場合、カタログのすべてのカタログアイテムに承認ポリシーが必要です。ただし、管理者はカタログ内のさまざまなカタログアイテムに異なる承認ポリシーを割り当てることができます。

ポリシーには、**名前**、**組織関係**、**ビジネス承認**があります。HPE Propel承認ポリシーの詳細については、「[ポリシー](#)」(106ページ)を参照してください。

ビジネス承認ポリシーは、そのパラメーターとともにビジネスプロセスになります。HPE Propel ビジネスプロセスの詳細については、「[ビジネスプロセス](#)」(113ページ)を参照してください。

タスク

カタログに承認ポリシーを追加するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアプリケーション**をクリックします。**[カタログ]**ビューが表示されます。
2. **[カタログ]**ビューで、承認ポリシーを変更したいカタログをクリックします。
3. **[カタログの詳細]**ビューで**[承認ポリシー]**タブをクリックします。
4. **[承認ポリシー]**ビューで**[編集]**をクリックします。
5. **[承認ポリシー]**ダイアログボックスが開いたら、カタログに適用したい承認ポリシーを選択します。**[保存]**をクリックすると、変更内容が保存されます。

新しく追加した承認ポリシーが[承認ポリシー]ビューに表示されます。

注: カタログから承認ポリシーを削除するには、[承認不要]を選択します。

ローカライズ言語でのカタログの表示

概念

複数のHPE Propelアプリケーションを使用すると、アイテムのプロパティを外国語に翻訳してから、それらのアイテムをローカライズ言語で表示できます。カタログ、カテゴリ、カタログアイテムのプロパティを翻訳して、ローカライズ言語で表示できます。

複数の外国語を1つのHPE Propel組織に関連付けることができます。デフォルト言語は、最初管理者によって指定されます。

組織管理者は、組織のローカライズ言語を管理し、HPE Propelカタログ、カテゴリ、およびカタログアイテムのローカライズ言語での表示を有効にします。

HPE Propel 管理者は、すべてのコンシューマー組織の外国語を管理します。管理者がデフォルト言語を追加、削除、設定する方法については、「[言語の管理](#)」(155ページ)を参照してください。

タスク

- 「[言語の追加](#)」(25ページ)
- 「[ローカライズ言語の翻訳](#)」(26ページ)

言語の追加

組織にローカライズ言語が割り当てられていない場合は、HPE Propelアバターの下の言語リストをクリックして、[設定]を選択します。これで、Identityアプリケーションが開きます。

注: Identityアプリケーションでデフォルト言語を追加、削除、設定する方法については、「[言語の管理](#)」(155ページ)を参照してください。

ローカライズ言語の翻訳

カタログアプリケーションで、カタログのプロパティを翻訳し、ローカライズ言語で表示するには、次の手順を実行します。

1. HPE Propelアバターの下の言語リストをクリックして、ローカライズ言語を選択します。

ヒント: カatalogをローカライズ言語で表示するときに、それがローカライズ言語に翻訳されていない場合、カタログの説明が黒以外の色のフォントで表示されます。黒以外の色のフォントで示されるため、カタログがローカライズ言語に翻訳されていないことを、一目で認識することができます。

2. HPE Propelカタログを編集し、プロパティをローカライズ言語に翻訳します。
 - a. [カタログ] をクリックします。
 - b. [カタログの詳細] ビューで [編集] をクリックします。
 - c. [カタログの詳細] ダイアログで、カタログのプロパティ (**カタログ名**、**説明**、および**メイン画像**) をローカライズ言語に翻訳します。
 - d. [保存] をクリックすると、翻訳による変更が保存されます。

翻訳したHPE Propelカタログをローカライズ言語で表示できるようになります。

カタログアイテム

概念

組織管理者は、カタログアイテムの構成と管理を実行するため、**カタログアイテム**アプリケーションを使用します。HPE Service Anywhere、HPE Cloud Service Automation、HPE Service Managerなど、エンドポイントシステムの集約されたサービスオファリングとカタログアイテムは、HPE Propelカタログにカタログアイテムとして発行され、HPE Propelポータルのフルフィルメント用にコンシューマーに提供されます。

2つの一意のHPE Propel カatalogアイテムとして、テンプレートアイテムと発行済みアイテムがあります。発行済みアイテムはテンプレートアイテムから派生したものであり、通常は、作成元のテンプレートアイテムと異なる名前や説明が指定されています (常にそうとは限りません)。

• テンプレートアイテム:

- テンプレートアイテムは、エンドポイントシステムで作成され、HPE Propel集約にインポートされるか、または組織管理者が手作業で作成します。
- テンプレートアイテムは、発行済みアイテムの作成時に、ソースのカタログアイテムとして使用されます。
- テンプレートアイテムを変更すると、そのテンプレートアイテムから作成された発行済みアイテムすべてに変更が反映されます。たとえば、テンプレートアイテムの説明を変更すると、テンプレートアイテム自体の説明だけでなく、そのテンプレートアイテムから作成した発行済みアイテムの説明がすべて変更されます。

• 発行済みアイテム:

- 発行済みアイテムは一意に特定でき、エンドポイントシステムで作成されるものではありません。
- 発行済みアイテムはターゲットカタログアイテムとして、テンプレートアイテムから作成されます。
- 発行済みアイテムを変更すると、変更内容はその発行済みアイテムのみに反映されます。つまり、発行済みアイテムの説明を変更する場合、変更されるのはその発行済みアイテムの説明だけです。

集約済みカタログアイテムを変更しても、元のシステムにあるアイテム (HPE Cloud Service AutomationやHPE Service Managerなど) には影響しません。ただし、元のシステムで変更を加えてアイテムを再集約すると、HPE Propel内のカタログアイテムは更新されます。HPE Propelの変更内容は、HPE Propelポータルカタログアイテムで表示されます。

カタログアイテムは、カタログ内でカテゴリにグループ化できます。カテゴリについての詳細は、「[カテゴリ](#)」(78ページ)を参照してください。

タスク

カタログアイテムを表示するには、スタートパッドで**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。[**カタログアイテム**] ビューが開き、エンドポイントシステムから集約されたカタログアイテムがすべて一覧表示されます (HPE Propelの集約についての詳細は、「[カタログ接続](#)」(83ページ)を参照してください)。

どちらのカタログアイテムを表示するかを、次の任意の手順でフィルタリングできます。

- [フィルター] 領域 (左の領域) で、[テンプレートアイテム] または [発行済みアイテム] のどちらかを選択します。
- 特定のカテゴリのカタログアイテムのみを表示するには、[テンプレートのみ] を選択して、[カテゴリ] リストのカテゴリをクリックします。

- **[発行済みのみ]**を選択した状態で、**[カタログ]**リストのカタログ、さらに**[カテゴリ]**リストのカテゴリを選択して、カタログアイテムのセットをフィルターします。

ヒント: カatalogアイテムを検索するには、**[アイテムの検索]**フィールドに検索条件を入力します。指定した検索条件に一致するカタログアイテムのみが表示されます。また、カタログアイテムのリストは、作成日が新しい順または古い順、あるいはアルファベットの昇順にソートできます。

組織管理者は、**[カタログアイテム]**ビューで、次のカタログアイテムタスクを実行できます。

- **「カテゴリへのカタログアイテムの追加」(30ページ)** - カatalogアイテムをカタログのカテゴリに追加します。
- **「カタログアイテムの追加」(29ページ)** - カatalogアイテムの電子メールまたはカタログアイテムのバンドルのいずれかの新しいHPE Propelカタログアイテムを作成します。
- **「カスタム発行済みアイテムの作成」(31ページ)** - 集約済みカタログアイテムの派生アイテムとして、新しいHPE Propelカタログアイテムを作成します。たとえば、既存のカタログアイテムと、いくつかのオプション以外同一のカタログアイテムを作成することができます。
- **「カタログアイテムの価格の非表示」(34ページ)** - HPE Propelポータルで、カタログアイテムの価格がコンシューマーに表示されないようにします。
- **「カタログアイテムの編集」(35ページ)** - カatalogアイテムのプロパティを変更します。名前、説明、カテゴリ、画像 (ビジュアル表示用) などを変更できます。
- **「タブを使用したカタログアイテムの管理」(36ページ)** - 利用可能なタブを使用して、カタログアイテムのプロパティ (フォーム、価格設定、ギャラリー、添付ファイルなど) を管理します。
- **「カタログアイテムの発行」(69ページ)** - カatalogアイテムをカタログに発行します。これにより、HPE Propelポータルでコンシューマーがフルフィルメント用に選択可能になります。
- **「カテゴリからのカタログアイテムの削除」(73ページ)** - カatalogアイテムをカタログのカテゴリから削除します。
- **「カタログアイテムの削除」(71ページ)** - HPE Propelカタログアイテムを削除します。
- **「カタログアイテムの発行解除」(74ページ)** - カatalogアイテムの発行解除を行います。これにより、コンシューマーはHPE Propelポータルでフルフィルメント用に使用できなくなります。
- **「ローカライズ言語でのカタログアイテムの表示」(76ページ)** - 使用する言語を変更し、翻訳されたカタログアイテムを表示します。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者 ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

カタログアイテムの追加

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者は、次のタイプのHPE Propel カatalogアイテムを追加できます。

- カatalogアイテムの電子メール
- カatalogアイテムのバンドル

タスク

カタログアイテムの電子メールまたはカタログアイテムのバンドルの追加

新しいカタログアイテムを追加するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]** ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]** ビューで **アイテムの追加** をクリックします。
3. **[新規カタログアイテム]** ダイアログで、次の手順を実行します。
 - a. 適切なタイプのカタログアイテム (**[電子メール]** (1つのアイテム) または **[バンドル]** (複数アイテムのバンドル)) を選択します。
 - b. 説明的な名前を **[名前]** フィールドに入力します。

c. 新しいカタログアイテムのカテゴリを選択します。

d. **アイテムの作成** をクリックして、入力内容を保存します。

新しいHPE Propel カatalogアイテムが作成されます。

新たに追加したカタログアイテムがテンプレートアイテムとして追加されます。カタログアイテムを発行するには、「[カタログアイテムの発行](#)」(69ページ)を参照してください。

ヒント: カatalogアイテムのバンドルの場合、「[カタログアイテムのバンドルアイテム](#)」(65ページ)ビューを使用して、バンドル内のカタログアイテムを管理します。

カテゴリへのカタログアイテムの追加

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

カタログアイテムは、カタログ内でカテゴリにグループ化できます。1つのカタログアイテムを複数のカテゴリに追加することもできます。



組織管理者は、カタログアイテムをカタログ内のカテゴリに追加できます。

タスク

カテゴリへの単一のカタログアイテムの追加

カタログアイテムのカテゴリへの追加:

1. スタートパッドで、**カタログアイテムアプリケーション**をクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。


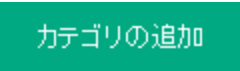
2. **[カタログアイテム]** ビューが開いたら、カテゴリに追加したいカタログアイテムの  をクリックし、**[カテゴリの追加]** を選択します。
3. **[カテゴリの追加]** ダイアログボックスが開いたら、カタログアイテムに新しく追加するカテゴリを選択し、 をクリックします。

HPE Propelカタログアイテムがカテゴリに追加されます。

カテゴリへの複数のカタログアイテムの追加

組織管理者は、複数のカタログアイテムを一括でカテゴリに追加できます。

複数のカタログアイテムを一括でカテゴリに追加するには、次の手順を実行します。

1. **[カタログアイテム]** ビューで、カタログアイテムの横にあるラジオボタンをクリックして、バッチに含めるカタログアイテムを選択します (代わりに**[すべて選択]** ラジオボタンを使用して、カタログアイテムのすべてを選択するか、何も選択しないことができます)。
2.  をクリックして、**[カテゴリの追加]** を選択します。
3. **[カテゴリの追加]** ダイアログボックスが開いたら、カタログアイテムに新しく追加するカテゴリを選択し、 をクリックします。

選択したHPE Propel カatalogアイテムがすべて指定したカテゴリに追加されます。

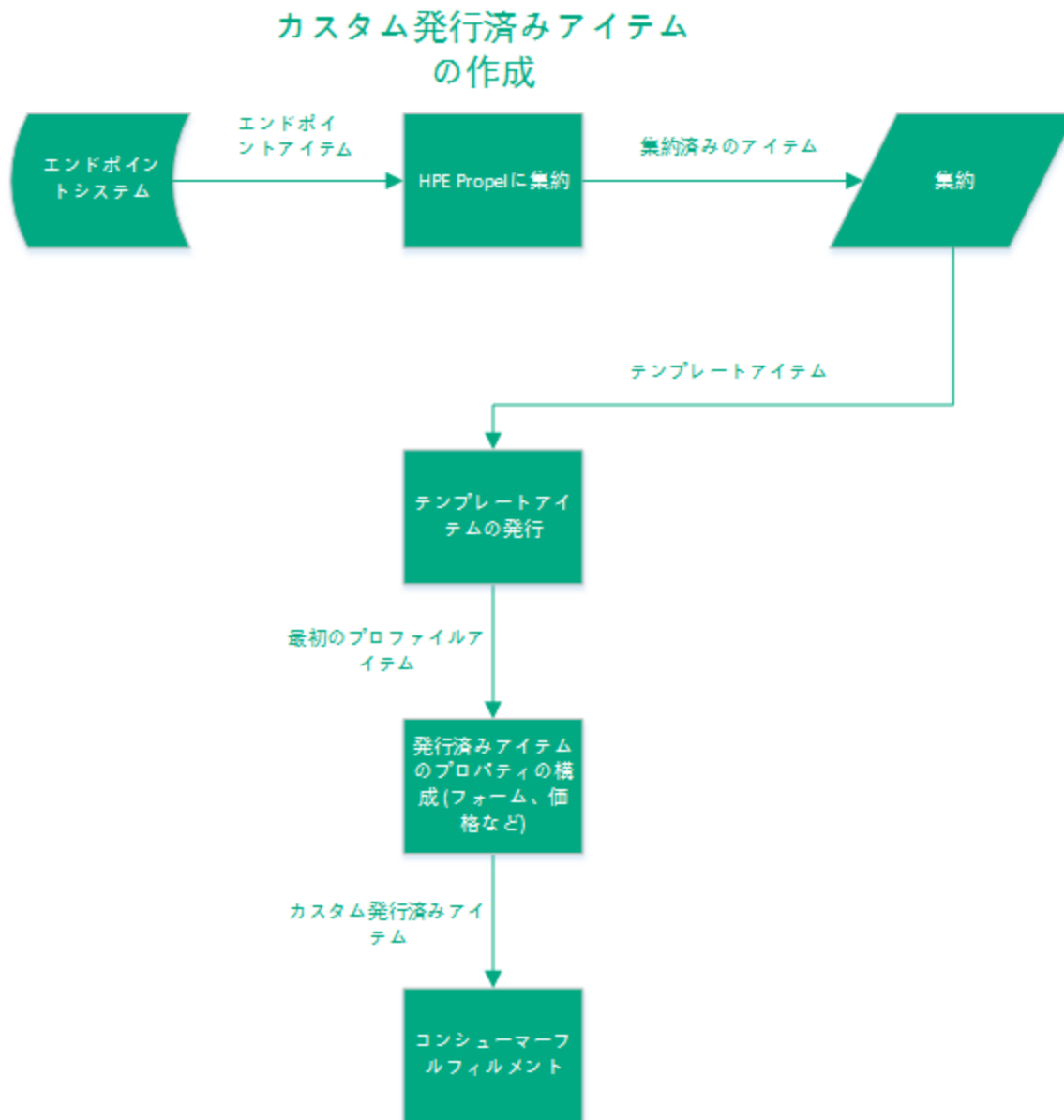
カスタム発行済みアイテムの作成

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者は、カスタム発行済みアイテムをテンプレートアイテムから作成することにより、集約済みのアイテムから派生するカタログアイテムを追加で作成できます。

次の図は、カスタム発行済みアイテムの作成プロセスを示しています。



タスク

テンプレートアイテムからカスタム発行済みアイテムを新規に作成する (図の一番下に表示) には、次の手順を実行します。


1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。[**カタログアイテム**]ビューが表示されます。

2. **[カタログアイテム]** ビューで、**[アイテム]** 領域 (左) の **[テンプレートアイテム]** を選択します。テンプレートアイテムのリストが表示されます。
3. カスタム発行済みアイテムの作成元となるテンプレートアイテムをクリックします。テンプレートアイテムの **[詳細]** ビューが開きます。



4. **[発行]** をクリックします。**[カタログにアイテムを発行]** ダイアログボックスが開きます。
5. **[カタログにアイテムを発行]** ダイアログで、初期の発行済みアイテムを含むことになるカタログを選択します (現在、カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされています)。



6. **[発行]** をクリックします。最初の発行済みアイテムが指定したカタログに発行され、**[詳細]** ビューに表示されます。
7. 初期の発行済みアイテムを元にカスタム発行済みアイテムを作成するために、**[詳細]** ビューで **[編集]** をクリックします。
8. **[詳細]** ダイアログボックスで、カスタム発行済みアイテムのプロパティを指定します。これには、**表示名**、**説明**、**詳細** などがあります。**[カテゴリ]** および **[メイン画像]** を指定することもできます。**[詳細]** ダイアログボックスで変更したフィールドには、 アイコンが表示されます。
9. **[保存]** をクリックして終了し、新しいカスタム発行済みアイテムを保存します。

新しく作成されたカスタム発行済みアイテムが発行され、HPE Propelのコンシューマーフルフィルメントに指定したカタログ内で、カタログアイテムとして使用可能になります。

カスタマイズした発行済みアイテムの新規作成が完了したら、次のプロパティを指定できます。

- 「**カタログアイテムのフォーム**」(40ページ) - カatalogアイテムのオーダーに使用するフィールドとオプションを表示および指定します。
- 「**カタログアイテムのパラメーターエイリアス**」(43ページ) - カatalogアイテムのパラメーターエイリアスを表示および管理します。
- 「**カタログアイテムの価格設定**」(47ページ) - カatalogアイテムの価格を表示および設定します。これには、初期価格や定期加算料金が含まれます。
- 「**カタログアイテムのギャラリー**」(49ページ) - ユーザー向けの表示に使用するカタログアイテムの画像を表示および指定します。
- 「**カタログアイテムの添付ファイル**」(52ページ) - カatalogアイテムの添付ファイルを表示および指定します。これには、サービスレベル契約や利用条件などがあります。
- 「**カタログアイテムのアクセス制御**」(55ページ) - カatalogアイテムにアクセス可能なユーザーを表示および管理します。

- 「[カタログアイテム承認ポリシー](#)」(58ページ) - カatalogアイテムのオーダー要求を承認する担当者を表示および管理します。
- 「[カタログアイテムのサービス](#)」(61ページ) - 関連するサポートとサービスカタログアイテムを表示および管理します。

カタログアイテムの価格の非表示

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。


組織管理者は、カタログアイテムの価格を非表示にできます。価格を非表示にすると、HPE Propelポータルでコンシューマーに表示されなくなります。

タスク

単一のカタログアイテムの価格の非表示

カタログアイテムの価格を非表示にするには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#)ビューが表示されます。

2. [\[カタログアイテム\]](#)ビューで、価格を非表示にしたいカタログアイテムの  をクリックしてから [\[エンドユーザーに価格を表示しない\]](#) を選択します。確認ダイアログが表示されます。

3. カatalogアイテムの価格の非表示を確認します。

カタログアイテムの価格、HPE Propelポータルでコンシューマーに表示されなくなります。

複数のカタログアイテムの価格の非表示

組織管理者は、複数のカタログアイテムの価格を一括で非表示にできます。

複数のカタログアイテムの価格を一括で非表示にするには、次の手順を実行します。

1. **[カタログアイテム]** ビューで、カタログアイテムの横にあるラジオボタンをクリックして、バッチに含めるカタログアイテムを選択します(代わりに**[すべて選択]** ラジオボタンを使用して、カタログアイテムのすべてを選択するか、何も選択しないことができます)。

すべて表示 ▼

2. **[すべて表示 ▼]** をクリックして、**[エンドユーザーに価格を表示しない]** を選択します。
3. 確認ダイアログで価格の非表示を確認します。

選択したカタログアイテムの価格はすべて非表示にされ、HPE Propelポータルで表示されなくなります。

カタログアイテムの編集

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者は、カタログアイテムのプロパティ (**表示名**、**カテゴリ**、**説明**、**詳細**、**メイン画像** (カタログアイテムのビジュアル表示用) など) を変更できます。

タスク

カタログアイテムを編集するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテムアプリケーション** をクリックします。**[カタログアイテム]** ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]** ビューで、編集したいカタログアイテムをクリックします。
3. **[詳細]** ビューで **[編集]** をクリックします。
4. **[詳細]** ダイアログボックスでは、カタログアイテムの次のプロパティを変更できます。
 - **[表示名]** に新しい名前を入力します。
 - **[カテゴリ]** で新しいカテゴリを追加します。
 - **[説明]** に新しい説明を入力します。

- **[詳細]** に新しい詳細を入力します。
 - **[メイン画像]** で新しい画像を指定します。
- 変更が完了したら、**[保存]** をクリックして変更内容を保存します。

カタログアイテムの詳細が**[詳細]**ビューに表示されます。

組織管理者は、次のHPE Propelビューでもカタログアイテムを管理できます。

- **「カタログアイテムのフォーム」(40ページ)** - カatalogアイテムのオーダーに使用するフィールドとオプションを表示および指定します。
- **「カタログアイテムのパラメーターエイリアス」(43ページ)** - カatalogアイテムのパラメーターエイリアスを表示および管理します。
- **「カタログアイテムの価格設定」(47ページ)** - カatalogアイテムの価格を表示および設定します。これには、初期価格や定期加算料金が含まれます。
- **「カタログアイテムのギャラリー」(49ページ)** - ユーザー向けの表示に使用するカタログアイテムの画像を表示および指定します。
- **「カタログアイテムの添付ファイル」(52ページ)** - カatalogアイテムの添付ファイルを表示および指定します。これには、サービスレベル契約や利用条件などがあります。
- **「カタログアイテムのアクセス制御」(55ページ)** - カatalogアイテムにアクセス可能なユーザーを表示および管理します。
- **「カタログアイテム承認ポリシー」(58ページ)** - カatalogアイテムのオーダー要求を承認する担当者を表示および管理します。
- **「カタログアイテムのサービス」(61ページ)** - 関連するサービスアクションとサポートカタログアイテムを表示および管理します。

タブを使用したカタログアイテムの管理

概念

組織管理者は、カタログアイテムの構成と管理を実行するため、**カタログアイテムアプリケーション**を使用します。

組織管理者は、[詳細] ビューのタブを使用して、カタログアイテムのプロパティ (フォーム、価格設定、ギャラリー、添付ファイルなどの) を管理します。

タスク

カタログアイテムを表示するには、スタートパッドで**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。[カタログアイテム] ビューが開き、カタログアイテムがすべて表示されます。カタログアイテムをクリックして、その[詳細] ビューを開きます。

組織管理者は、カタログアイテムの[詳細] ビューのタブを使用して、次のカタログアイテムタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムの概要](#)」(38ページ) - カatalogアイテムのプロパティを表示および指定します。
- 「[カタログアイテムのフォーム](#)」(40ページ) - カatalogアイテムのオーダーに使用するフィールドとオプションを表示および指定します。
- 「[カタログアイテムのパラメーターエイリアス](#)」(43ページ) - カatalogアイテムのパラメーターエイリアスを表示および管理します。
- 「[カタログアイテムの価格設定](#)」(47ページ) - カatalogアイテムの価格を表示および設定します。これには、初期価格や定期加算料金が含まれます。
- 「[カタログアイテムのギャラリー](#)」(49ページ) - ユーザー向けの表示に使用するカタログアイテムの画像を表示および指定します。
- 「[カタログアイテムの添付ファイル](#)」(52ページ) - カatalogアイテムの添付ファイルを表示および指定します。これには、サービスレベル契約や利用条件などがあります。
- 「[カタログアイテムのアクセス制御](#)」(55ページ) - カatalogアイテムにアクセス可能なユーザーを表示および管理します。
- 「[カタログアイテム承認ポリシー](#)」(58ページ) - カatalogアイテムのオーダー要求を承認する担当者を表示および管理します。
- 「[カタログアイテムのサービス](#)」(61ページ) - 関連するサポートとサービスカタログアイテムを表示および管理します。
- 「[カタログアイテムのバンドルアイテム](#)」(65ページ) - バンドルされたカタログアイテムを表示および管理します。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサ

ポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。
HPE Passportの資格情報を入力し、[Sign In] をクリックします。検索テキストボックスに「Propelヘルプ」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

カタログアイテムの概要

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者が利用可能な [概要] ビューでは、カタログアイテムのプロパティを管理できます。

タスク

[概要] 詳細ビューでは、次のタスクを実行します。

- 「[カタログアイテムのプロパティの表示](#)」(38ページ)
- 「[カタログアイテムのプロパティの編集](#)」(39ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(39ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(39ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(40ページ) - 発行済みアイテムのみ

カタログアイテムのプロパティの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[カタログアイテム] ビューが表示されます。
2. [カタログアイテム] ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。

カタログアイテムのプロパティが、[詳細] ビューに表示されます。

カタログアイテムのプロパティの編集

このタスクは、[概要] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのプロパティの表示](#)」(38ページ)を参照してください)。カタログアイテムのプロパティを編集するには、次の手順を実行します。

1. [概要] ビューで [編集] をクリックします。[詳細] ダイアログボックスが開きます。
2. カatalogアイテムのプロパティを変更します。[保存] をクリックすると、変更内容が保存されます。


カタログアイテムで新しく設定したプロパティが表示されます。


カタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[概要] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのプロパティの表示](#)」(38ページ)を参照してください)。[概要] ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。
3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。

4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[概要] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのプロパティの表示](#)」(38ページ)を参照してください)。[概要] ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[概要] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのプロパティの表示](#)」(38ページ) を参照してください)。[概要] ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムが HPE Propel カatalog から発行解除され、HPE Propel ポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムのフォーム

概念

カタログには、HPE Propel ポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者が利用可能な [フォーム] ビューでは、カタログアイテムを HPE Propel ポータルでオーダーする際に必要になるフィールドとオプションを管理できます。

タスク

[フォーム] ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムのフォームの表示](#)」(41ページ)
- 「[カタログアイテムのフォームの編集](#)」(41ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(41ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(42ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(42ページ) - 発行済みアイテムのみ

カタログアイテムのフォームの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[[カタログアイテム](#)] ビューが表示されます。
2. [[カタログアイテム](#)] ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[[詳細](#)] ビューが表示されます。
3. [[詳細](#)] ビューで [[フォーム](#)] をクリックします。

カタログアイテムのオーダーで必要になるフィールドとオプションが表示されます。

カタログアイテムのフォームの編集

このタスクは、[[フォーム](#)] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのフォームの表示](#)」(41ページ)を参照してください)。カタログアイテムのフォームを編集するには、次の手順を実行します。

1. [[フォーム](#)] ビューで [[編集](#)] をクリックします。カタログアイテムのオーダーで指定可能なフィールドとオプションがすべて表示されます。
2. カatalogアイテムのオーダー時に必要なフィールドとオプションをすべて指定します。[[保存](#)] をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムのオーダー用に新たに追加した必須フィールドとオプションが表示されます。

カタログアイテムの発行


注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[フォーム] ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテムのフォームの表示](#)」(41ページ)を参照してください)。[\[フォーム\]](#) ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。

4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[フォーム] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのフォームの表示](#)」(41ページ)を参照してください)。[\[フォーム\]](#) ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[フォーム] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのフォームの表示](#)」(41ページ)を参照してください)。[\[フォーム\]](#) ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムのパラメーターエイリアス

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

バンドルされたカタログアイテムには、相互に依存するアイテムを含めることができます。HPE Propelでは、これを、バンドル内のさまざまなアイテム間で情報を渡す入力と出力 (パラメーターエイリアスと呼びます) によって容易に行います。

例:

- Create New Employeeカタログアイテムは、社員番号を作成します。Create Directory Listingカタログアイテムは、社員番号を入力として使用します。2つのカタログアイテムは、Set Up New Employeeというバンドルカタログアイテムにバンドルされています
- 「仮想マシンの作成」カタログアイテムのフルフィルメントでは、IPアドレス出力が作成されます。バンドルの一部として、後続の「オペレーティングシステムのインストール」カタログアイテムでは、IPアドレスが入力として必要になります。

組織管理者は、[\[パラメーターエイリアス\]](#) ビューを使用して、カタログアイテムのパラメーターエイリアスを管理します。パラメーターエイリアスがセットアップされると、組織管理者は [\[バンドルアイテム\]](#) ビューを使用して、バンドルされたカタログアイテムにアイテムを追加し、アイテムの依存関係があればそれを定義します ([「カタログアイテムのバンドルアイテム」\(65ページ\)](#)を参照)。

タスク

[パラメーターエイリアス] ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)
- 「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの追加](#)」(44ページ)
- 「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの編集](#)」(45ページ)
- 「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの削除](#)」(45ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(45ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(46ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(46ページ) - 発行済みアイテムのみ

カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#) ビューが表示されます。
2. [\[カタログアイテム\]](#) ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#) ビューが表示されます。
3. [\[詳細\]](#) ビューで [\[パラメーターエイリアス\]](#) をクリックします。

カタログアイテムのパラメーターエイリアスが表示されます。

カタログアイテムのパラメーターエイリアスの追加


このタスクは、[\[パラメーターエイリアス\]](#) ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)を参照してください)。カタログアイテムのパラメーターエイリアスを追加するには、次の手順を実行します。

1. [\[パラメーターエイリアス\]](#) ビューで、[\[追加\]](#) をクリックして、カタログアイテムの新しいパラメーターエイリアスを追加します。
2. [\[パラメーターエイリアスの追加\]](#) ダイアログで、[\[エイリアス名\]](#) および [\[場所\]](#) (出力パラメーターとして使用) の値を指定します。
3. [追加](#) をクリックして、変更内容を保存します。

カタログアイテムのパラメーターエイリアスが表示されます。

カタログアイテムのパラメーターエイリアスの編集


このタスクは、[パラメーターエイリアス] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)を参照してください)。カタログアイテムのパラメーターエイリアスを編集するには、次の手順を実行します。

1. [パラメーターエイリアス] ビューで、変更対象のパラメーターエイリアスの編集  アイコンをクリックします。
2. 変更を行い、**保存**をクリックすると、変更内容が保存されます。

変更したパラメーターエイリアスが、パラメーターエイリアスのリストに表示されます。

カタログアイテムのパラメーターエイリアスの削除

このタスクは、[パラメーターエイリアス] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)を参照してください)。パラメーターエイリアスを削除するには、次の手順を実行します。


1. [パラメーターエイリアス] ビューで、削除対象のパラメーターエイリアスの削除  アイコンをクリックします。確認ダイアログが表示されます。
2. パラメーターエイリアスの削除を確認するメッセージが表示されます。

パラメーターエイリアスが削除され、パラメーターエイリアスのリストに表示されなくなります。


カタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[パラメーターエイリアス] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)を参照してください)。**[パラメーターエイリアス]** ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  **発行** をクリックします。

3. **[カタログにアイテムを発行]** ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。

4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、**[パラメーターエイリアス]** ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)を参照してください)。**[パラメーターエイリアス]** ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. **[テンプレート]** タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、**[パラメーターエイリアス]** ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのパラメーターエイリアスの表示](#)」(44ページ)を参照してください)。**[パラメーターエイリアス]** ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムの価格設定

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

[価格設定]ビューでは、カタログアイテムの現在の価格設定として、初期価格や定期加算料金が表示されます。組織管理者は、価格設定を変更できます。

タスク

[価格設定]ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムの価格設定の表示](#)」(47ページ)
- 「[カタログアイテムの価格設定の編集](#)」(48ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(48ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(48ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(49ページ) - 発行済みアイテムのみ

カタログアイテムの価格設定の表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#)ビューが表示されます。
2. [\[カタログアイテム\]](#)ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#)ビューが表示されます。
3. [\[詳細\]](#)ビューで[\[価格設定\]](#)をクリックします。次の情報が表示されます。
 - a. 価格がエンドユーザーに表示されるかどうか。
 - b. 初期価格。
 - c. 定期加算料金。

カタログアイテムの価格設定の編集

このタスクは、[価格設定] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムの価格設定の表示](#)」(47 ページ)を参照してください)。カタログアイテムの価格設定を編集するには、次の手順を実行します。



1. [価格設定] ビューで [編集] をクリックします。[ベース価格] ダイアログボックスが開きます。
2. [ベース価格] ダイアログで、エンドユーザーに価格を表示するかどうか、価格の通貨、初期価格、定期加算を有効にするかどうか、および定期加算料金を指定します。
3. [保存] をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムで新たに設定した価格が表示されます。

カタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[価格設定] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムの価格設定の表示](#)」(47 ページ)を参照してください)。**[価格設定]** ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。


1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。
4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、**[価格設定]** ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムの価格設定の表示](#)」(47 ページ)を参照してください)。**[価格設定]** ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。


1. **[テンプレート]** タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、**[価格設定]** ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムの価格設定の表示](#)」(47 ページ)を参照してください)。**[価格設定]** ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。
2.  をクリックします。
3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムのギャラリー

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

カタログアイテムのビジュアル表示用に、画像を指定します。組織管理者は、HPE Propel カatalogアイテムの表示に使用する画像を変更できます。

タスク

[ギャラリー] ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムギャラリーの表示](#)」(50ページ)
- 「[カタログアイテムギャラリーの変更](#)」(50ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(51ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(51ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(52ページ) - 発行済みアイテムのみ



カタログアイテムギャラリーの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#) ビューが表示されます。
2. [\[カタログアイテム\]](#) ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#) ビューが表示されます。
3. [\[詳細\]](#) ビューで [\[ギャラリー\]](#) をクリックします。

カタログアイテムで現在指定されている画像が表示されます。

カタログアイテムギャラリーの変更

このタスクは、[\[ギャラリー\]](#) ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムギャラリーの表示](#)」(50ページ)を参照してください)。カタログアイテムで使用する画像を変更するには、次の手順を実行します。

- 画像ファイルを追加するには、次のいずれかを実行します。
 - 画像ファイルをドラッグし、[\[ギャラリー\]](#) 画像ファイル領域内にドロップします。
 - 画像ファイル領域内をクリックし、画像ファイルにアクセスして、選択と確認を行います。
- 画像ファイルを削除するには、削除する画像ファイルにカーソルを移動し、 をクリックして、削除を確定します。
- 画像ファイルをコンピューターにダウンロードするには、ダウンロードする画像ファイルにカーソルを移動し、 をクリックします。ブラウザの設定に従って、画像ファイルがダウンロードされます。

カタログアイテムで新たに指定した画像が表示されます。

ヒント: 次の画像ファイルが推奨されます。

- 複数の画像ファイルが使用可能
- ファイルタイプ: PNG
- 画像サイズ: 256×256
- ファイルサイズの合計: 最大 20MB

カタログアイテムの発行


注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[ギャラリー] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムギャラリーの表示](#)」(50ページ)を参照してください)。[ギャラリー] ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。

4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[ギャラリー] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムギャラリーの表示](#)」(50ページ)を参照してください)。[ギャラリー] ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[ギャラリー] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムギャラリーの表示](#)」(50ページ)を参照してください)。[ギャラリー] ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムの添付ファイル

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

[添付ファイル] ビューでは、カタログアイテムで指定した添付ファイルが表示されます。これには、サービスレベル契約や利用条件などがあります。組織管理者は、カタログアイテムに関連付けられている添付ファイルを変更できます。

タスク

[添付ファイル] ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムの添付ファイルの表示](#)」(53ページ)
- 「[カタログアイテムの添付ファイルの変更](#)」(53ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(54ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(54ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(55ページ) - 発行済みアイテムのみ



カタログアイテムの添付ファイルの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#) ビューが表示されます。
2. [\[カタログアイテム\]](#) ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#) ビューが表示されます。
3. [\[詳細\]](#) ビューで [\[添付ファイル\]](#) をクリックします。

現在カタログアイテムに添付されているファイルが表示されます。

カタログアイテムの添付ファイルの変更

このタスクは、[\[添付ファイル\]](#) ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムの添付ファイルの表示](#)」(53ページ)を参照してください)。カタログアイテムの添付ファイルを変更するには、次の手順を実行します。

- 添付ファイルを追加するには、次のいずれかを実行します。
 - 添付ファイルをドラッグし、[\[添付ファイル\]](#) ファイル領域内にドロップします。
 - 添付ファイル領域内をクリックし、添付ファイルにアクセスして、選択と確認を行います。
- 添付ファイルを削除するには、削除する添付ファイルにカーソルを移動し、 をクリックして、削除を確定します。
- 添付ファイルをコンピューターにダウンロードするには、ダウンロードする添付ファイルにカーソルを移動し、 をクリックします。ブラウザの設定に従って、添付ファイルがダウンロードされます。

カタログアイテムの更新された添付ファイルが表示されます。

ヒント: 添付ファイルの合計ファイルサイズ: 最大20MB

カタログアイテムの発行


注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[添付ファイル]ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテムの添付ファイルの表示](#)」(53ページ)を参照してください)。[\[添付ファイル\]](#)ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート]タブ(上側)を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. [カタログにアイテムを発行]ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します(カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。

4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[\[添付ファイル\]](#)ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテムの添付ファイルの表示](#)」(53ページ)を参照してください)。[\[添付ファイル\]](#)ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート]タブ(上側)を選択して、テンプレートアイテムを表示します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム(テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム)が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[添付ファイル]ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムの添付ファイルの表示](#)」(53ページ)を参照してください)。[添付ファイル]ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムのアクセス制御

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者は、カタログアイテムの[アクセス制御]ビューを使用して、コンシューマーフルフィルメントに対するカタログアイテムへのグループアクセス権を制限します。

たとえば、グループAおよびBにアクセス制御をカタログレベルで付与すると、それらのグループのすべてのメンバーが、そのカタログのすべてのカタログアイテムにアクセスできます。グループCのメンバーによる特定のカタログアイテムへのアクセスを制限する場合、組織管理者はグループCのアクセス権をカタログアイテムレベルで指定します。

タスク

[アクセス制御]ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテムのアクセス制御の表示](#)」(56ページ)
- 「[カタログアイテムのアクセス制御の変更](#)」(56ページ)
- 「[カタログアイテムのアクセス制御の削除](#)」(56ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(57ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(57ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(58ページ) - 発行済みアイテムのみ

カタログアイテムのアクセス制御の表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#)ビューが表示されます。
2. [\[カタログアイテム\]](#)ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#)ビューが表示されます。
3. [\[詳細\]](#)ビューで[\[アクセス制御\]](#)をクリックします。

カタログアイテムへのアクセス権を持つグループが一覧表示されます。

カタログアイテムのアクセス制御の変更

このタスクは、[\[アクセス制御\]](#)ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのアクセス制御の表示](#)」(56ページ)を参照してください)。カタログアイテムへのアクセス権を持つユーザーを変更するには、次の手順を実行します。

1. [\[アクセス制御\]](#)ビューで[\[アクセス権の付与\]](#)をクリックします。[\[アクセス権の付与\]](#)ダイアログボックスが開きます。
2. [\[アクセス権の付与\]](#)ダイアログボックスで、カタログアイテムへのアクセス権を付与するグループを選択

します。  クリックすると、変更内容が保存されます。

アクセス権を付与したグループが、[\[アクセス制御\]](#)ビューに表示されます。これで、このグループに所属するユーザーのみが、HPE Propelポータルでのフルフィルメント用にカタログアイテムをオーダーできるようになります。

カタログアイテムのアクセス制御の削除

このタスクは、[\[アクセス制御\]](#)ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのアクセス制御の表示](#)」(56ページ)を参照してください)。カタログアイテムのアクセス権をグループから削除するには、次の手順を実行します。



1. [アクセス制御] ビューで、アクセス権を削除するグループの **X** をクリックします。確認ダイアログが表示されます。
2. アクセスの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムへのアクセス権を持つグループが一覧表示されます。

カタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[アクセス制御] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのアクセス制御の表示](#)」(56ページ)を参照してください)。[\[アクセス制御\]](#) ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。


1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。
4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[アクセス制御] ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテムのアクセス制御の表示](#)」(56ページ)を参照してください)。[\[アクセス制御\]](#) ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム(テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム)が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[アクセス制御]ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテムのアクセス制御の表示](#)」(56ページ)を参照してください)。[アクセス制御]ビューで特定のカタログからカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ(上側)を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテム承認ポリシー

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

[承認ポリシー]ビューでは、カタログアイテムのオーダーに適用される現在の承認ポリシーが表示されません。組織管理者は、承認ポリシーを変更できます。

承認ポリシーは、カタログまたはカタログアイテムに適用できます。カタログに承認ポリシーを適用する場合、カタログのすべてのカタログアイテムに承認ポリシーが必要です。ただし、管理者はカタログ内のさまざまなカタログアイテムに異なる承認ポリシーを割り当てることができます。

HPE Propel承認ポリシーの詳細については、「[ポリシー](#)」(106ページ)を参照してください。

タスク

[承認ポリシー]ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[カタログアイテム承認ポリシーの表示](#)」(59ページ)
- 「[カタログアイテム承認ポリシーの変更](#)」(59ページ) - 発行済みアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(60ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[カタログアイテムの削除](#)」(60ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[カタログアイテムの発行解除](#)」(61ページ) - 発行済みアイテムのみ

カタログアイテム承認ポリシーの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[[カタログアイテム](#)]ビューが表示されます。
2. [[カタログアイテム](#)]ビューで、表示したいカタログアイテムをクリックします。[[詳細](#)]ビューが表示されます。
3. [[詳細](#)]ビューで [[承認ポリシー](#)] をクリックします。
4. [[テンプレート](#)] をクリックして、承認ポリシーが [[承認不要](#)] (すべてのテンプレートアイテムについて) であることを確認します。
5. カatalogアイテムが発行されたカタログのタブをクリックして、カタログから継承された承認ポリシーを確認します。

注: ポリシーをクリックすると、[ポリシーアプリケーション](#) ([「ポリシー」](#)(106ページ)を参照) が表示され、ポリシー自体を再定義することができます。

カタログアイテム承認ポリシーの変更

注: このタスクは、発行済みカタログアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[承認ポリシー]ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテム承認ポリシーの表示](#)」(59ページ)を参照してください)。カタログアイテムの承認ポリシーを変更するには、次の手順を実行します。



1. [承認ポリシー] ビューで [編集] をクリックします。[承認ポリシー] ダイアログボックスが開きます。
2. [承認ポリシー] ダイアログボックスで、カタログアイテムの承認ポリシーを選択します。[保存] をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムに新しく適用される承認ポリシーが表示されます。

カタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[承認ポリシー] ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテム承認ポリシーの表示](#)」(59ページ)を参照してください)。[\[承認ポリシー\]](#) ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。


1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。
4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[承認ポリシー] ビューで実行します(詳細については「[カタログアイテム承認ポリシーの表示](#)」(59ページ)を参照してください)。[\[承認ポリシー\]](#) ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[\[承認ポリシー\]](#) ビューで実行します (詳細については「[カタログアイテム承認ポリシーの表示](#)」(59ページ)を参照してください)。[\[承認ポリシー\]](#) ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムのサービス

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

サプライヤフルフィルメントエンジンの中には、サービスを提供するものがあります。サービスは、サービス間の論理的な関係を保持することができます。たとえば、サポートカタログアイテムFix VMをCreate VMIに関連付けられることができます。サービスは、それに関連付けられているアクションを保持することもできます。たとえば、アクションRestart VMIは、別のカタログアイテムで表現することができます。このように関連付けられたサポートアイテムとサービスアイテムは、コンシューマーが買い物をするときに、カタログアイテムとともに提供することができます。

[サービス]ビューを使用すると、組織管理者は、カタログアイテム用のサービスアクションと関連するサポートカタログアイテムを表示および管理することができます。

タスク

[サービス] 詳細ビューでは、次のタスクを実行します。

- 「サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム」(62ページ)
- 「サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの追加」(62ページ)
- 「サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムプロパティの編集」(63ページ)
- 「サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの削除」(63ページ)
- 「カタログアイテムの発行」(64ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「カタログアイテムの削除」(64ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「カタログアイテムの発行解除」(65ページ) - 発行済みアイテムのみ

サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。[カタログアイテム]ビューが表示されます。
2. [カタログアイテム]ビューで、サービスアクションと関連するサポートカタログアイテムを表示したいカタログアイテムをクリックします。
3. [サービス] タブをクリックします。

サービスアクションと関連するサポートカタログアイテムが表示されます。

サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの追加

このタスクは、[サービス]ビューで実行します (詳細については「[サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム](#)」(62ページ)を参照してください)。サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムをカタログアイテムに追加するには、次の手順を実行します。

1. [サービス]ビューのサービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテム領域で、**[追加]**をクリックします。
2. サービスアクションを追加するには、対応するダイアログで、選択を行います。

サービスアクション: ドロップダウンリストからサービスカタログアイテムを選択します。

アクション名: デフォルトの名前をそのまま使用するか、新しい名前を入力します。

承認ポリシー: ドロップダウンリストから承認ポリシーを選択します。

3. 関連するサポートカタログアイテムを追加するには、対応するダイアログで、選択を行います。

サポートカタログアイテム: ドロップダウンリストからサポートカタログアイテムを選択します。

アクション名: デフォルトの名前をそのまま使用するか、新しい名前を入力します。


マッピングを追加するには、次の手順を実行します。

- a. **マッピングの追加** をクリックします。
 - b. **フィールド:** [依頼対象]、[連絡先名]、[通知方法]、[緊急度]、または [電子メール] を選択します。
 - c. **マッピング式:** マッピング構造に基づいて式を入力します。たとえば、「serviceInstance.component[0].propertyMap.hostName」と入力します。Angular式やJSONPath式は、式を"\$."で始めることで使用できます。
 - d. **追加** をクリックします。
4. **追加** をクリックして、変更内容を保存します。

新たに追加したサービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムが表示されます。


サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムプロパティの編集

このタスクは、[サービス] ビューで実行します (詳細については「[サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム](#)」(62ページ)を参照してください)。サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムのいずれかのプロパティを編集するには、次の手順を実行します。

1. [サービス] ビューで、編集対象のサービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの編集  アイコンをクリックします。
2. 対応する編集ダイアログで、サービスアクションまたはサポートカタログアイテムのプロパティを変更し、**保存** をクリックして、変更内容を保存します。

サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの削除

このタスクは、[サービス] ビューで実行します (詳細については「[サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム](#)」(62ページ)を参照してください)。関連するサービスアクションまたはサポートカタログアイテムに削除するには、次の手順を実行します。



1. [サービス] ビューで、削除対象のサービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの削除  アイコンをクリックします。確認ダイアログが表示されます。
2. サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムの削除を確認します。

サービスアクションまたは関連するサポートカタログアイテムが削除されます。

カタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[サービス] ビューで実行します (詳細については「[サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム](#)」(62ページ)を参照してください)。[サービス] ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。


1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。
4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。

カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

カタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[サービス] ビューで実行します (詳細については「[サービスアクションの表示および関連するサポートカタログアイテム](#)」(62ページ)を参照してください)。[サービス] ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

カタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[サービス] ビューで実行します (詳細については「[サービスアクションの表示](#) および [関連するサポートカタログアイテム](#)」(62ページ)を参照してください)。[サービス] ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。

2.  をクリックします。

3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムのバンドルアイテム

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

バンドルされたカタログアイテムには、複数のカタログアイテムと依存サービスのカタログアイテムを含めることができます。組織管理者は、バンドルされたカタログアイテムと依存サービスのカタログアイテムを管理します。

注: [バンドルアイテム] ビューは、バンドルされたカタログアイテムに対してのみ使用できます。

タスク

[バンドルアイテム] ビューでは次のタスクを実行できます。

- 「[バンドルされたカタログアイテムの表示](#)」(66ページ)
- 「[バンドルされたカタログアイテムへのアイテムの追加](#)」(66ページ)
- 「[アイテムの依存関係の追加](#)」(67ページ)
- 「[バンドルされたカタログアイテムの発行](#)」(67ページ) - テンプレートアイテムまたは発行済みアイテムを新しいカタログに
- 「[バンドルされたカタログアイテムの削除](#)」(68ページ) - テンプレートアイテムのみ
- 「[バンドルされたカタログアイテムの発行解除](#)」(68ページ) - 発行済みアイテムのみ

バンドルされたカタログアイテムの表示

1. スタートパッドで、[カタログアイテムアプリケーション](#)をクリックします。[\[カタログアイテム\]](#)ビューが表示されます。
2. [\[カタログアイテム\]](#)ビューで、表示したいバンドルされたカタログアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#)ビューが表示されます。
3. [\[詳細\]](#)ビューで [\[バンドルアイテム\]](#) をクリックします。



バンドルに含まれているカタログアイテムと依存サービスのカタログアイテムのリストが表示されます。

バンドルされたカタログアイテムへのアイテムの追加

このタスクは、[\[バンドルアイテム\]](#)ビューで実行します (詳細については「[バンドルされたカタログアイテムの表示](#)」(66ページ)を参照してください)。バンドルされたカタログアイテムにアイテムを追加するには、次の手順を実行します。

1. [\[バンドルアイテム\]](#)ビューで、[\[バンドルに含まれるカタログアイテムのリスト\]](#)の横の **追加** をクリックします。[\[カタログアイテムをバンドルに追加\]](#)ダイアログが表示されます。
2. [\[バンドルへのカタログアイテムの追加\]](#)ダイアログで、次の手順を実行します。
 - a. 追加するカタログアイテムを選択します。
 - b. オプション: アイテムがバンドルでオプションかどうかを指定します (チェックボックス)。
 - c. アイテム数を指定します。
 - d. 承認ポリシーを指定します。
3. **追加** をクリックして、変更内容を保存します。



新たに追加したカタログアイテムは、バンドルされたカタログアイテムに含まれています。

ヒント: バンドルされたカタログアイテムに含まれるカタログアイテムを編集および削除することもできます。カタログアイテムの横の  および  アイコンをクリックしてください。



アイテムの依存関係の追加

このタスクは、[バンドルアイテム] ビューで実行します (詳細については「[バンドルされたカタログアイテムの表示](#)」(66ページ)を参照してください)。アイテムの依存関係がある場合は、依存アイテムの入力パラメータをカタログアイテムの出力パラメータにリンクして、2つのアイテムを関連付けます。

バンドルされたカタログアイテムに依存関係を追加するには、次の手順を実行します。

1. [バンドルアイテム] ビューで、[アイテムの依存関係] の横の  をクリックします。[依存関係の追加] ダイアログボックスが開きます。
2. [依存関係の追加] ダイアログで:
 - a. 依存カタログアイテムを選択します。
 - b. 入力パラメータを選択します。
 - c. 依存カタログアイテムが依存するカタログアイテムを選択します。
 - d. 出力パラメータを選択します。
3.  をクリックして、変更内容を保存します。



依存関係は、バンドルされたカタログアイテムに含まれています。

ヒント: バンドルされたカタログアイテムに含まれる依存関係を編集および削除することもできます。カタログアイテムの横の  および  アイコンをクリックしてください。

バンドルされたカタログアイテムの発行

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。ただし、カタログアイテムを複数のカタログに対して発行できます。

このタスクは、[バンドルアイテム] ビューで実行します (詳細については「[バンドルされたカタログアイテムの表示](#)」(66ページ)を参照してください)。[\[バンドルアイテム\]](#) ビューでバンドルされたカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、新しいカタログを選択します (カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされます)。
4.  をクリックすると、変更内容が保存されます。


カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

注: このタスクは、テンプレートアイテムのみを対象とします。

バンドルされたカタログアイテムの削除

注: このタスクは、テンプレートのみを対象とします。

このタスクは、[バンドルアイテム] ビューで実行します (詳細については「[バンドルされたカタログアイテムの表示](#)」(66ページ)を参照してください)。[バンドルアイテム] ビューでバンドルされたカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。


1. [テンプレート] タブ (上側) を選択して、テンプレートアイテムを表示します。
2.  をクリックします。
3. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテム (テンプレートアイテムおよび任意の発行済みアイテム) が削除され、表示されなくなります。

バンドルされたカタログアイテムの発行解除

注: このタスクは、発行済みアイテムのみを対象とします。

このタスクは、[バンドルアイテム] ビューで実行します (詳細については「[バンドルされたカタログアイテムの表示](#)」(66ページ)を参照してください)。[バンドルアイテム] ビューでバンドルされたカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. カatalogアイテムの発行を解除するカタログのタブ (上側) を選択します。
2.  をクリックします。
3. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログアイテムがHPE Propelカタログから発行解除され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用できなくなります。

カタログアイテムの発行

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。


カタログアイテムをHPE Propelポータルでオーダー可能な状態にするには、組織管理者がカタログにカタログアイテムを発行する必要があります。

組織管理者は、テンプレートアイテムを1つまたは複数のカタログに対して発行できます。


タスク

単一のカタログアイテムの発行

カタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[テンプレートアイテム]** (ページの左側) を選択します。
3. **[カタログアイテム]**ビューで、発行したいカタログアイテムの  をクリックしてから **[発行]** を選択します。
4. **[カタログにアイテムを発行]** ダイアログボックスで、カタログアイテムの発行先となるカタログを選択しま

す(現在、カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされています)。

5.  クリックすると、変更内容が変更されます。


カタログアイテムが指定のカタログで発行され、HPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。


複数のカタログアイテムの発行

組織管理者は、複数のカタログアイテムを一括で発行できます。

複数のカタログアイテムを一括で発行するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[テンプレートアイテム]** (ページの左側) を選択します。
3. カatalogアイテムの横にあるラジオボタンをクリックして、バッチに含めるカタログアイテムを選択します (代わりに**[すべて選択]** ラジオボタンを使用して、カタログアイテムのすべてを選択するか、何も選択しないことができます)。

4.  をクリックします。
5. **[カタログにアイテムを発行]** ダイアログで、カタログアイテムを発行する先のカタログを選択します (現在、カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされています)。

6.  クリックすると、変更内容が変更されます。



選択したカタログアイテムがすべて発行され、コンシューマーフルフィルメントに利用可能になります。

[詳細] ビューからのカタログアイテムの発行

[詳細] ビューでカタログアイテムを発行するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[テンプレートアイテム]** (ページの左側) を選択します。
3. 発行するテンプレートアイテムをクリックします。**[詳細]**ビューが開きます。

カタログアイテム名の上のTemplate、Catalog 1、Catalog 2などのタブに着目してください。これらは、アイテムがテンプレートアイテムであること、およびアイテムの発行済みのカタログであることを示します。

4.  をクリックします。
5. [カタログにアイテムを発行] ダイアログボックスで、カタログアイテムの発行先となるカタログを選択します (現在、カタログアイテムが発行されていないカタログのみがリストされています)。
6.  をクリックすると、変更内容が変更されます。

カタログアイテムの削除

概念


カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者は、カタログアイテムを削除できます。

タスク

単一のカタログアイテムの削除

カタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。


1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。[カタログアイテム] ビューが表示されます。
2. [カタログアイテム] ビューで、[テンプレートアイテム] (ページの左側) を選択します。
3. 削除したいカタログアイテムの  をクリックしてから [削除] を選択します。確認ダイアログが表示されます。
4. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

選択したカタログアイテム (テンプレートアイテムと発行済みアイテムの両方) が削除され、コンシューマーフルフィルメントに利用できなくなります。ただし、HPE Propelカタログアイテムに対する保留中のオーダーについてはフルフィルメントが行われます。

複数のカタログアイテムの削除

組織管理者は、複数のカタログアイテムを一括で削除できます。


複数のカタログアイテムを一括で削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[テンプレートアイテム]** (ページの左側) を選択します。
3. カatalogアイテムの横にあるラジオボタンをクリックして、バッチに含めるカタログアイテムを選択します (代わりに**[すべて選択]**ラジオボタンを使用して、カタログアイテムのすべてを選択するか、何も選択しないことができます)。
4.  をクリックします。
5. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

選択したHPE Propelカタログアイテム (テンプレートアイテムと発行済みアイテムの両方) が削除され、コンシューマーフルフィルメントに利用できなくなります。ただし、カタログアイテムに対する保留中のオーダーについてはフルフィルメントが行われます。

[詳細] ビューからのカタログアイテムの削除

[詳細] ビューでカタログアイテムを削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[テンプレートアイテム]** (ページの左側) を選択します。
3. 表示したいカタログアイテムをクリックします。
4.  をクリックします。確認ダイアログが表示されます。
5. カatalogアイテムの削除を確認するメッセージが表示されます。

選択したカタログアイテム (テンプレートアイテムと発行済みアイテムの両方) が削除され、コンシューマーフルフィルメントに利用できなくなります。ただし、HPE Propelカタログアイテムに対する保留中のオーダーについてはフルフィルメントが行われます。

カテゴリからのカタログアイテムの削除

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマーフルフィルメントで使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。


カタログアイテムは、カタログ内でカテゴリにグループ化できます。1つのカタログアイテムを複数のカテゴリに追加することもできます。

組織管理者は、カタログアイテムをカタログ内のカテゴリから削除できます。

タスク

カテゴリからの単一のカタログアイテムの削除

カタログアイテムのカテゴリからの削除:

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。[**カタログアイテム**] ビューが表示されます。
2. [**カタログアイテム**] ビューが開いたら、カテゴリから削除したいカタログアイテムの  をクリックし、[**カテゴリの削除**] を選択します。
3. [**カテゴリの削除**] ダイアログボックスが開いたら、カタログアイテムを削除するカテゴリを選択し、[**選択項目の削除**] をクリックします。

HPE Propel カatalogアイテムがカテゴリから削除されます。

カテゴリからの複数のカタログアイテムの削除

組織管理者は、複数のカタログアイテムを一括でカテゴリから削除することもできます。

複数のカタログアイテムを一括でカテゴリから削除するには、次の手順を実行します。

1. **[カタログアイテム]** ビューで、カタログアイテムの横にあるラジオボタンをクリックして、バッチに含めるカタログアイテムを選択します(代わりに**[すべて選択]** ラジオボタンを使用して、カタログアイテムのすべてを選択するか、何も選択しないことができます)。
2. **[すべて表示]** をクリックして、**[カテゴリの削除]** を選択します。
3. **[カテゴリの削除]** ダイアログボックスが開いたら、カタログアイテムを削除するカテゴリを選択し、**[選択項目の削除]** をクリックします。

選択したHPE Propel カatalogアイテムがすべてカテゴリから削除されます。

カタログアイテムの発行解除

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

組織管理者によって発行解除された発行済みのカタログアイテムは、HPE Propelポータルでオーダー用に使用できなくなります。


注: 発行解除できるアイテムは、すでに発行済みのものだけです。

タスク

単一のカタログアイテムの発行解除

カタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]** ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]** ビューで、**[発行済みアイテム]** (ページの左側) を選択します。

3. 発行解除するカタログアイテムと特定のカタログについて、 をクリックしてから **[発行解除]** を選択します。
4. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。


カタログでのHPE Propelカタログアイテムの発行が解除され、HPE Propelポータルでコンシューマーフルフィルメントに使用できなくなります。

注: カatalogアイテムを発行解除するカタログが複数ある場合は、このプロセスを繰り返します。

複数のカタログアイテムの発行解除

組織管理者は、複数のカタログアイテムを一括で発行解除できます。

複数のカタログアイテムを一括で発行解除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[発行済みアイテム]** (ページの左側) を選択します。
3. 各カタログアイテム/カタログの横にあるラジオボタンをクリックして、バッチに含めるカタログアイテムと特定のカタログを選択します(代わりに**[すべて選択]**ラジオボタンを使用して、カタログアイテム/カタログのすべてを選択するか、何も選択しないことができます)。
4.  をクリックします。
5. カatalogアイテムの発行解除を確認するメッセージが表示されます。

カタログでのHPE Propelカタログアイテムの発行が解除され、HPE Propelポータルでコンシューマーフルフィルメントに使用できなくなります。


[詳細] ビューからのカタログアイテムの発行解除

[詳細] ビューでカタログアイテムの発行を解除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログアイテム**アプリケーションをクリックします。**[カタログアイテム]**ビューが表示されます。
2. **[カタログアイテム]**ビューで、**[発行済みアイテム]** (ページの左側) を選択します。

3. 特定のカタログを発行解除する発行済みアイテムをクリックします。[\[詳細\]](#) ビューが開きます。

カタログアイテム名の上のTemplate、Catalog 1、Catalog 2などのタブに着目してください。これらは、アイテムがテンプレートアイテムであること、およびアイテムの発行済みのカタログであることを示します。アイテムを発行解除するカタログのタブをクリックすることもできます。

4.  をクリックします。
5. カatalogでのカタログアイテムの発行解除を確認します。

カタログでのHPE Propelカタログアイテムの発行が解除され、HPE Propelポータルでコンシューマーフルフィルメントに使用できなくなります。

ローカライズ言語でのカタログアイテムの表示

概念

複数のHPE Propelアプリケーションを使用すると、アイテムのプロパティを外国語に翻訳してから、それらのアイテムをローカライズ言語で表示できます。カタログ、カテゴリ、カタログアイテムのプロパティを翻訳して、ローカライズ言語で表示できます。

複数の外国語を1つのHPE Propel組織に関連付けることができます。デフォルト言語は、最初管理者によって指定されます。

組織管理者は、組織のローカライズ言語を管理し、HPE Propelカタログ、カテゴリ、およびカタログアイテムのローカライズ言語での表示を有効にします。

HPE Propel 管理者は、すべてのコンシューマー組織の外国語を管理します。管理者がデフォルト言語を追加、削除、設定する方法については、[「言語の管理」\(155ページ\)](#)を参照してください。

タスク

- [「言語の追加」\(77ページ\)](#)
- [「ローカライズ言語の翻訳」\(77ページ\)](#)

言語の追加

組織にローカライズ言語が割り当てられていない場合は、HPE Propelアバターの下の言語リストをクリックして、**[設定]**を選択します。これで、**Identity**アプリケーションが開きます。

注: **Identity**アプリケーションでデフォルト言語を追加、削除、設定する方法については、「[言語の管理](#)」(155ページ)を参照してください。

ローカライズ言語の翻訳

カタログアイテムアプリケーションで、カタログアイテムのプロパティを翻訳し、ローカライズ言語で表示するには、次の手順を実行します。

1. HPE Propelアバターの下の言語リストをクリックして、ローカライズ言語を選択します。

ヒント: カatalogアイテムをローカライズ言語で表示するときに、それがローカライズ言語に翻訳されていない場合、カタログアイテムの説明が黒以外の色のフォントで表示されません。黒以外の色のフォントで示されるため、カタログアイテムがローカライズ言語に翻訳されていないことを、一目で認識することができます。

2. カatalogアイテムを編集し、プロパティをローカライズ言語に翻訳します。
 - a. カatalogアイテムをクリックします。
 - b. **[詳細]**ビューで**編集**をクリックします。
 - c. **[詳細]**ダイアログで、カタログアイテムのプロパティ(**表示名**、**説明**、**詳細**、および**メイン画像**)をローカライズ言語に翻訳します。
 - d. **[保存]**をクリックすると、翻訳による変更が保存されます。

翻訳したカタログアイテムをローカライズ言語で表示できるようになります。

注: ローカライズ言語に翻訳できるのは、発行済みのカタログアイテムのみです。

カテゴリ

概念

カタログには、HPE Propelポータルでのコンシューマー fulfillment で使用する発行済みのカタログアイテムが含まれています。

カテゴリは、カタログ内でカタログアイテムをグループ分けするのに使用されます。組織管理者は、**カテゴリ**アプリケーションを使用してカタログを管理します。

タスク

利用可能なタスク:

- 「[カテゴリの詳細の表示](#)」(78ページ)
- 「[サブカテゴリの追加](#)」(79ページ)
- 「[カテゴリの詳細の編集](#)」(80ページ)
- 「[カテゴリの削除](#)」(81ページ) - カatalogアイテムが割り当てられているカテゴリは削除できません。
- 「[ローカライズ言語でのカテゴリの表示](#)」(82ページ)

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

カテゴリの詳細の表示

概念

カテゴリは、カタログ内でカタログアイテムをグループ分けするのに使用されます。

タスク

カテゴリの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カテゴリ**アプリケーションをクリックします。[**カテゴリ**] ビューが表示されます。

ヒント: カテゴリのリストをフィルターするには、検索条件を入力します。指定した検索条件に一致するカテゴリのみが表示されます。

2. オプション: カテゴリ内のすべてのサブカテゴリ間を移動するには、**カテゴリ** (左側) を展開します。これは、大文字と小文字が異なるため重複したサブカテゴリなど、不要なサブカテゴリを特定したい場合に便利です。
3. オプション: 展開されたカテゴリ階層 (左側) 内の親カテゴリをクリックします。
4. カテゴリの詳細を表示するには、メインリスト内でカテゴリをクリックします。

カテゴリの詳細として、[名前]、[説明]、[親カテゴリ] の各プロパティが表示されます。

ページの上部にカテゴリ階層が表示されます。他のカテゴリのいずれかをクリックして、その詳細を表示します。

サブカテゴリの追加

概念

カテゴリは、カタログ内でカタログアイテムをグループ分けするのに使用されます。

組織管理者は、新しいサブカテゴリを作成できます。

タスク

新しいカテゴリを作成するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カテゴリ**アプリケーションをクリックします。**[カテゴリ]** ビューが表示されます。

サブカテゴリの追加

2. **サブカテゴリの追加** をクリックします。**[新規カテゴリ]** ダイアログボックスが開きます。
3. **[新規カテゴリ]** ダイアログボックスで、必要なフィールドに値を入力します。
 - a. 新しいカテゴリの表示名を**[名前]**に入力します。
 - b. 表示内容から親カテゴリを変更するには、次の手順を実行します。
 - i. **[カテゴリの選択]** をクリックします。
 - ii. 新しいカテゴリの親カテゴリを選択します。
 - iii. **OK** をクリックします。

カテゴリの作成

4. **[新規カテゴリ]** ダイアログボックスで **カテゴリの作成** をクリックすると、変更内容が保存されます。

新しいカテゴリとそのプロパティが表示されます。新規カテゴリの追加プロパティを編集するには、「[カテゴリの詳細の編集](#)」(80ページ)を参照してください。

ヒント: サブカテゴリは、既存の任意のカテゴリ下に作成できます。

カテゴリの詳細の編集

概念

カテゴリは、カタログ内でカタログアイテムをグループ分けするのに使用されます。

組織管理者は、カテゴリのプロパティを編集できます。プロパティには、**[名前]**、**[説明]**、**[親カテゴリ]**、**[メイン画像]**の各フィールドがあります。

タスク

カテゴリのプロパティを変更するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カテゴリ**アプリケーションをクリックします。**[カテゴリ]** ビューが表示されます。
2. オプション: 親カテゴリに移動します。
3. 編集するカテゴリをクリックします。カテゴリのメイン画像および詳細として、**[名前]**、**[説明]**、**[親カテゴリ]** の各プロパティが表示されます。
4. **[編集]** をクリックします。
5. **[詳細]** ビューで、カテゴリで変更したいプロパティ (**[名前]**、**[説明]**、**[親カテゴリ]**、**[メイン画像]**) の各プロパティに新しい値を入力します。
6. **[詳細]** ビューで **[保存]** をクリックすると、変更内容が保存されます。
カテゴリのプロパティのリビジョンが表示されます。

カテゴリの削除


概念

カテゴリは、カタログ内でカタログアイテムをグループ分けするのに使用されます。

組織管理者は、カテゴリを削除できます。

タスク

カテゴリを削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カテゴリ**アプリケーションをクリックします。**[カテゴリ]** ビューが表示されます。
2. オプション: 親カテゴリに移動します。
3. **[カテゴリ]** ビューで、削除したいカテゴリの  をクリックしてから **[削除]** を選択します。カテゴリの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
4. 削除を確認すると、カテゴリが削除されます。

注: **[詳細]** ビューからカテゴリを削除することもできます。

削除

をクリックして削除を確認します。

ローカライズ言語でのカテゴリの表示

概念

複数のHPE Propelアプリケーションを使用すると、アイテムのプロパティを外国語に翻訳してから、それらのアイテムをローカライズ言語で表示できます。カタログ、カテゴリ、カタログアイテムのプロパティを翻訳して、ローカライズ言語で表示できます。

複数の外国語を1つのHPE Propel組織に関連付けることができます。デフォルト言語は、最初管理者によって指定されます。

組織管理者は、組織のローカライズ言語を管理し、HPE Propelカタログ、カテゴリ、およびカタログアイテムのローカライズ言語での表示を有効にします。

HPE Propel 管理者は、すべてのコンシューマー組織の外国語を管理します。管理者がデフォルト言語を追加、削除、設定する方法については、「[言語の管理](#)」(155ページ)を参照してください。

タスク

- 「[言語の追加](#)」(82ページ)
- 「[ローカライズ言語の翻訳](#)」(83ページ)

言語の追加

組織にローカライズ言語が割り当てられていない場合は、HPE Propelアバターの下の言語リストをクリックして、[設定]を選択します。これで、Identityアプリケーションが開きます。

注: Identityアプリケーションでデフォルト言語を追加、削除、設定する方法については、「[言語の管理](#)」(155ページ)を参照してください。

ローカライズ言語の翻訳

組織管理者は、組織のローカライズ言語を管理し、カテゴリのローカライズ言語での表示を有効にします。

カテゴリアプリケーションで、カテゴリのプロパティを翻訳し、ローカライズ言語で表示するには、次の手順を実行します。

1. HPE Propel アバターの下の言語リストをクリックして、ローカライズ言語を選択します。

ヒント: カテゴリをローカライズ言語で表示するときに、それがローカライズ言語に翻訳されていない場合、カテゴリの説明が黒以外の色のフォントで表示されます。黒以外の色のフォントで示されるため、カテゴリがローカライズ言語に翻訳されていないことを、一目で認識することができます。

2. カテゴリを編集し、プロパティをローカライズ言語に翻訳します。
 - a. オプション: 親カテゴリに移動します。
 - b. カテゴリをクリックします。
 - c. [詳細] ビューで [編集] をクリックします。
 - d. [詳細] ダイアログで、カテゴリのプロパティ ([名前]、[説明]、および [メイン画像]) をローカライズ言語に翻訳します。
 - e. [保存] をクリックすると、翻訳による変更が保存されます。

翻訳したカテゴリをローカライズ言語で表示できるようになります。

カタログ接続

概念

集約の作成と管理には、**カタログ接続** アプリケーションを使用します。

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カatalog アイテムを管理できます。HPE Propel の集約には、HPE Service Manager (SM) や HPE Service Anywhere (SAW) といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステム

のカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カatalogアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

HPE SM、HPE SAW、HP Operations Orchestration (HP OO)、HPE Cloud Service Automation (CSA) を現在使用している環境では、HPE Propelを拡張機能として使用すると便利です。エンドポイントシステムからのサービスおよび製品 オファリングは、直接に取得され、集約に追加されます。さらに、ServiceNow™ や BMC Remedy ARS™ をはじめとするサードパーティのエンドポイントシステムも集約に集約できます。



タスク

組織管理者は、**カタログ接続**アプリケーションを使用して集約を作成し、エンドポイントシステム (HPE SM または HPE SAW) からアイテムを取得して集約します。組織管理者は、集約に集約されたカタログアイテムを、クエリフィルターによって制御します。集約に集約されたカタログアイテムは、HPE Propelポータルでコンシューマーフルフィルメント用に発行できます。

集約の作成とカタログアイテムの発行は、次の手順で実行します。

1. エンドポイントシステムをサプライヤーとして構成します。最初に、エンドポイントシステムがサプライヤーとして構成されている必要があります。詳細については「[サプライヤー](#)」(97ページ)のヘルプを参照してください。
2. 集約を追加します。次に、組織管理者は、集約を作成して、サービスおよび製品 オファリングをサプライヤーから取得できるようにします。一部のサプライヤーでは、カタログアイテムで発生した追加、変更、削除をHPE Propelの集約に自動的に反映する設定を行うことができます。
3. カatalogアイテムのセットを定義します。組織管理者はカタログアイテムを集約に追加する前に、追加対象となるカタログアイテムをプレビューできます。カタログアイテムのサブセットを作成するには、フィルター条件 (カタログアイテムやカタログアイテムの所有者など) を指定します。(たとえば、ハードウェアカタログアイテムのみを集約に追加するなど。)
4. カatalogアイテムを集約します。集約を作成すると、サプライヤーのカタログアイテムが集約に追加されます。カタログアイテムはカタログに発行されていないので、HPE Propelポータルのフルフィルメントにはまだ使用できません。
5. カatalogアイテムを発行します。カタログアイテムの集約が完了すると、組織管理者カタログに発行可能になります。発行したカタログアイテムは、HPE Propelポータルでコンシューマーによるフルフィルメントに使用できます。

作成したHPE Propel集約では、継続的に集約 (再集約) を実行できます。

-  自動 - 特定のサプライヤーで作成された集約のみで設定できます。サプライヤーシステムのカタログアイテムを変更すると(追加、更新、削除)、カタログアイテムで集約が自動的に再実行され、HPE Propel集約のステータスが更新されます。
-  手動 - 組織管理者が手動で再集約を実行します。この場合、組織管理者がカタログアイテムに変更が発生したことを認識し、再集約を手動で行う必要があります。

組織管理者は**カタログ接続**アプリケーションで次のタスクを実行できます。

- 「[カタログ集約の詳細の表示](#)」(86ページ)
- 「[カタログ集約の追加](#)」(87ページ)
- 「[カタログ集約の削除](#)」(90ページ)
- 「[カタログ集約の編集](#)」(91ページ)
- 「[カタログ集約の解決](#)」(92ページ)
- 「[カタログアイテムの編集](#)」(93ページ)
- 「[カタログアイテムの発行](#)」(94ページ)
- 「[カタログ集約の再起動 \(再集約\)](#)」(95ページ)

ベストプラクティス

- HTTPSの使用: HPE Propel VMとサプライヤー(エンドポイントシステム)との間でHTTPSが使用されている場合は、Secure Socket Layer (SSL) 通信を確立する必要があります。HPE Propelとサプライヤーのシステムとの間でSSL証明書がインポートされ、信頼済みである必要があります。SSL構成に関する詳細については、『HPE Propel Installation and Configuration Guide』を参照してください。
- サプライヤーの統合:
 - 集約を作成するには、HPE Propel集約WebサービスをHPE Service Manager (SM)にロードし、HPE SMアンロードを適用しておく必要があります。
 - HPE Cloud Service Automation (CSA)は、承認設定用にLDAPを使用するように構成する必要があります。
 - 権限のあるユーザーとして統合アカウントが割り当てられているHPE Service Anywhere (SAW)グループには、新しい外部システムを追加する必要があります。

サプライヤーを接続する方法については、『HPE Propel Installation and Configuration Guide』を参照してください。

- 集約の再実行: 再集約の自動実行を設定しておく、サプライヤーのシステムの変更がHPE Propel カタログアイテムに自動的に反映されるので、設定をお勧めします (手動で再集約を行うには、組織管理者はサプライヤーのシステムでカタログアイテムに変更が発生したことを検出し、再集約アクションを実行しなければなりません)。
- カタログアイテムを編集する方法: 集約のカタログアイテムで行った変更内容は、HPE Propelで保持されます。つまり、再集約を行っても、サプライヤーシステム内にあるカタログアイテムのプロパティによって、HPE Propelの集約に含まれるカタログアイテムのプロパティが書き換えられることはありません。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

カタログ集約の詳細の表示

概念

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カタログアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カタログアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

タスク

組織管理者は、集約の詳細を表示できます。

1. スタートパッドで、**カタログ接続**アプリケーションをクリックします。**[集約リスト]**が表示されます。
2. 詳細を表示したい集約をクリックします。**[集約レポート]**が表示されます。



3. **[集約プロパティ]** タブをクリックします。集約の一般的なプロパティとステータスが表示されます。
4. **[集約履歴]** タブをクリックします。各カタログアイテムアクションの履歴データ (**アイテム**、**ステータス**、**カテゴリ**、**アクション**、アクションが実行された日時など) が表示されます。

ヒント: 履歴アイテムのリストをフィルターするには、検索条件を入力します。指定した検索条件に一致する履歴アイテムのみが表示されます。

- 複数の履歴ページ間を移動するには、(下部にある)コントロールを使用します。
- ある列を基準として履歴をソートし直すには、その列ヘッダーをクリックします。ソート順を昇順から降順に変更するには、上下の矢印を使用します。
- アイテム履歴の詳細を表示するには、履歴アイテムをクリックします。

そのアイテムに関連する履歴アクションのリストが表示され、**変更の説明**、**古い値**、**新しい値**、およびアクションが**確認済み**かどうかが表示されます。警告またはエラーが表示されます。

注: カatalogアイテムオフリングを表示するには、**[集約履歴]** ビューで履歴アイテムの横

にある  をクリックするか、**[アイテム履歴の詳細]** ビューで  をクリックし、**[オフリングに移動]** を選択します。どちらの場合も、**カタログアイテムアプリケーション** にカタログアイテムオフリングが表示されます。詳細については「**カタログアイテムの編集**」(93ページ)を参照してください。

カタログ集約の追加

概念

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カatalogアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カatalogアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルフルフィルメントで使用可能になります。

タスク

サプライヤー (HPE Service Manager (SM)、HPE Cloud Service Automation (CSA)、HPE Service Anywhere (SAW) など) からインポートされたカタログアイテムは、集約に追加し、カタログに発行できます。これにより、コンシューマーは HPE Propel ポータルでカタログアイテムをフルフィルメントに使用できるようになります。組織管理者は、集約を作成することで、カタログアイテムを管理します。


注: HPE SM、HPE CSA、HPE SAW などのサプライヤーに接続する方法については、『HPE Propel Installation and Configuration Guide』を参照してください。


集約を作成するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**カタログ接続** アプリケーションをクリックします。[集約リスト] が表示されます。

2. アダプターを追加するには、**集約の追加** をクリックします。[新規集約] ダイアログボックスが開きます。
3. [新規集約] ダイアログボックスの [集約プロパティ] タブで、次の手順を実行します。
 - a. 集約の名前を [名前] フィールドに入力します。
 - b. [サプライヤー] リストから、エンドポイントシステムを選択します。

ヒント: 新規 HPE Propel サプライヤー (統合エンドポイントシステム) を作成するには **+ サプライヤーの作成** をクリックします。このアクションで [新規サプライヤー] ダイアログボックスが表示され HPE Service Manager (SM) エンドポイントシステムなどの新しいサプライヤーを追加できます。

- c. オプション (サプライヤーに依存): [オフリングタイプ] を選択します。サービスオフリングとは、HPE Propel ポータルでのオーダーに使用するカタログアイテムです。サポートオフリングとは、サポート要求に使用するカタログアイテムです。このオフリングタイプは、サプライヤーのシステム (HPE SM や HPE SAW など) で定義します。
- d. オプション (サプライヤーに依存): サプライヤーのシステムでカタログアイテムの変更が発生した際、再集約を自動実行する場合は、[自動] チェックボックスをクリックします。詳細については「**ベストプラクティス**」(89 ページ) の再集約を参照してください。
- e. オプション (サプライヤーに依存): 集約でカタログアイテムのサブセットを作成するには、[クエリフィルター] フィールドにクエリ条件を入力します。詳細については、クエリフィルターのヘルプ  を参照

- してください。(プレビュープロセスでもクエリフィルターに条件を入力できます。ステップgを参照してください。)
- f. オプション (サプライヤーに依存): [ソースカタログ] を選択して、サプライヤーからカタログアイテムをインポートするときに使用するHPE Propelカタログを指定します。
 - g. 集約を作成する前に、新しい集約に追加されるカタログアイテムをプレビューします。
 - i. [プレビュー] タブをクリックします。カタログアイテムのリストが表示されます。
 - ii. カatalogアイテムのサブセットを作成するには (以前に作成していない場合)、[クエリフィルター] フィールドにクエリ条件を入力し、**フィルターの適用** をクリックします。(詳細については、クエリフィルターのヘルプ  を参照してください。)クエリ条件を満たすカタログアイテムのみが表示され、集約に追加されます。
 - h. 集約に追加されるカタログアイテムの検証が完了したら、**保存** をクリックします。これにより、集約が作成されます。新しく作成された集約が[集約リスト]に表示されます。カタログアイテムを集約に追加する際、進捗バーでステータスが表示されます。
4. 集約の全体的なプロパティを表示するには、集約をクリックします。[集約レポート]が表示されます。

ベストプラクティス

- HTTPSの使用: HPE Propel VMとサプライヤー (エンドポイントシステム) との間でHTTPSが使用されている場合は、Secure Socket Layer (SSL) 通信を確立する必要があります。HPE Propelとサプライヤーのシステムとの間でSSL証明書がインポートされ、信頼済みである必要があります。SSL構成に関する詳細については、『HPE Propel Installation and Configuration Guide』を参照してください。
 - サプライヤーの統合:
 - 集約を作成するには、HPE Propel集約WebサービスをHPE Service Manager (SM)にロードし、HPE SMアンロードを適用しておく必要があります。
 - HPE Cloud Service Automation (CSA)は、承認設定用にLDAPを使用するように構成する必要があります。
 - 権限のあるユーザーとして統合アカウントが割り当てられているHPE Service Anywhere (SAW)グループには、新しい外部システムを追加する必要があります。
- サプライヤーを接続する方法については、『HPE Propel Installation and Configuration Guide』を参照してください。
- 集約の再実行: 再集約の自動実行を設定しておく、サプライヤーのシステムの変更がHPE Propelカタログアイテムに自動的に反映されるので、設定をお勧めします (手動で再集約を行うには、組織

管理者はサプライヤーのシステムでカタログアイテムに変更が発生したことを検出し、再集約アクションを実行しなければなりません。

カタログ集約の削除


概念

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カatalogアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム(サプライヤー)からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カatalogアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

組織管理者は、集約を削除できます。

タスク

組織管理者は、集約を削除できます。

1. スタートパッドで、**カタログ接続**アプリケーションをクリックします。**[集約リスト]**が表示されます。
2. **[集約リスト]**で、削除したい集約をクリックします。**[集約レポート]**が表示されます。
3. **[集約レポート]**の右上の領域にある  をクリックし、**[削除]**を選択します。
4. 集約の削除を確認します。

集約が削除されます。その集約に含まれていたカタログアイテムはすべて削除されます。

カタログ集約の編集

概念

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カタログアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カタログアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

集約の作成が完了すると、組織管理者は集約のプロパティを編集できます。

タスク

組織管理者は、集約の一般的なプロパティを変更できます。

1. スタートパッドで、**カタログ接続**アプリケーションをクリックします。**[集約リスト]**が表示されます。
2. **[集約リスト]**が開いたら、編集したい集約をクリックします。**[集約レポート]**が表示されます。
3. **[編集]**をクリックします。集約の一般的なフィールドとステータスフィールドが表示されます。一般フィールドでは、次の項目を変更できます。
 - 集約の**[名前]**
 - サプライヤーのシステムでカタログアイテムの変更が発生した際、再集約を自動実行する場合は、**[自動]** チェックボックスをクリックします。**注:** 再集約の自動は、特定のサプライヤーで実行できます。
4. 変更内容を保存するには、**[保存]**をクリックします。**[集約レポート]**には、集約のリビジョンと集約の最終更新日時のタイムスタンプが表示されます。

カタログ集約の解決

概念


組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カタログアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カタログアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

HPE Propel 組織管理者は、解決済み/既読の集約にマークを付けることができます。

通常のフローでは、自動集約によってカタログアイテムが変更された後に、組織管理者がHPE Propelでその変更をレビューし、適切に管理する必要があります。競合の自動解決は、あらゆる場合に機能するわけではないので、組織管理者は変更に関与し、解決済み/既読のマークを付けることができます。その処理は、集約レベルまたはカタログアイテムレベルで実行できます。組織管理者が変更をレビューする必要があるのは、すべての変更をポータルに伝播できるとは限らないためです (変更に、調整、訂正、さらには削除が必要な場合もあります)。

タスク

組織管理者は、任意の集約のステータスを解決済みに設定できます。

1. スタートパッドで、**カタログ接続**アプリケーションをクリックします。**[集約リスト]**が表示されます。
2. 詳細を表示したい集約をクリックします。**[集約レポート]**が表示されます。
3. **[集約履歴]** タブをクリックします。各カタログアイテムアクションの履歴データが表示されます。
4. オプション: すべての警告またはエラーをわかりやすくまとめるには、**[ステータス]** 列のヘッダーをクリックし、ステータスに基づいて履歴をソートし直します。
5. すべての履歴アイテムの問題を解決済みに設定するには、 をクリックし、**[すべて解決済みにマーク]**を選択します。
6. すべてのアイテムが解決済みになったことを確認します。

注: **[アイテム履歴の詳細]** ビューで、特定のアイテムを解決することもできます。アイテムをク

リックして、アイテム履歴の詳細を表示し、 をクリックしてから、[すべて解決済みにマーク] を選択してください。

カタログアイテムの編集

概念


組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カタログアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カタログアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

組織管理者は、カタログアイテムのプロパティを編集できます。たとえば、カタログアイテムのデフォルト価格の変更が可能です。

タスク

組織管理者は、集約に含まれる個々のカタログアイテムを編集できます。

注: 集約のカタログアイテムを変更すると、その変更内容は保持されます。つまり、再集約を行っても、サプライヤーシステム内にあるカタログアイテムのプロパティによって、HPE Propelの集約に含まれるカタログアイテムのプロパティが上書きされることはありません。

1. スタートパッドで、**カタログ接続** アプリケーションをクリックします。
2. [集約リスト] が開いたら、編集したいカタログアイテムが含まれている集約をクリックします。
3. [集約レポート] で [集約履歴] をクリックします。集約に含まれるカタログアイテムがすべて表示されます。
4. 編集するカタログアイテムの行で、[オフライン] 列の  をクリックします。[カタログアイテム] ビューに

は、カタログアイテムのプロパティが表示されます。

注: これにより、**カタログアイテム**アプリケーションに移動します。再ログインが必要な場合があります。

5. **[カタログアイテム]** ビューで **[編集]** をクリックします。カタログアイテムの **[詳細]** ダイアログボックスが開きます。
6. カatalogアイテムを変更します。**[保存]** をクリックすると、変更内容が保存されます。(カタログアイテムの編集の詳細については、「[カタログアイテム](#)」(26ページ)を参照してください。)

ベストプラクティス

- カatalogアイテムを編集する方法: 集約のカタログアイテムで行った変更内容は、HPE Propelで保持されます。つまり、再集約を行っても、サプライヤーシステム内にあるカタログアイテムのプロパティによって、HPE Propelの集約に含まれるカタログアイテムのプロパティが上書きされることはありません。




カタログアイテムの発行

概念

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カatalogアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム(サプライヤー)からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカタログアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カatalogアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルでのフルフィルメントで使用可能になります。

タスク

組織管理者は、集約に追加したカタログアイテムを発行することができます。発行したカタログアイテムは、HPE Propelポータルでコンシューマーによるフルフィルメントに使用できます。

1. スタートパッドで、**カタログ接続** アプリケーションをクリックします。
2. **[集約リスト]** が開いたら、発行したいカタログアイテムが含まれている集約をクリックします。
3. **[集約レポート]** で **[集約履歴]** をクリックします。集約に含まれるカタログアイテムが表示されます。オフリングを個々に発行するには、次の手順を実行します。
 - a. 発行したいカタログアイテムの **[オフリング]** 列にある  をクリックします。カタログアイテムの **[詳細]** ビューが開きます(必要に応じて、カタログアイテムのプロパティを変更できます)。
 - b. **[詳細]** ビューで  をクリックします。
 - c. **[カタログにアイテムを発行]** ダイアログボックスが開いたら、カタログを選択し、 をクリックします。

カタログアイテムが発行され、HPE Propelポータルでのコンシューマーによるフルフィルメントで使用可能になります。


ヒント: 複数のカタログアイテムを一度に発行するには、「[カタログアイテム](#)」(26ページ)を参照してください。

カタログ集約の再起動 (再集約)


概念

組織管理者は、集約を作成することで、HPE Propel カatalogアイテムを管理できます。HPE Propelの集約には、HPE Service Manager (SM)やHPE Service Anywhere (SAW)といったエンドポイントシステム (サプライヤー) からインポートされたカタログアイテムが含まれます。集約が作成され、エンドポイントシステムのカatalogアイテムがインポートされると、組織管理者はHPE Propel カatalogアイテムをカタログに発行します。これにより、カタログアイテムはHPE Propelポータルのフルフィルメントで使用可能になります。

作成したHPE Propel集約では、継続的に集約 (再集約) を実行できます。

-  **自動** - 特定のサプライヤーで作成された集約のみで設定できます。サプライヤーシステムのカatalogアイテムを変更すると(追加、更新、削除)、カタログアイテムで集約が自動的に再実行され、


HPE Propel 集約のステータスが更新されます。

-  手動 - 組織管理者が手動で再集約を実行します。この場合、組織管理者がカタログアイテムに変更が発生したことを認識し、再集約を手動で行う必要があります。

注: 集約のカタログアイテムを変更すると、その変更内容は保持されます。つまり、再集約を行っても、サプライヤーシステム内にあるカタログアイテムのプロパティによって、HPE Propelの集約に含まれるカタログアイテムのプロパティが上書きされることはありません。

タスク

組織管理者は、既存の集約の再集約を実行できます。これにより、サプライヤーシステムで追加、変更、削除されたカタログアイテムが、HPE Propelの集約に反映されます。

1. スタートパッドで、**カタログ接続**アプリケーションをクリックします。**[集約リスト]**が表示されます。
2. **[集約リスト]**が開いたら、再集約したい集約をクリックします。**[集約レポート]**が開き、一般フィールドとステータスフィールドが表示されます。
3. **[集約レポート]**の右上の領域にある  をクリックし、**[集約の再起動]**を選択します。

再集約の進捗がステータスバーで表示されます。ステータスフィールドには、再集約に関する詳細が表示されます。

[集約レポート]の**[集約履歴]**タブをクリックすると、カタログアイテムの変更内容を個別にレビューできます。

ヒント: **[集約履歴]**では、サプライヤーシステムからの集約後、カタログアイテムが解決済みかどうかを画像で確認できます。未解決のカタログアイテムには、左側に緑色のバーが表示されます。解決済みのカタログアイテムには表示されません。

ベストプラクティス

- 集約の再実行: 再集約の自動実行を設定しておく、サプライヤーのシステムの変更がHPE Propel カタログアイテムに自動的に反映されるので、設定をお勧めします (手動で再集約を行うには、組織管理者はサプライヤーのシステムでカタログアイテムに変更が発生したことを検出し、再集約アクションを実行しなければなりません)。

サプライヤー

概念

サプライヤーは、エンドポイントシステムとそのプロパティで構成され、HPE Propelと統合できます。サプライヤーの例:

- プロバイダーシステム
- フルフィルメントシステム
- チケット処理システム

たとえば、サプライヤーをHPE Service Manager (SM) システムに追加し、サプライヤーのオフリングをHPE Propelにインポートできます。

サプライヤーは組織に関連付けられ、組織管理者がそれぞれの組織のサプライヤーシステムを管理します。

タスク

利用可能なタスク:

- [「サプライヤーの詳細の表示」](#)(98ページ)
- [「サプライヤーの追加」](#)(100ページ)
- [「サプライヤーの詳細の編集」](#)(104ページ)

- 「サポート要求の同期」(105ページ)
- 「サプライヤーの削除」(106ページ)

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者 ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「Propelヘルプ」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

サプライヤーの詳細の表示

概念

サプライヤーとは、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。HPE Propelサプライヤーの例として、プロバイダーシステム、フルフィルメントシステム、およびチケット処理システムなどがあります。

サプライヤーは組織に関連付けられ、組織管理者がそれぞれの組織のサプライヤーシステムを管理します。

タスク

- 「[サプライヤーの概要の表示](#)」(98ページ) - サプライヤーの一般的なプロパティとユーザープロパティを表示します。
- 「[サプライヤーの診断の表示](#)」(99ページ) - サプライヤーのアクセス可能性ステータスとログインステータスを表示します。
- 「[サプライヤーの構成チェックの表示](#)」(99ページ) - HPE Service Manager (SM) アンロードファイルのステータスを表示します (HPE SMサプライヤーのみ)。

サプライヤーの概要の表示

サプライヤーの概要を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. **[サプライヤー]**ビューで、メインリスト内の**サプライヤー**をクリックします。サプライヤーの詳細が**[概要]**ビューに表示されます。

サプライヤーの診断の表示

サプライヤーの診断を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. **[サプライヤー]**ビューで、メインリスト内の**サプライヤー**をクリックします。
3. **[サプライヤーの詳細]**ビューで**[診断]**タブをクリックします。

サプライヤーのエンドポイントのアクセシビリティステータスとログインステータスが表示されます。

新規オーダーとサポートチケット、応答時間、要求のステータスなどの追加メトリックを表示することもできます。

サプライヤーの構成チェックの表示

注: **[構成チェック]** タブは、HPE SMやHPE Service Anywhere (SAW) などの特定のサプライヤーに対してのみ使用できます。

サプライヤーのHPE SMアンロードファイルのステータスを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. **[サプライヤー]**ビューで、メインリスト内の**サプライヤー**をクリックします。
3. **[サプライヤーの詳細]**ビューで**[構成チェック]**タブをクリックします。

サプライヤーのすべての一般設定およびHPE SMアンロードファイルのステータスが表示されます。

サプライヤーの追加

概念

サプライヤーとは、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。HPE Propelサプライヤーの例として、プロバイダーシステム、フルフィルメントシステム、およびチケット処理システムなどがあります。

サプライヤーは組織に関連付けられ、組織管理者がそれぞれの組織のサプライヤーシステムを管理します。

組織管理者は、新しいHPE Propelサプライヤーを追加できます。

タスク

新しいサプライヤーを追加するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. [サプライヤー]ビューで **サプライヤーの追加** をクリックします。
3. [サプライヤーの追加] ダイアログボックスに入力し、[基本的なサプライヤーのプロパティ] を選択します。
 - a. 説明的な名前を、新規サプライヤーの[名前]フィールドに入力します。
 - b. [バックエンドシステムタイプ] を選択します。
4. [バックエンドシステムタイプ] を選択すると、追加の[一般]、[ユーザー]、および[プロキシ]フィールドが表示されます。必須のフィールドを入力および選択します。
5. [サプライヤーの追加] ダイアログボックスで **作成** をクリックすると、変更内容が保存されます。新しいサプライヤーとそのプロパティが表示されます。
6. オプション (HP SMサプライヤーのみ) - HPE Service Manager (SM) サプライヤーが追加され、LWSSOが指定されている場合、詳細については、[「LWSSOの構成」\(103ページ\)](#)を参照してください。

注: HPE Propelと新しいサプライヤー間の通信にHTTPSが使用されている場合は、HTTPSを構成する必要があります。(詳細については[「サプライヤー用のSSLの構成」\(101](#)

ページ)を参照してください。)

サプライヤー用のSSLの構成

HPE Propelとサプライヤー間の通信にHTTPSが使用されている場合は、HTTPSを構成する必要があります。

SSLの構成

次の手順を実行します。

1. HPE Propel VMのCAが署名した証明書をサプライヤーのキーストアにインポートします。この一般的な手順は次のとおりです。

- a. HPE Propel VMの/opt/hp/propel/security/CA.crtファイルを/tmpディレクトリにコピーします。
- b. サプライヤーのシステム上で、CAが署名した証明書をインポートします。

```
# keytool -importcert -file /tmp/CA.crt -alias Propel_CA  
-trustcacerts -keystore <SUPPLIER-KEYSTORE-PATH>/cacerts
```

ここで、SUPPLIER-KEYSTORE-PATHは、サプライヤーのシステム上のcacertsファイルの場所です。次に、cacertsファイルの場所の例を示します。

- Windows上のHPE SMの場合：
C:\Program Files (x86)\HP\ServiceManager9.X\Server\RUN\cacerts
 - Linux上のHPE SMの場合：
/opt/HP/ServiceManager9.X/Server/RUN
 - Windows上のHPE CSAの場合：
C:\Program Files\Hewlett-Packard\CSA\openjre\lib\security\cacerts
 - Linux上のHPE CSAの場合：
/usr/local/hp/csa/openjre/lib/security/cacerts
- c. サプライヤーのシステム上で、サプライヤーのサービスを再起動します。
 - HPE SMの場合：
service sm restart

- HPE CSAの場合:

```
# service csa restart
```

2. サプライヤーのCA証明書をHPE Propel VM信頼ストアにインポートします。この一般的な手順は次のとおりです。

- a. サプライヤーのCA証明書を取得し、HPE Propel VMの/tmpディレクトリにコピーします。サプライヤーの証明書を取得する例については、「[SSLのヒント](#)」(102ページ)を参照してください。次の手順では、サプライヤーのCA証明書は、CA.crtファイル内にあります。

- b. HPE Propel VM上で、サプライヤーのCAが署名した証明書をインポートします。

```
# keytool -importcert -file /tmp/CA.crt -alias Supplier_CA  
-trustcacerts -keystore /opt/hp/propel/security/propel.truststore
```

(デフォルトのパスワードは、HPE Propel信頼ストアの場合、「propel2014」です)。

3. HPE Propel VM上で、HPE Service Exchange (SX)サービスを再起動します。

```
# systemctl restart jetty-sx
```

ヒント: HPE Propelとサプライヤー間でHTTPSが正しく構成されていることを確認するには、**サプライヤーアプリケーション**でサプライヤーの詳細を表示し、**[診断]** タブをクリックします。ステータスで接続上の問題がないことが示される必要があります。

SSLのヒント

サプライヤーのシステムからのSSL証明書がない場合、証明書を手動で作成することができます。次に、サプライヤーのSSL証明書を作成する例を示します。

- 「[サプライヤーの信頼ストアからのSSL証明書のエクスポート](#)」(102ページ)
- 「[サプライヤーのホスト証明書の作成](#)」(103ページ)

サプライヤーの信頼ストアからのSSL証明書のエクスポート

サプライヤーのシステム上で次のコマンドを使用して、サプライヤーの信頼ストアからSSL証明書をエクスポートします。

```
# keytool -exportcert -file <CERT-OUTPUT-FILE> -keystore  
<SUPPLIER-KEYSTORE-PATH>/cacerts -alias <SUPPLIER-ALIAS>
```

ここで

- CERT-OUTPUT-FILEは、エクスポートされた証明書を含む出力ファイルです。
- SUPPLIER-KEYSTORE-PATHは、サプライヤーのシステム上のcacertsファイルの場所です。
- SUPPLIER-ALIASは、サプライヤーの証明書を識別するために、サプライヤーの信頼ストアで使用されるエイリアスです。

サプライヤーのホスト証明書の作成

次の手順を使用して、サプライヤーのホスト証明書を作成します。

1. HPE Propel VM上で、次のコマンドを実行します。

```
# openssl s_client -connect <SUPPLIER-HOST>:<PORT> > supplier.crt
```

2. supplier.crtファイルを編集し、
"-----BEGIN CERTIFICATE-----" で始まり、"-----END CERTIFICATE-----" で終わる行のみ保持し、他のすべての行を削除します。

次のコマンドを使用すると、サプライヤーのホスト証明書が有効であることを確認できます。

```
# keytool -printcert -file supplier.crt
```

keytoolコマンドの出力により、証明書の所有者と発行者を識別されます。

LWSSOの構成

HPE SMサプライヤーを追加し、LWSSOを指定して、LWSSO通信を有効にした場合、
/opt/hp/propel/sx/WEB-INF/classes/config/lwssofmconf.xmlファイルには、ターゲットのHPE SM
インスタンスに一致する適切なLWSSO構成が含まれている必要があります。特に次のことが重要です。

- domain要素には、HPE SXとターゲットのHPE SMインスタンス用の共通ドメインが含まれている必要があります。
- crypto要素のinitString属性には、HPE SMインスタンスと同じパスフレーズが含まれている必要があります。

lwssofmconf.xmlファイルに対する変更が終了したら、次の手順を実行する必要があります。

1. HPE Propel VM上でHPE SXを再起動します。

```
# systemctl restart jetty-sx
```

2. HPE SMシステム上で次の手順を実行します。
 - a. <SM_SERVER_INSTALL_PATH>/RUN/lwssofmconf.xmlファイルに対して同様の変更を行います。
 - b. HPE SM(# service sm restart)を再起動します。

サプライヤーの詳細の編集

概念

サプライヤーとは、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。HPE Propelサプライヤーの例として、プロバイダーシステム、フルフィルメントシステム、およびチケット処理システムなどがあります。

サプライヤーは組織に関連付けられ、組織管理者がそれぞれの組織のサプライヤーシステムを管理します。

組織管理者は、HPE Propelサプライヤーのプロパティを編集できます。

タスク

サプライヤーのプロパティを変更するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. **[サプライヤー]** ビューで、編集したいサプライヤーをクリックします。サプライヤーの詳細が表示されます。
3. **[編集]** をクリックします。
4. **[サプライヤーの詳細]** ダイアログで、変更するサプライヤーのプロパティの新しい値を入力または選択します。
5. **[サプライヤーの詳細]** ダイアログボックスで **[保存]** をクリックすると、変更内容が保存されます。

サプライヤーのプロパティのリビジョンが表示されます。

サポート要求の同期

概念

サプライヤーとは、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。HPE Propelサプライヤーの例として、プロバイダーシステム、フルフィルメントシステム、およびチケット処理システムなどがあります。



サプライヤーは組織に関連付けられ、組織管理者がそれぞれの組織のサプライヤーシステムを管理します。

組織管理者は、サポート要求をHPE Service Manager (SM) などのサプライヤーからHPE Propelにインポートできます。

タスク

注: [サポート要求の同期] 機能は、HPE SMやHPE Service Anywhere (SAW) などの特定のサプライヤーに対してのみ使用できます。

サプライヤーのサポート要求をインポートするには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. [サプライヤー] ビューで、サポート要求のインポート元のサプライヤーをクリックします。サプライヤーの詳細が表示されます。
3. [サプライヤーの詳細] ビューで  をクリックし、[サポート要求の同期] を選択します。
4. [サポート要求の同期] ダイアログで、[開始日] (サプライヤーからサポート要求をインポートする開始日) を指定し、 をクリックします。

指定された [開始日] から始まるすべてのサポート要求がインポートされます。

サプライヤーの削除

概念


サプライヤーとは、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。HPE Propelサプライヤーの例として、プロバイダーシステム、フルフィルメントシステム、およびチケット処理システムなどがあります。

サプライヤーは組織に関連付けられ、組織管理者がそれぞれの組織のサプライヤーシステムを管理します。

組織管理者は、HPE Propelサプライヤーを削除できます。

タスク

サプライヤーの削除:

1. スタートパッドで、**サプライヤーアプリケーション**をクリックします。
2. **[サプライヤー]** ビューで、削除したいサプライヤーをクリックします。
3. **[サプライヤーの詳細]** ビューで  をクリックし、**[削除]** を選択します。サプライヤーの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
4. サプライヤーの削除を確認すると、HPE Propelサプライヤーが削除されます。

注意: サプライヤーを削除すると、その集約とカタログアイテムもすべて削除されます。

ポリシー

概念

ポリシーは、コンシューマーがHPE Propelポータルで実行したオーダーの承認要件を制御します。

組織管理者は、**ポリシーアプリケーション**を使用して承認ポリシーを管理します。

HPE Propelポリシーには3つのタイプがあります。

- 「名前付き」(107ページ)
- 「ユーザーコンテキスト」(107ページ)
- 「ビジネス承認」(107ページ)

名前付き

承認者は、HPE Propelユーザーのグループで、コンシューマーによるカタログアイテムのオーダーを共同で承認できます。個々のユーザーを承認グループに追加できます。指定したグループのすべてのユーザーが承認を求められ、次のプロパティが承認プロセスに影響します。

- **[最小承認数]** プロパティでは、オーダーの認証に必要な承認の数を指定します。0に設定すると、グループのすべてのメンバーがオーダーを承認する必要があります。
- **[最小否認数]** プロパティでは、オーダーが否認される否認数を指定します。0に設定するとこのプロパティは無視されます。

ユーザーコンテキスト

承認者は、サービスをオーダーしたコンシューマーのマネージャーです。**[レベル数]** プロパティは、承認プロセスに関与するマネージャーの数を指定します。たとえば、**[レベル数]** を2に設定すると、2レベルのマネージャーがオーダーを承認する必要があります。マネージャーは、連続する手順で承認を求められます。すべての必須のマネージャーがオーダーを承認する必要があります (1件でも拒否の結果があると、オーダーは否認されます)。

ビジネス承認

承認プロセスは、指定したビジネスプロセス (**ビジネスプロセスアプリケーション**で作成される) に基づいて実行されます (**「ビジネスプロセス」(113ページ)**を参照してください)。

自動承認の選択

すべてのポリシータイプについて、**[自動承認]** を選択し、オーダーの待ち時間を超過すると、自動応答 (承認済みまたは否認済み) が実行されます。

- **[待機時間 (日)]** 設定は、要求を自動的に承認/否認するまで待機する時間を示します。
- **[応答]** 設定は、自動的に承認/否認するかどうかを示します。

HPE Propel 承認ポリシーを作成すると、カタログまたはカタログアイテムに適用できます。カタログに承認ポリシーを適用する場合、カタログのすべてのカタログアイテムに承認ポリシーが必要です。ただし、組織管理者はカタログ内のさまざまなカタログアイテムに異なる承認ポリシーを割り当てることができます。承認ポリシーの適用の詳細については、「[カタログ](#)」(17ページ)と「[カタログアイテム](#)」(26ページ)を参照してください。

タスク

利用可能なタスク:

- 「[ポリシーの詳細の表示](#)」(108ページ)
- 「[ポリシーの作成](#)」(109ページ)
- 「[ポリシーの詳細の編集](#)」(111ページ)
- 「[ポリシーの削除](#)」(112ページ)

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報(ユーザーIDとパスワード)を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

ポリシーの詳細の表示

概念

ポリシーは、コンシューマーがHPE Propelポータルで実行したオーダーの承認要件を制御します。

組織管理者は、HPE Propel承認ポリシーを表示できます。

タスク

ポリシーの詳細を表示:

1. スタートパッドで、**ポリシーアプリケーション**をクリックします。**[ポリシー]**ビューが表示されます。
2. **[ポリシー]**ビューに表示されるポリシーのリストを検索するには、**[ポリシーの検索]**フィールドに検索条件を入力します。指定した検索条件に一致するポリシーのみが表示されます。
3. ポリシーの詳細を表示するには、メインリスト内でポリシーをクリックします。ポリシーの詳細として、**[名前]**、**[タイプ]**、**[ポリシーの属性]**が表示されます。**ポリシーの属性**はポリシータイプによって異なり、**レベル数**、**承認者**、**最小承認数**、**最小否認数**、**自動承認**、**待機時間 (日)**、**応答**の各プロパティと、ビジネス承認の場合は**プロセスフローダイアグラム**を含む場合があります。

ポリシーの作成

概念

ポリシーは、コンシューマーがHPE Propelポータルで実行したオーダーの承認要件を制御します。

組織管理者は、新しいHPE Propel承認ポリシーを作成できます。ビジネス承認、名前、組織関係

タスク

- [「ビジネス承認ポリシーの追加」\(109ページ\)](#)
- [「名前付きポリシーの追加」\(110ページ\)](#)
- [「組織関係ポリシーの追加」\(111ページ\)](#)

ビジネス承認ポリシーの追加

注: ビジネス承認ポリシーは推奨のポリシーで、今後のHPE Propelのリリースで継続されるポリシーのタイプとなります。

新しいビジネス承認ポリシーを追加するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ポリシーアプリケーション**をクリックします。**[ポリシー]**ビューが表示されます。
2. **[ポリシー]**ビューで **ポリシーの追加** をクリックします。
3. **[新規承認ポリシー]** ダイアログボックスに入力し、必要なフィールドを選択します。
 - a. 新しいポリシーの**[タイプ]**として**[ビジネス承認]**を選択します。(ポリシータイプの詳細については、「**ポリシー**」(106ページ)を参照してください。)
 - b. 新しいポリシーの**[名前]**を入力します。
4. **[新規承認ポリシー]** ダイアログボックスで **ポリシーの追加** をクリックすると、変更内容が保存されます。

新しいビジネス承認ポリシーとそのプロパティが表示されます。

名前付きポリシーの追加

新しい名前付きポリシーを追加するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ポリシーアプリケーション**をクリックします。**[ポリシー]**ビューが表示されます。
2. **[ポリシー]**ビューで **ポリシーの追加** をクリックします。
3. **[新規承認ポリシー]** ダイアログボックスに入力し、必要なフィールドを選択します。
 - a. 新しいポリシーの**[タイプ]**として**[名前付き]**を選択します。(ポリシータイプの詳細については、「**ポリシー**」(106ページ)を参照してください。)
 - b. 新しいポリシーの**[名前]**を入力します。
 - c. **[承認者]**を選択します。
 - d. **[最小承認数]**の数を入力します。
 - e. **[最小否認数]**の数を入力します。
 - f. オプション:**[自動承認]**が指定されている場合:
 - i. **[待機時間 (日)]**に、要求を自動的に承認/否認するまで待機する時間を入力します。
 - ii. **[応答]**に、オーダーの待ち時間を超過後に、要求を自動的に承認または否認するかどうかを指定します。
4. **[新規承認ポリシー]** ダイアログボックスで **ポリシーの追加** をクリックすると、変更内容が保存されます。

新しい名前付きポリシーとそのプロパティが表示されます。

組織関係ポリシーの追加

新しい組織関係ポリシーを追加するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ポリシーアプリケーション**をクリックします。**[ポリシー]**ビューが表示されます。
2. **[ポリシー]**ビューで **ポリシーの追加** をクリックします。
3. **[新規承認ポリシー]** ダイアログボックスに入力し、必要なフィールドを選択します。
 - a. 新しいポリシーの**[タイプ]**として**[組織関係]**を選択します。(ポリシータイプの詳細については、「**ポリシー**」(106ページ)を参照してください。)
 - b. 新しいポリシーの**[名前]**を入力します。
 - c. **[レベル数]**に、要求の承認に必要なマネージャーのレベル数を入力します。
 - d. オプション:**[自動承認]**が指定されている場合:
 - i. **[待機時間 (日)]**に、要求を自動的に承認/否認するまで待機する時間を入力します。
 - ii. **[応答]**に、オーダーの待ち時間を超過後に、要求を自動的に承認または否認するかどうかを指定します。
4. **[新規承認ポリシー]** ダイアログボックスで **ポリシーの追加** をクリックすると、変更内容が保存されます。

新しい組織関係ポリシーとそのプロパティが表示されます。

ポリシーの詳細の編集

概念

ポリシーは、コンシューマーがHPE Propelポータルで実行したオーダーの承認要件を制御します。

組織管理者は、HPE Propel承認ポリシーのプロパティを編集できます。

タスク

ポリシーのプロパティを編集するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ポリシーアプリケーション**をクリックします。**[ポリシー]**ビューが表示されます。
2. **[ポリシー]**ビューで、編集したいポリシーをクリックします。
3. **[詳細]**ビューで**[編集]**をクリックします。
4. **[詳細]**ダイアログボックスで変更を加えます。ポリシーのタイプに応じて、各種のプロパティを変更できます。
5. **[保存]**をクリックすると、変更内容が保存されます。

[詳細]ビューが開き、ポリシーの変更後のプロパティが表示されます。

ヒント: HPE Propel承認ポリシータイプの詳細については、「[ポリシー](#)」(106ページ)を参照してください。

ポリシーの削除

概念

ポリシーは、コンシューマーがHPE Propelポータルで実行したオーダーの承認要件を制御します。


組織管理者は、HPE Propel承認ポリシーを削除できます。

タスク

ポリシーの削除:


1. スタートパッドで、**ポリシーアプリケーション**をクリックします。**[ポリシー]**ビューが表示されます。



2. **[ポリシー]**ビューで、削除したいポリシーの  をクリックしてから **[削除]** を選択します。ポリシーの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。

3. ポリシーの削除を確認します。

HPE Propelの承認ポリシーが削除されます。

注: ポリシーを削除するには、**[ポリシーの詳細]**ビュー(手順については「[ポリシーの詳細の表示](#)」(108ページ)を参照)で、 をクリックして削除を確認する方法もあります。

ビジネスプロセス

概念

ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。HPE Propelには、次の定義済みのビジネスプロセス定義があります。

- 単純なマネージャー承認
- リマインダー付きのマネージャー承認
- 高度な承認
- 条件付き承認
- パラメーター化された条件付き承認

注: HPE Propelの定義済みのビジネスプロセス定義をただちに新しい名前複製して、コピーだけを編集することを強くお勧めします。

組織管理者は、**ビジネスプロセスアプリケーション**を使用して、HPE Propelが承認のために使用するビジネスプロセス定義の管理、カスタマイズ、新規作成を行います。

ビジネスプロセスアプリケーションは、一般的にはHPE Propel内部で次の順序で使用されます。

1. 組織管理者は、**ビジネスプロセスアプリケーション**を使用して、HPE Propelが承認のために使用するビジネスプロセス定義を管理します。ビジネスプロセス定義は使用前に発行する必要があります。
2. 組織管理者は、**ポリシーアプリケーション**を使用してビジネスプロセス定義から承認ポリシーを作成します ([「ポリシー」\(106ページ\)](#)を参照してください)。
3. 組織管理者は、**カタログアプリケーション**を使用して、承認ポリシーをカタログに関連付け、コンシューマーフルフィルメント用にHPE Propelポータルに発行します ([「カタログ」\(17ページ\)](#)を参照してください)。

また、組織管理者は、**カタログアイテムアプリケーション**を使用して、承認ポリシーを特定のアイテムに関連付けることにより、カタログ全体とは別の承認ポリシーを適用することもできます ([「カタログアイテム」\(26ページ\)](#)を参照してください)。

4. コンシューマーは、**ショップアプリケーション**を使用して、フルフィルメント用のカタログアイテムを要求し、オーダーを作成することができます。

注: 要求に対してHPE Propelユーザーの承認が(単独で、またはダウンストリームのフルフィルメント承認とともに) 必要な場合は、カタログまたはカタログアイテムに承認ポリシーが割り当て済みであることが必要です。

5. アイテムがオーダーされると、ビジネスプロセスインスタンスが開始され、承認プロセスを管理します。オーダー内のアイテムは、指定されたビジネスプロセスに基づいて、承認 (または否認) されます。このプロセスには、複数の承認者が必要な場合もあります。

タスク

利用可能なタスク:

- [「ビジネスプロセスの表示」\(115ページ\)](#)
- [「ビジネスプロセスの詳細の表示」\(118ページ\)](#)
- [「ビジネスプロセスの複製」\(119ページ\)](#)
- [「ビジネスプロセスの編集」\(120ページ\)](#)
- [「ビジネスプロセスの作成」\(146ページ\)](#)
- [「ビジネスプロセスの削除」\(147ページ\)](#)
- [「ビジネスプロセスの発行」\(148ページ\)](#)

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者 ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

ビジネスプロセスの表示

概念

ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメータの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。HPE Propelには、次の定義済みのビジネスプロセス定義があります。

- 単純なマネージャー承認
- リマインダー付きのマネージャー承認
- 高度な承認
- 条件付き承認
- パラメーター化された条件付き承認

組織管理者は、ビジネスプロセスを表示できます。

タスク

- [ビジネスプロセスのリストの表示](#)
- [ビューの変更](#)
- [ビジネスプロセスのリストのソート](#)
- [「サンプルのビジネスプロセスの生成」\(117ページ\)](#)

ビジネスプロセスのリストの表示

ビジネスプロセスのリストを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ビジネスプロセスアプリケーション**をクリックします。**[ビジネスプロセス]** ビューが表示されます。

ビジネスプロセスの詳細情報として、**名前**、**説明**、**発行済みかどうか**などが表示されます。

ヒント: ビジネスプロセスのリストをフィルターするには、検索条件を入力します。指定した検索条件に一致するビジネスプロセスのみが表示されます。

2. 発行済み、発行解除済み、すべてのビジネスプロセスを簡単に切り替えるには、**[発行済みプロセス]**、**[発行解除されたプロセス]**、または **[すべてのプロセス]** をクリックします。

ビューの変更

注: このタスクは、**ビジネスプロセスビュー**で実行します (詳細については「[ビジネスプロセスのリストの表示](#)」(115ページ)を参照してください)。

ビジネスプロセスのビューを変更するには、次の手順を実行します。

- リスト表示の場合、**[グリッド表示]** をクリックすると、すべてのビジネスプロセスのグラフィカル表示に切り替わります。
- グリッド表示の場合、**[リスト表示]** をクリックすると、すべてのビジネスプロセスの単純なリストに切り替わります。

ビジネスプロセスのリストのソート

注: このタスクは、**ビジネスプロセスビュー**で実行します (詳細については「[ビジネスプロセスのリストの表示](#)」(115ページ)を参照してください)。

ビジネスプロセスのソート順序を変更するには、次の手順を実行します。

1. ドロップダウンリストを開きます (右端にあり、デフォルトは**[日時が新しい順]**)。
2. 次の中からソート順序を選択します。**日時が新しい順**、**日時が古い順**、**アルファベット昇順**、**アルファベット降順**。

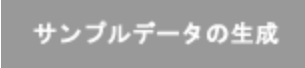
サンプルのビジネスプロセスの生成

HPE Propelには、定義済みのサンプルビジネスプロセスが用意されており、それを直接使用することも、カスタマイズするテンプレートとして使用することもできます。サンプルのビジネスプロセスを生成または再生成することが必要になるのは、次のような場合です。

- 他の組織用のサンプルビジネスプロセスが必要になった (HPE Propelがデフォルトで生成するのは、CONSUMER組織用のサンプルプロセスのみです)。
- ビジネスプロセスを削除してしまい、それを再生成したい。
- HPE Propelに用意されたビジネスプロセスを変更してしまい、元のプロセスを再生成したい (変更したプロセスを保持する必要がある場合は、プロセスを別の名前で作成または複製してから、元のプロセスを再生成してください)。

注: このタスクは、[ビジネスプロセス] ビューで実行します (詳細については「[ビジネスプロセスのリストの表示](#)」(115ページ)を参照してください)。

HPE Propelで提供される一連のサンプルビジネスプロセスを生成 (または再生成) するには、次の手順を実行します。

1.  をクリックします。
2. [サンプルデータの生成] ダイアログで、[同じ名前のプロセスがすでに存在しても、新しいサンプルプロセスを生成する] チェックボックスを必要に応じてオンにします。

注: このボックスがオンの場合、同じ名前の既存のビジネスプロセスは上書きされます。
このボックスがオフの場合、同じ名前の既存のビジネスプロセスは更新されません。

3.  をクリックします。

HPE Propelから提供されるサンプルビジネスプロセスの生成 (または再生成) は、[同じ名前のプロセスがすでに存在しても、新しいサンプルプロセスを生成する] ボックスがオンかどうかによって実行されます。

ビジネスプロセスの詳細の表示

概念

ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。


組織管理者は、ビジネスプロセスの詳細を表示できます。

タスク

ビジネスプロセスの詳細を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ビジネスプロセスアプリケーション**をクリックします。**[ビジネスプロセス]**ビューが表示されます。

ビジネスプロセスの詳細情報として、**名前**、**説明**、**発行済みかどうか**などが表示されます。

2. 表示するビジネスプロセスをクリックするか、ビジネスプロセスの横にある縦方向の省略記号  をクリックして、**[詳細]**を選択します。

ビジネスプロセスの追加の詳細が表示されます。表示されるのは、**作成日**、**最終更新日**、および**ビジネスプロセス定義のダイアグラム**です。

ビジネスプロセス定義が発行済みの場合は、ページの下部に、現在の発行済みバージョンに関する情報（バージョン、発行日、そのダイアグラムなど）が表示されます。現在のダイアグラムと発行済みのダイアグラムに差異がある場合は、「**発行解除された変更が含まれます**」が表示されます。

ビジネスプロセスの複製

概念



ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。

組織管理者は、ビジネスプロセスを複製する(コピーを作成する)ことができます。


注: HPE Propelの定義済みのビジネスプロセス定義をただちに新しい名前で複製して、コピーだけを編集することを強くお勧めします。

タスク

ビジネスプロセスを複製するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ビジネスプロセスアプリケーション**をクリックします。[**ビジネスプロセス**]ビューが表示されます。
2. [**ビジネスプロセス**]ビューで、複製するビジネスプロセスの横にある縦方向の省略記号  をクリックし、[複製]を選択します。
3. [**プロセスの複製**]ダイアログで、フィールドに値を入力します。
 - a. 新規に複製したビジネスプロセスの[名前]を入力します。
 - b. オプション: 新規に複製したビジネスプロセスの[説明]を入力します。
4. [**プロセスの複製**]ダイアログボックスで  をクリックすると、変更内容が保存されます。

ビジネスプロセスアプリケーションからプロセスエディターが直接開きます。複製したビジネスプロセスを変更するには、「[HPE Propelプロセスエディターの使用](#)」(123ページ)を参照してください。

注: ビジネスプロセスを複製するには、[**プロセスの詳細**]ビューで、縦方向の省略記号  をクリックして[複製]を選択する方法もあります。

ビジネスプロセスの編集

概念

ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。HPE Propelには、次の定義済みのビジネスプロセス定義があります。

- 単純なマネージャー承認
- リマインダー付きのマネージャー承認
- 高度な承認
- 条件付き承認
- パラメーター化された条件付き承認

注: HPE Propelの定義済みのビジネスプロセス定義をただちに新しい名前でも複製して、コピーだけを編集することを強くお勧めします。

組織管理者は、既存のビジネスプロセス定義を編集するか、または新しいビジネスプロセスを定義することができます。

方針

方針としては、まずHPE Propelで提供されているビジネスプロセスによってニーズを満たせるかどうかを判定します。パラメーター値を設定することで、ビジネスプロセスを簡単にカスタマイズできます。

HPE Propelで提供されているビジネスプロセス定義によってニーズを満たせない場合は、実際のユースケースに最も近いビジネスプロセス定義のコピーを作成して変更することをお勧めします。

最後の手段としては、提供されたサンプルのビジネスプロセスロジックを使用して新しいビジネスプロセス定義を作成し、独自のビジネスプロセス定義をデザインします。

注: 新しいビジネスプロセス定義を作成するより、既存のビジネスプロセス定義を編集することをお勧めします。

プロセスの構造

ビジネスプロセスは、作業を実行するアクティビティのシーケンスとして定義されます。プロセスは、実行を記述するフロー要素 (アクティビティ、イベント、ゲートウェイ、シーケンスフロー) のグラフとして記述されます。

有効なプロセスは、開始イベントで始まり、終了イベントによって終了します。プロセスには1つ以上のアクティビティ (タスク) が含まれます。アクティビティには、名前付き承認、ユーザーコンテキスト承認、スクリプトタスクなどの種類があります。アクティビティはフローシーケンス矢印によって接続されます。タスクとは作業が実行される場所であり、手動 (顧客への訪問やフォームへの記入など) または自動 (スクリプト使用) で実行されます。ゲートウェイによっても、プロセス内のフローの方向が決まります。

結果変数は、ビジネスプロセスの実行の全体を通して、ステータス情報を保持しています。結果変数には、通常は `approved` という名前が付けられます。その値は、`true` (承認済み) または `false` (否認済み) に設定されます。ビジネスプロセスの実行は、その値に応じて変わります。たとえば、結果変数の値が `false` に設定されている場合、承認タスクは実行されません。

プロセスは、次の要素によってさらに複雑になります。

- 指定した条件に基づくフローの分岐
- 異なる組み合わせの承認タスクの使用
- 自動化されたJavaScriptタスクの追加
- サブプロセスの定義
- イベントの終了または繰り返しのためのタイマーの追加

ビジネスプロセス定義が有効となり、HPE Propelでサポートされるためには、そのタスクとシーケンスフローが両端で接続されていることが必要です (1つ以上の入力と1つの出力が必要です)。ただし、出力または入力が1つしかない開始タスクと終了タスクは例外です。

承認タスクの実行: ビジネスプロセスの実行中に、先行するアクティビティまたはスクリプトによって `Approved` 結果変数が `false` に設定されている場合、承認タスク (名前付き承認、ユーザーコンテキスト承認、およびグループ承認) はスキップされます。結果はすでに決定されていると見なされるため、そのアクティビティはスキップされます。これにより、各承認アクティビティの後の余分なゲートウェイが避けられるため、承認プロセスは単純化されます。


ビジネスプロセスが定義されたら、プロセスの複数のインスタンスをHPE Propelで実行することができます。**診断**アプリケーションは、BPM/バックエンドサービスとビジネスプロセスUIサービスのステータスを提供します ([「診断」\(187ページ\)](#)を参照してください)。

タスク


- [ビジネスプロセスの編集](#)
- [HPE Propel プロセスエディターの使用](#)


ビジネスプロセスの編集

ビジネスプロセス定義を編集するには、次の手順を実行します。


1. スタートパッドで、**ビジネスプロセスアプリケーション**をクリックします。**[ビジネスプロセス]**ビューが表示されます。
2. 編集するビジネスプロセスをクリックします (または、ビジネスプロセスの横にある縦方向の省略記号  をクリックし、**[エディターで開く]**を選択します)。HPE Propel プロセスエディターが開きます。

注: HPE Propel プロセスエディターは、**[プロセスの詳細]**ビューからもアクセスできます。

その場合は、編集するビジネスプロセスの横にある縦方向の省略記号  をクリックし、**[エディターで開く]**を選択します。

3. ビジネスプロセス定義に必要な変更を加えます (手順については、「[HPE Propel プロセスエディターの使用](#)」(123ページ)を参照してください)。
4.  をクリックして、変更を保存します。モデルの**[名前]**と**[説明]**を更新します。

保存してエディターを閉じる

 をクリックしてモデルを保存し、**ビジネスプロセスビュー**に戻ります。

注: 新しい名前で保存すると、元のビジネスプロセスの名前が置き換えられます。元のビジネスプロセスを保持するには、まず元のビジネスプロセスを複製してから、コピーを編集します (詳細については「[ビジネスプロセスの複製](#)」(119ページ)を参照してください)。

HPE Propelで提供されているビジネスプロセスをカスタマイズする場合は、HPE Propelで提供されているビジネスプロセスを上書きするのではなく、別の名前で複製してから、そのコピーを編集します。

HPE Propelプロセスエディターの使用

プロセスエディターは、ビジネスプロセス定義の定義と編集に使用される強力なツールです。

注: プロセスエディターは、既存のビジネスプロセスの編集 (ここ)、既存のビジネスプロセスの複製 (「[ビジネスプロセスの複製](#)」(119ページ)を参照)、または新規ビジネスプロセスの作成 (「[ビジネスプロセスの作成](#)」(146ページ)を参照) を実行するときに開きます。

プロセスエディターを使用するには、次の手順を実行します。

- プロセスエディターのレイアウトを理解します。

プロセスエディターのレイアウト

領域	説明
プロセスデザイン領域	現在のビジネスプロセス定義が表示されるメインの編集領域。
プロセス要素領域	ビジネスプロセス定義に追加できるデザイン要素を含む領域 (左側)。各カテゴリを展開することにより、カテゴリ内のすべての要素を表示できます。要素は、プロセスデザイン領域にドラッグアンドドロップできます。要素を使用する手順については、「 プロセス要素領域の要素 」(125ページ)を参照してください。
プロセス要素オプションのアイコン	要素が選択されたときに、プロセスデザイン領域にポップアップ表示されるアイコン。このアイコンツールにより、要素の編集や、ビジネスプロセス定義への次の要素の追加を行います。アイコンを使用する手順については、「 プロセス要素オプションのアイコン 」(127ページ)を参照してください。
プロセスツールバー領域	編集ツールのアイコンが配置されたツールバー (上側)。ツールを使用する手順については、「 プロセスツールバー領域のツール 」(129ページ)を参照してください。
プロセスタスクパラメーター領域	ビジネスプロセス全体または選択した要素のパラメーター値などの詳細が表示される領域 (下側)。パラメーターを設定し使用する手順については、「 プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター 」(131ページ)を参照してください。

- 単純なビジネスプロセス定義をプロセスエディターで作成する手順の一部始終を確認します。

この手順は、プロセスエディターを使用して単純なビジネスプロセス定義を作成する基本的な方法を紹介します。まず、概要レベルで手順を説明し、それに詳細な手順と定義が続きます。

- 「[ビジネスプロセスの作成](#)」(146ページ)の指示を実行します。プロセスエディターが開きます。プロセスデザイン領域は空白になっています。

- b. プロセス要素領域で、[開始イベント]を展開してから、開始イベントをドラッグし、プロセスデザイン領域にドロップします。
- c. 開始イベントを選択した状態で、[プロセス要素オプションのアイコン]の[排他的ゲートウェイ]アイコンをクリックします。これで、シーケンスフロー矢印で接続された2つの要素が表示されています。
- d. 排他的ゲートウェイを選択した状態で、[プロセス要素オプションのアイコン]の[名前付き承認]アイコンをクリックします。
- e. 名前付き承認タスクを選択した状態で、[プロセス要素オプションのアイコン]の[承認結果の設定]アイコンをクリックします。すべてのビジネスプロセス定義には、それが終了する前に、承認結果の設定タスクがなければならないことに注意してください。
- f. 承認結果の設定タスクを選択した状態で、[プロセス要素オプションのアイコン]の[終了イベント]アイコンをクリックします。これで、シーケンスフロー矢印で接続された5つの要素が表示されています。
- g. シーケンス内の排他的ゲートウェイには、出力がもう1つ必要なことに注意します。プロセス要素領域で、[アクティビティ]を展開してから、ユーザーコンテキスト承認をドラッグし、プロセスデザイン領域の既存のシーケンスの下にドロップします。

排他的ゲートウェイをユーザーコンテキスト承認タスクに接続するため、排他的ゲートウェイを選択し、その[プロセス要素オプションのアイコン]を開きます。[シーケンスフロー]アイコンをドラッグしてユーザーコンテキスト承認タスクの上にドロップします。

- h. 開始イベントから終了イベントへのすべてのパスに承認結果の設定タスクが含まれている必要があるため、ユーザーコンテキスト承認タスクを選択し、その[プロセス要素オプションのアイコン]を開きます。[シーケンスフロー]アイコンをドラッグして承認結果の設定タスクの上にドロップします。

これで、次のようなビジネスプロセス定義が得られます。



- i. さらに別のステップを実行して、ビジネスプロセス定義を完成する必要があります。
 - プロセス要素のパラメーター値を指定します。プロセスを有効にするには、いくつかのパラメーターが必要です。
 - プロセスの外観を改良します。
 - プロセスを保存します。
- プロセス要素領域 (左側) の要素をドラッグして、プロセスデザイン領域 (メインの作業領域) にドロップします。

プロセス要素領域の要素

カテゴリ	要素	説明
開始イベント	開始イベント	特定のトリガーを持たない開始イベントを追加します。 すべてのビジネスプロセス定義に対して必須です。 パラメーターの詳細については、「 開始イベント 」(131ページ)を参照してください。
アクティビティ	名前付き承認	特定のユーザーによる承認を開始する新規タスクを追加します。 承認が定義済みの場合、タスクは実行されません。 パラメーターの詳細については、「 名前付き承認タスク 」(131ページ)を参照してください。
	ユーザーコンテキスト承認	マネージャー階層内の特定のレベル数による承認を開始する新規タスクを追加します。 承認が定義済みの場合、タスクは実行されません。 パラメーターの詳細については、「 ユーザーコンテキスト承認タスク 」(132ページ)を参照してください。
	グループ承認	特定のグループによる承認を開始する新規タスクを追加します。 承認が定義済みの場合、タスクは実行されません。 パラメーターの詳細については、「 グループ承認タスク 」(132ページ)を参照してください。
	承認結果の設定	ビジネス承認の結果 (true=承認、false=否認) を設定する新規タスクを追加します。 このタスクは、要求アイテムに対する カタログアプリケーション の要求のステータスと同期するために必要です。「承認結果の設定」タスクは、常にビジネスプロセス定

プロセス要素領域の要素 (続き)




		<p>義の「終了イベント」に先立つ最後のタスクである必要があります。結果変数 (approved) は、このタスクの入力になるため、このタスクの実行前に、常にtrueまたはfalseに設定する必要があります。このタスクが含まれていない場合、ビジネスプロセスの実行は失敗し、"Approval process {} completed without deciding approval state." というエラーメッセージが表示されます。</p> <p>パラメーターの詳細については、「承認結果の設定タスク」(132ページ)を参照してください。</p>
	スクリプトタスク	<p>スクリプトロジックを持つ新規自動タスク (JavaScriptまたはJava Unified Expression Language (JUEL)) を追加します。</p> <p>実行中のプロセスがスクリプトタスクに到達すると、対応するスクリプトが実行されます。</p> <p>パラメーターの詳細については、「スクリプトタスク」(133ページ)を参照し、スクリプトの詳細については、「スクリプトの作成」(137ページ)を参照してください。</p>
	メールタスク	<p>メールタスクを追加します。</p> <p>パラメーターの詳細については、「メールタスク」(133ページ)を参照してください。</p>
構造	サブプロセス	<p>サブプロセス範囲を追加します。</p> <p>サブプロセスは、プロセス内部のプロセスです。標準化のため、または再利用を容易にするために使用できません。境界タイマーイベント (「境界イベント」(127ページ)を参照) とともに使用すると、プロセスインスタンスが停止したり、電子メールを送信したりするタイミングを指定できます。たとえば、14日経っても承認または否認が発生しなかった場合に、境界タイマーイベントによってプロセスインスタンスを停止し、要求を否認することができます。</p>
ゲートウェイ	排他的ゲートウェイ	<p>選択ゲートウェイを追加します。</p> <p>排他的ゲートウェイ (XORゲートウェイ) は、プロセス内の決定を示します。実行中のプロセスがこのゲートウェイに到達すると、すべての出力シーケンスフローが、定義されている順に評価されます。TRUEに評価された最初のシーケンスフロー (最初のものだけ) が、プロセスを続行するために選択されます。どのシーケンスフローもTRUEに評価されない場合、デフォルトフローが取得さ</p>

プロセス要素領域の要素 (続き)

		<p>れます (デフォルトフローが定義されている場合)。 パラメーターの詳細については、「排他的ゲートウェイ (134ページ)」を参照してください。</p>
境界イベント	境界タイマーイベント	<p>タイマートリガーを持つ境界イベントを追加します。 タイマー境界イベントは、アラーム時計やストップウォッチのような役割を果たします。境界イベントがアクティビティに添付されている場合、そのアクティビティが実行されたときにタイマーが開始されます。タイマーが時間切れになると(タイマーに指定した時間が経過すると)、アクティビティは中断され、新しい実行パスが実行されます。 パラメーターの詳細については、「境界タイマーイベント (135ページ)」を参照してください。</p>
終了イベント	終了イベント	<p>特定のトリガーを持たない終了イベントを追加します。 すべてのビジネスプロセス定義に対して必須です。 パラメーターの詳細については、「終了イベント (135ページ)」を参照してください。</p>
アーティファクト	テキスト注釈	<p>説明テキストで要素に注釈を付けます。 パラメーターの詳細については、「テキスト注釈 (135ページ)」を参照してください。</p>

- プロセス要素オプションのアイコン (プロセスデザイン領域内の要素の横にポップアップ表示される小さいアイコン) を使用すると、要素の削除、変更、またはプロセスへの次の要素の追加を行うことができます。

プロセス要素オプションのアイコン

アイコン	要素	説明
	削除	プロセスから要素を削除
	変更	要素タイプを、同じカテゴリの別の要素に変更します。
	名前付き承認	<p>特定のユーザーによる承認を開始する新規タスクを追加します。 承認が定義済みの場合、タスクは実行されません。 パラメーターの詳細については、「名前付き承認タスク (131ページ)」を参照してください。</p>

プロセス要素オプションのアイコン (続き)

	<p>ユーザーコンテキスト承認</p>	<p>マネージャー階層内の特定のレベル数による承認を開始する新規タスクを追加します。</p> <p>承認が定義済みの場合、タスクは実行されません。</p> <p>パラメーターの詳細については、「ユーザーコンテキスト承認タスク」(132ページ)を参照してください。</p>
	<p>グループ承認</p>	<p>特定のグループによる承認を開始する新規タスクを追加します。</p> <p>承認が定義済みの場合、タスクは実行されません。</p> <p>パラメーターの詳細については、「グループ承認タスク」(132ページ)を参照してください。</p>
	<p>承認結果の設定</p>	<p>ビジネス承認の結果 (true=承認、false=否認)を設定する新規タスクを追加します。</p> <p>このタスクは、要求アイテムに対するカタログアプリケーションの要求のステータスと同期するために必要です。「承認結果の設定」タスクは、常にビジネスプロセス定義の「終了イベント」に先立つ最後のタスクである必要があります。結果変数 (approved) は、このタスクの入力になるため、このタスクの実行前に、常にtrueまたはfalseに設定する必要があります。このタスクが含まれていない場合、ビジネスプロセスの実行は失敗し、"Approval process {} completed without deciding approval state." というエラーメッセージが表示されます。</p> <p>パラメーターの詳細については、「承認結果の設定タスク」(132ページ)を参照してください。</p>
	<p>スクリプトタスク</p>	<p>スクリプトロジックを持つ新規自動タスク (JavaScriptまたはJava Unified Expression Language (JUEL)) を追加します。</p> <p>実行中のプロセスがスクリプトタスクに到達すると、対応するスクリプトが実行されます。</p> <p>パラメーターの詳細については、「スクリプトタスク」(133ページ)を参照し、スクリプトの詳細については、「スクリプトの作成」(137ページ)を参照してください。</p>
	<p>排他的ゲートウェイ</p>	<p>選択ゲートウェイを追加します。</p> <p>排他的ゲートウェイ (XORゲートウェイ) は、プロセス内の決定を示します。実行中のプロセスがこのゲートウェイに到達すると、すべての出カシーケンスフローが、定</p>



プロセス要素オプションのアイコン (続き)

		<p>義されている順に評価されます。TRUEに評価された最初のシーケンスフロー (最初のものだけ) が、プロセスを続行するために選択されます。どのシーケンスフローもTRUEに評価されない場合、デフォルトフローが取得されます (デフォルトフローが定義されている場合)。</p> <p>パラメーターの詳細については、「排他的ゲートウェイ」(134ページ)を参照してください。</p>
	終了イベント	<p>特定のトリガーを持たない終了イベントを追加します。すべてのビジネスプロセス定義に対して必須です。</p> <p>パラメーターの詳細については、「終了イベント」(135ページ)を参照してください。</p>
	テキスト注釈	<p>説明テキストで要素に注釈を付けます。</p> <p>パラメーターの詳細については、「テキスト注釈」(135ページ)を参照してください。</p>
	シーケンスフロー	<p>シーケンスフローを追加して、アクティビティの実行順序を定義します。シーケンスフローを追加するには、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> プロセス要素領域の要素をドラッグしプロセスデザイン領域にドロップして、次の要素を作成します。 前の要素のシーケンスフローアイコンをクリックして、次の要素までドラッグ

- プロセスツールバー領域 (上部) の編集ツールを使用します。

注: 実行中の編集作業に使用可能なツールアイコンは、グレーから緑に色が変わります。



プロセスツールバー領域のツール

アイコン	名前	説明
	保存	現在のモデルを保存します。オプションで、[名前]と[説明]を更新します。[保存してエディターを閉じる]をクリックしてモデルを保存し、ビジネスプロセスビューに戻るか、[保存]をクリックしてプロセスを保存し、エディターでの作業を続行します。
	切り取り	現在の選択部分を切り取ります。

プロセスツールバー領域のツール (続き)

	コピー	現在の選択部分をコピーします。
	貼り付け	先に切り取りまたはコピーした選択部分を貼り付けます。
	削除	現在の選択部分を削除します。
	やり直し	やり直します。
	元に戻す	前の編集を元に戻します。
	モデルを垂直方向に位置揃え	現在の選択部分を垂直方向に位置揃えします。
	モデルを水平方向に位置揃え	現在の選択部分を水平方向に位置揃えします。
	同じサイズ	選択部分を同じサイズにします。
	拡大	拡大します。
	縮小	縮小します。
	実際のサイズで表示	実際のサイズで表示します。
	画面に合わせて表示	画面に合わせて表示します。
	バンドポイントを追加	選択したシーケンスフローにバンドポイントを追加します。バンドポイントの追加アイコンをクリックしてから、バンドポイントを追加するフローシーケンス矢印をクリックします。バンドポイントをドラッグして必要なバンドを作成します。
	バンドポイントを削除	選択したシーケンスフローからバンドポイントを削除します。バンドポイントの削除アイコンをクリックしてから、ベン

プロセスツールバー領域のツール (続き)

		ドがあるフローシーケンス矢印をクリックします。フローシーケンスはまっすぐなシーケンスフローに戻ります。
	情報	HPE Propelオンラインヘルプにアクセスします。
	閉じる	保存せずにHPE Propelプロセスエディターを閉じます。

- プロセスデザイン領域 (メインの作業領域) で要素を選択してから、そのパラメーターの値をプロセスタスクパラメーター領域 (下部) で設定します。使用可能なパラメーターは、選択した要素によって異なります。最上位レベルのパラメーターは、ビジネスプロセスを文書化します。ビジネスプロセス要素 (承認タスク、スクリプトタスク、ゲートウェイ、タイマーイベントなど) のパラメーターは、実行値を提供しません。

プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター

選択した要素	パラメーター
ビジネスプロセス	<ul style="list-style-type: none"> ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。 プロセス作成者: ビジネスプロセス作成者の名前を入力します。
開始イベント	<ul style="list-style-type: none"> 名前: 開始イベントの名前を入力します。 フォームプロパティ: フォームプロパティのリストを使ってフォームを定義します。詳細については「フォームの定義手順」(136ページ)を参照してください。 ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。
名前付き承認タスク	<ul style="list-style-type: none"> 名前: タスクの名前を入力します。デフォルトは「名前付き承認」です。 最小承認数 (必須): オーダーを承認するために必要な最小の承認数を表す整数値を選択します。0の場合、グループのすべてのメンバーがオーダーを承認する必要があります。 承認結果変数: 承認結果を格納する変数名を入力します。デフォルトは承認済みです。変数は、タスク内でtrue (承認済み) またはfalse (denied) に設定されます。 承認者 (必須): オーダーの承認を求められるユーザーを1人以上選択します。詳細については「ユーザーの選択手順」(136ページ)を参照してください。

プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター (続き)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最小否認数 (必須) オーダーが拒否されるために必要な最小の拒否数を表す整数値を選択します。0の場合、このプロパティは無視されます。 ○ ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。
<p>ユーザーコンテキスト承認タスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前: タスクの名前を入力します。デフォルトは「ユーザーコンテキスト承認」です。 ○ 承認結果変数: 承認結果を格納する変数名を入力します。デフォルトは承認済みです。変数は、タスク内でtrue (承認済み) またはfalse (denied) に設定されます。 ○ レベル数 (必須): 承認プロセスに関与する要求者より上の管理レベルの数を表す整数値を選択します。マネージャーは、連続する手順で承認を求められます。すべての必須のマネージャーがオーダーを承認する必要があります1件でも拒否があると、オーダーは否認され、それ以降、承認を求めてマネージャーに連絡することはありません。 ○ ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。
<p>グループ承認タスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前: グループ承認タスクの名前を入力します。デフォルトは「グループ承認」です。 ○ 最小承認数 (必須) オーダーを承認するために必要な最小の承認数を表す整数値を選択します。0の場合、グループのすべてのメンバーがオーダーを承認する必要があります。 ○ 承認結果変数: 承認結果を格納する変数名を入力します。デフォルトは承認済みです。変数は、タスク内でtrue (承認済み) またはfalse (denied) に設定されます。 ○ グループ (必須): 承認を担当するID管理 (IdM) グループを入力します。入力を開始すると、複数のグループが表示されます。目的のグループを選択してください。 ○ 最小否認数 (必須) オーダーが拒否されるために必要な最小の拒否数を表す整数値を選択します。0の場合、このプロパティは無視されます。 ○ ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。
<p>承認結果の設定タスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前: タスクの名前を入力します。デフォルトは「承認結果の設定」です。 ○ ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックし

プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター (続き)

	<p>ます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 承認結果式: trueまたはfalseに評価される式を入力します。通常の式は<code>\${approved}</code>です。ここで、approvedは、さまざまな承認タスクによってtrueまたはfalseに設定される変数です。デフォルトは<code>\${approved}</code>です。詳細については、「スクリプトの作成」(137ページ)を参照してください。
<p>スクリプトタスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> 名前: スクリプトタスクの名前を入力します。 スクリプト (必須): 実行するJavaScriptコードまたは評価するJUEL式を入力して、[保存]をクリックします。有効であることが必要です。詳細については、「スクリプトの作成」(137ページ)を参照してください。 <p>たとえば、結果変数をapprovedに設定し、Scriptをtrueまたはfalseに設定します (両方とも単純で有効なスクリプトです)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存]をクリックします。 スクリプト形式: スクリプト形式 (JavaScriptまたはjuelのいずれか)を入力します。デフォルトはJavaScriptです。 結果変数: 結果を格納する変数の名前を入力します。たとえば、approved変数を使用するのであれば、タスク内で、スクリプトによってapproved変数をtrue (承認済み) またはfalse (否認済み) のいずれかに設定できます。結果変数が指定されていない場合、タスクは実行されますが、結果は保存されません。
<p>メールタスク</p>	<ul style="list-style-type: none"> 名前: メールタスクの名前を入力します。 宛先 (必須): 電子メールの送信先の (リテラルまたはスクリプトによる) 有効な電子メールアドレスのカンマ区切りリストを入力し、[保存]をクリックします。 <p>例:</p> <pre>joe.user@mycompany.com \${_request.approvers.pending.emails}</pre> <ul style="list-style-type: none"> 件名 (必須): 電子メールの件名行を入力します。 <p>例:</p> <pre>Order needs to be approved Order \${_request.name} for \${_request.recipient.fullName} needs to be approved</pre>

プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター (続き)

	<ul style="list-style-type: none"> ○ BCC: 電子メールのBCCフィールドの送信先に (リテラルまたはスクリプトによる) 有効な電子メールアドレスのカンマ区切りリストを入力し、[保存] をクリックします。 ○ html: 電子メールのメッセージコンテンツのHTMLコードを入力し、[保存] をクリックします。「HTMLの例」(141ページ)を参照してください。 ○ ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。 ○ 差出人: 電子メールの送信元とする (リテラルまたはスクリプトによる) 有効な電子メールアドレスを入力し、[保存] をクリックします。デフォルトは、/opt/hp/propel/bpm/WEB-INF/classesのbpm.propertiesに構成されています。 ○ CC: 電子メールのCCフィールドの送信先に (リテラルまたはスクリプトによる) 有効な電子メールアドレスのカンマ区切りリストを入力し、[保存] をクリックします。 ○ テキスト: 電子メールのメッセージコンテンツのプレーンテキストを入力し、[保存] をクリックします。リッチテキスト形式をサポートしていない電子メールクライアントでは、この形式に切り替えられます。HTMLと組み合わせて使用できます。 ○ 文字セット: メールに使用する文字セットを入力します。英語以外の多くの言語では、さまざまな文字セットが必要です。たとえば、UTF-8などです。 <p>詳細については、「スクリプトの作成」(137ページ)を参照してください。</p>
排他的ゲートウェイ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前: 排他的ゲートウェイの名前を入力します。 ○ フロー順序: ゲートウェイ出口条件を評価するオーダーを定義します。詳細については「フロー順序の変更手順」(141ページ)を参照してください。 ○ ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存] をクリックします。
シーケンスフロー	<ul style="list-style-type: none"> ○ 名前: シーケンスフローの名前を入力します。 ○ フロー条件: フロー条件式をスクリプトに入力し、[保存] をクリックします。詳細については、「スクリプトの作成」(137ページ)を参照してください。 <p>例:</p> <pre>\$_request.totalInitialPrice.amount>=100}</pre>

プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター (続き)

	<p><code>\${_request.totalInitialPrice.amount}>=price}</code>。ここで、<code>price</code>は、開始イベントフォームのプロパティで定義された変数で、HPE Propelポリシーでのパラメーターになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存]をクリックします。 デフォルトフロー: フローがゲートウェイからのデフォルトフローである場合は、チェックボックスをオンにします。ダイアグラムで、デフォルトフローの矢印にはスラッシュ記号が表示されます。
テキスト注釈	<ul style="list-style-type: none"> 名前: テキスト注釈の名前を入力します。 テキスト: 説明のテキストを入力します。 ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存]をクリックします。
終了イベント	<ul style="list-style-type: none"> 名前: 終了イベントの名前を入力します。 ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存]をクリックします。
境界タイマーイベント	<ul style="list-style-type: none"> 名前: 境界タイマーイベントの名前を入力します。 タイマーサイクル: タイマーイベントの繰り返し時間をISO-8601形式で入力します。例: R3/PT10H (10時間の期間にわたって3回繰り返し)。 タイマー時間: タイマーイベントの継続時間をISO-8601形式で入力します。例: PT5M (5分間)。 アクティビティのキャンセル: タイマーイベントアクティビティをキャンセルし、プロセスを元のパスに沿って続行させる場合は、チェックボックスをオンにします。 ドキュメント: 追加ドキュメントを入力して、[保存]をクリックします。 タイマー日付: タイマーイベントの日付をISO-8601形式で入力します。例: 2016-09-01 (2016年9月1日)。 タイマー終了日: タイマーイベントの終了日をISO-8601形式で入力します。タイマーサイクルも指定されている場合にのみ値を指定します。例: 2016-12-31 (2016年12月31日)。 <p>注: タイマーパラメーター (タイマーサイクル、タイマー時間、タイマー日付) は、1つだけ指定する必要があります。</p>

プロセスタスクパラメーター領域のパラメーター (続き)

	詳細については、「 タイマーイベントの定義手順 」(142ページ)を参照してください。
--	---

フォームの定義手順

ヒント: この手順は、開始イベントのフォームプロパティパラメーターの定義に関係していません ([「開始イベント」](#)(131ページ)を参照してください)。


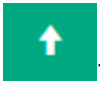

フォームは、ビジネスプロセスやサブプロセスの実行前に組織管理者がパラメーター値を定義するための便利でユーザーフレンドリな方法を提供します。

フォームを定義するには、次の手順を実行します。

- 。 [フォームプロパティの値を変更] ボックスで、 をクリックして、新しいプロパティをフォームに追加します。プロパティコンポーネントを定義します。

プロパティコンポーネント

プロパティコンポーネント	説明
名前	ビジネスプロセスの実行時に表示するプロパティの名前。
タイプ	プロパティのタイプ。有効な値は、string、long、boolean、date、およびenumです。
変数	条件またはスクリプトで値を参照するために使用できる変数名。たとえば、priceと入力すると、 <code>\${_request.totalInitialPrice.amount}>=price</code> をシーケンスフロー条件として使用できます。
必須	HPE Propelポリシーフォームのプロパティに対して、値が必須かどうかを示すチェックボックス。

- 。 オプション: プロパティを選択して  をクリックすると、そのプロパティがフォームから削除されます。
- 。 オプション:  または  をクリックすると、フォーム内でのプロパティの順序が変更されます。
- 。 [保存](#) をクリックして、フォームを開始イベントの一部として保存します。


ユーザーの選択手順

ヒント: この手順は、名前付き承認タスクの承認者パラメーターの定義に関係しています ([「名前付き承認タスク」\(131ページ\)](#)を参照してください)。


ユーザーを選択するには、次の手順を実行します。

- [ユーザーの選択] ボックスで、ユーザー名の入力を開始します。
- 提示された選択肢から、希望するユーザーを選択します。



-  をクリックして、ユーザーをリストに追加します。



- オプション: ユーザーを選択して  をクリックすると、ユーザーが削除されます。
- 他にも追加するユーザーがいる場合は、手順を繰り返します。
- ユーザーのリストが完成したら、[保存](#) をクリックします。

スクリプトの作成

ヒント: この手順は、さまざまな要素のパラメーターに基づいてスクリプトを定義する処理に関係しています。その要素には、承認結果の設定タスク ([「承認結果の設定タスク」\(132ページ\)](#)を参照)、メールタスク ([「メールタスク」\(133ページ\)](#)を参照)、スクリプトタスク ([「スクリプトタスク」\(133ページ\)](#)を参照)、およびシーケンスフロー ([「シーケンスフロー」\(134ページ\)](#)を参照) があります。

いくつかのHPE Propelパラメーターは、スクリプトを使用して、タスクと値を調整しカスタマイズすることができます。使用可能なスクリプトは2種類あります。Java Unified Expression Language (JUEL) と JavaScript です。

スクリプトのタイプ

タスク要素	パラメーター	スクリプトのタイプ
承認結果の設定タスク	承認結果式	JUEL
メールタスク	宛先 件名 BCC 差出人	JUEL

スクリプトのタイプ (続き)

	CC	
メールタスク	html	任意のHTML
スクリプトタスク	スクリプト	デフォルトではJavaScriptを使用するが、JUELも使用可能
シーケンスフロー	フロー条件	JUEL

Java Unified Expression Language (JUEL) の概要

JUELを使用すると、単純な式を使って、データに動的にアクセスできます。

JUELは、`${}`構文に入れられた式を評価し、結果を即座に返します。

JUELでは、リテラル式が式のテキスト (文字列型) に評価されます。リテラル式では、区切り記号の`${}`は使用しません。リテラル式を評価すると、別の型に変換することができます。たとえば、リテラル式`19` (文字列) は、整数型に変換して`19`という結果を得ることができます。

JUELの演算子

演算子のカテゴリ	演算子	追加の情報
算術	+、- (二項) *、/、div %、mod - (単項)	
論理	and、&& or、 not、!	
関係	==、eq !=、ne <、lt >、gt <=、le >=、ge	他の値や、ブール値、文字列、整数、または浮動小数点のリテラルと比較することができます。
空	empty	empty演算子は、値がnullまたは空かどうかを判別するために使用可能な単項演算です。
条件	A ? B : C	Aの評価結果に応じて、BまたはCを評価します。

ヒント: Java Unified Expression Languageの詳細については、下記の「The Java EE 6 Tutorial, Chapter 6 Unified Expression Language」を参照してください。

<http://docs.oracle.com/javaee/6/tutorial/doc/gjddd.html>

JavaScript

ヒント: この情報は、スクリプトタスク(「スクリプトタスク」(133ページ)を参照)のスクリプトパラメーターを定義する処理に関係しています。

スクリプトタスクのコードは、JavaScript ECMAScript 5.1 (およびJUEL) にすることができます。

ヒント: HPE Propel JavaScriptの詳細については、下記の「ECMAScript® Language Specification」を参照してください。

<http://www.ecma-international.org/ecma-262/5.1/>

変数

変数は、スクリプト内で使用できます。たとえば、シーケンスフローの条件で変数を使用して、その次のタスクを決定できます。

独自の一意の変数を開始イベント(フォームプロパティパラメーター)またはスクリプトタスク内に作成できます。ビジネスプロセスの実行時には、フォームプロパティを変数としてプロセスインスタンスに渡し、ビジネスプロセスタスクで使用することができます。

HPE Propelに用意されているプロパティ(要求の名前、タイプ、価格など)を使用することもできます。HPE Propelに用意されているプロパティは、すべて前に下線()が付きます。たとえば、「要求価格」を参照するには、JUEL式 `${_request.totalInitialPrice.amount}` を使用します。

HPE Propelに用意されているプロパティ

プロパティグループ	プロパティ	説明
<code>_request</code>	<code>name</code>	要求の名前。
<code>_request</code>	<code>type</code>	要求のタイプ。有効な値: <ul style="list-style-type: none">○ SERVICE: HPE Propelサービスの要求○ SUPPORT: HPE Propelサポートのチケット○ ACTION: HPE Propelサービスインスタンスのアクション

HPE Propelに用意されているプロパティ (続き)

_request	state	要求の状態。有効な値: <ul style="list-style-type: none"> ◦ PENDING_APPROVAL (ビジネスプロセスの実行時は、常にこれです)
_request	tenant	組織。例: CONSUMER。
_request	count	要求されているカタログアイテムの件数。
_request	created	要求が作成された時間。単位は、エポックからのミリ秒です。
_request	humanReadableId	UIに表示される、人が読むことができるID。例: PR00117。
_request	createdBy <ul style="list-style-type: none"> ◦ name ◦ fullName ◦ email 	要求を生成したユーザー。
_request	recipient <ul style="list-style-type: none"> ◦ name ◦ fullName ◦ email 	要求を受け取ることになるユーザー。
_request	totalInitialPrice <ul style="list-style-type: none"> ◦ amount ◦ currency 	初期価格の合計。価格 (数値) の単位は、指定された通貨タイプ (USDなど) です。
_request	totalRecurrentPrice <ul style="list-style-type: none"> ◦ amount ◦ currency 	定期加算料金の合計。価格 (数値) の単位は、指定された通貨タイプ (USDなど) です。
_request	totalRecurrencePeriod <ul style="list-style-type: none"> ◦ timeUnit ◦ unitCount 	定期加算期間。timeUnitがunitCount (数値) 回繰り返された後で価格が再発生します。 timeUnitの有効な値: MS、S、MIN、HOUR、DAY、WEEK、MONTH、YEAR。
_request	approvers <ul style="list-style-type: none"> ◦ pending <ul style="list-style-type: none"> • emails 	保留中のすべての承認者電子メールのカンマ区切りリスト。

HPE Propelに用意されているプロパティ (続き)

_environment	propel ○ host	HPE Propelインストールのホスト名。
--------------	------------------	------------------------

HTMLの例

ヒント: この情報は、メールタスク ([「メールタスク」\(133ページ\)](#)を参照) のHtml/パラメーターを定義する処理に関係しています。

次に、電子メールのHTMLの例を示します。

```
<!DOCTYPE html>
<html>
  <body style="margin:0; padding:0;">
    <p>
      Your approval is required for the ${_request.name}
      request created by ${_request.createdBy.fullName}
      for ${_request.totalInitialPrice.amount}.
    </p>
    <p>
      Please go to <a href="https://www.mycompany.com/">
      https://www.mycompany.com</a> to either
      approve or deny the request.
    </p>
  </body>
</html>
```

ヒント: HTML電子メールのデザイン手順については、下記を参照してください。
<http://webdesign.tutsplus.com/articles/build-an-html-email-template-from-scratch--webdesign-12770>

フロー順序の変更手順

ヒント: この手順は、排他的ゲートウェイ ([「排他的ゲートウェイ」\(134ページ\)](#)を参照) のフロー順序パラメーターに関係しています。

フロー順序は、ゲートウェイ終了条件の評価順序を定義します。TRUEに評価される最初の条件にのみフローが継続される場合、排他的ゲートウェイにとって、この順序は重要です。

フロー順序を変更するには、次の手順を実行します。

- [フロー順序の値を変更] ボックスに、現在有効なフロー順序を表示します。



- または をクリックして、順序を変更します。
- フローが希望する順序になったら、保存をクリックします。

タイマーイベントの定義手順

ヒント: この手順は、境界タイマーイベント (「境界タイマーイベント」(135ページ)を参照) の時間ベースのパラメーターに関係します。

HPE Propelの境界タイマーイベントでは、ISO 8601で定義され、国際的に受け入れられている日時表記を使用します。

一般原則:

- 日時の値は、最大時間単位から最小時間単位 (年からコンマ何秒) の順です。
- 値は最下位から最上位まで (コンマ何秒、秒、分、以下同様) 省略可能です。
- 日時の値はそれぞれ桁数が固定されており、先頭をゼロで埋めることができます。
- 読みやすくするため、標準化されている区切り記号を含めることができます。

次の境界タイマーイベントパラメーターは、ISO 8601の定義に基づきます。

- 時間サイクル
- タイマー時間
- タイマー日付
- タイマー終了日

ISO 8601の定義

要素	書式	例	コメント
年	YYYY	2016	
暦日付	YYYY-MM-DDまたは YYYYMMDD	2016-03-18または 20160318	
暦月	YYYY-MM (ただし、 YYYYMMではない)	2016-03	
週	YYYY-Wwwまたは YYYYWww	2016-W26または 2016W26	週の指定はWで始 めます。wwは01~53に 置き換えます。

ISO 8601の定義 (続き)

			<p>週01は、その年の最初の木曜日がある週と定義されます。</p> <p>ISOの週番号年は、重複やギャップが生じないように、週01の最初の日(月曜日)から始まり、新しいISO年の前の日曜日に終わります。これは、52または53個の完全な週で構成されます。</p>
週と曜日	YYYY-Www-DまたはYYYYWwwD	<p>2009-W01-1は、2009年12月29日(月曜日)です。</p> <p>2009-W53-7は、2010年1月3日(日曜日)です。</p>	Dは、曜日番号1~7(月曜日から始まり、日曜日に終了)に置き換えます。
日付序数	YYYY-DDDまたはYYYYDDD	2016-040は、2016年2月9日です。	DDDは、その年の日付番号001~365(閏年は366)に置き換えます。
時刻	<p>hh:mm:ss.sssまたはhhmmss.sss</p> <p>hh:mm:ssまたはhhmmss</p> <p>hh:mmまたはhhmm</p> <p>hh</p>	13:47:30または134730	<p>hhは、時間(00~24)に置き換えます。</p> <p>mmは、分(00~59)に置き換えます。</p> <p>ssは、秒(00~59(閏秒の場合は60))に置き換えます。</p> <p>真夜中は、00:00と24:00のどちらでも指定できます。したがって、2007-04-05T24:00と2007-04-06T00:00は同じです。</p>
タイムゾーン指定子	<p><時刻>Z</p> <p><時刻>±hh</p> <p><時刻>±hh:mm</p>	<p>09:30Zは、9:30 a.m. UTCです。</p> <p>144515Zは、2:45:15</p>	場所が指定されていない場合、タイムゾーンは現地時間と見なされます。タイムゾーン

ISO 8601の定義 (続き)

	<時刻>±hhmm	p.m. UTCです。	<p>をまたがってやり取りする場合、これは不明瞭になることがあります。</p> <p>UTCを指定するには、時刻の後にZを追加します。</p> <p>UTCからのオフセットを指定するには、+または-を末尾に追加し、その後に時間と分を指定します。hhは、時間 (00～24) に置き換えます。mmは、分 (00～59) に置き換えます。</p>
日付と時刻	<日付>T<時刻>	2007-04-05T14:30	<p>特定の日特定の時刻を指定するには、日付の後にTおよび有効な時刻を追加します。</p>
継続時間	<p>PnYnMnDTnHnMnS</p> <p>PnW</p> <p>P<日付>T<時間></p>	<p>P3Y6M4DT12H30M5Sは、3年と、6か月、4日、12時間、30分、5秒を表します。</p> <p>P1Mは、継続時間が1か月です。</p> <p>PT1Mは、継続時間が1分です。</p>	<p>継続時間は、介在時間の量を定義します。</p> <p>nは、日または時間の各要素の適切な値に置き換えます。</p> <p>継続時間の表記はPで始めます。</p> <p>Yは、年数を示します。</p> <p>Mは、月数を示します。</p> <p>Wは、週数を示します。</p> <p>Dは、日数を示します。</p> <p>Tを時間要素の前に表記します。</p>

ISO 8601の定義 (続き)

			<p>Hは、時間数を示します。</p> <p>Mは、分数を示します。</p> <p>Sは、秒数を示します。</p>
時間間隔	<p><開始>/<終了></p> <p><開始>/<継続時間></p> <p><継続時間>/<終了></p> <p><継続時間></p>	<p>2007-03-01/2008-05-11</p> <p>2007-03-01/P1Y</p> <p>P1Y/2017-12-31</p> <p>P1Y2M (追加のコンテキスト情報とともに)</p>	<p>時間間隔は、2つの時刻の間の時間量または継続時間です。</p> <p>値が2つ必要な場合は、スラッシュ (/) で区切ります。</p> <p><開始>と<終了>は、有効な日時指定に置き換えます。</p> <p><継続時間>は、有効な継続時間指定に置き換えます。</p>
繰り返す間隔	<p>Rnn/<間隔></p> <p>R/<間隔></p>	<p>R52016-05-01/P1W</p> <p>は、繰り返し5回、2016年5月1日に開始、週に1度です。</p>	<p>繰り返す間隔は、反復を定義します。</p> <p>繰り返す間隔は、Rで始めます。</p> <p>nnは、反復回数に置き換えます。nnが定義されていない場合、反復回数に制限はありません。</p> <p><間隔>は、有効な時間間隔指定に置き換えます。</p>

ヒント: ISO 8601形式の詳細については、下記を参照してください。

https://en.wikipedia.org/wiki/ISO_8601

- 要素に説明のテキストを追加します。

アクティビティやゲートウェイなどの要素に説明のテキストを追加するには、要素をダブルクリックして、必要なテキストを入力します。

ビジネスプロセスの作成

概念

ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。

組織管理者は、ビジネスプロセスを作成できます。

注: 新しいビジネスプロセス定義を作成するより、既存のビジネスプロセス定義を編集することをお勧めします。

タスク

新しいビジネスプロセスを作成するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ビジネスプロセスアプリケーション**をクリックします。**[ビジネスプロセス]**ビューが表示されます。
2. **新しいプロセスの作成** をクリックします。**[新しいプロセスの作成]** ダイアログが開きます。
3. **[新しいプロセスの作成]** ダイアログで、フィールドに値を入力します。
 - a. 新しいビジネスプロセスの**[名前]**を入力します。
 - b. オプション: 新しいビジネスプロセスの**[説明]**を入力します。
4. **[新しいプロセスの作成]** ダイアログボックスで **作成** をクリックすると、変更内容が保存されます。

ビジネスプロセスアプリケーションからプロセスエディターが直接開きます。新しいビジネスプロセスを定義するには、「[HPE Propelプロセスエディターの使用](#)」(123ページ)を参照してください。

ビジネスプロセスの削除

概念


ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。


組織管理者は、ビジネスプロセスを削除できます。

注: 削除できるのは、発行解除済みのビジネスプロセスのみです。

タスク

ビジネスプロセスを削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ビジネスプロセス**アプリケーションをクリックします。[**ビジネスプロセス**]ビューが表示されます。
2. [**ビジネスプロセス**]ビューで、削除するビジネスプロセスの横にある縦方向の省略記号  をクリックし、[**削除**]を選択します。ビジネスプロセスの削除を確認するダイアログボックスが表示されます。
3. ビジネスプロセスの削除を確認すると、ビジネスプロセスが削除されます。

注: ビジネスプロセスを削除するには、[**プロセスの詳細**]ビューで、縦方向の省略記号  をクリックして [**削除**]を選択する方法もあります。

ビジネスプロセスの発行

概念

ビジネスプロセスは、ビジネスニーズに合わせてHPE Propelを調整します。ビジネスプロセスとそのパラメーターの組み合わせによって、承認ポリシーが決定されます。

組織管理者はビジネスプロセスを発行することができます。プロセスは、設計とテストがすべて終了し、使用の承認が済むまでは発行しないでください。プロセスをポリシーとして使用するには、プロセスの発行が必要です。発行できるのは、現在発行解除されているか、または発行後に変更されているビジネスプロセスです。

ビジネスプロセスのバージョン

ビジネスプロセスが発行解除されている限り、HPE Propelがそれにバージョンを割り当てることはありません。

ビジネスプロセスが最初に発行されるときに、HPE Propelはそれにバージョン1を割り当てます。

発行済みのビジネスプロセスを編集するときは、[プロセスの詳細]ビューの上部に現在作業中のビジネスプロセス定義が表示され、下部に現在の発行済みバージョンが(そのバージョン番号とともに)表示されます。ビジネスプロセスへの変更がまだ発行されていないことを示すために、「発行解除された変更が含まれます」が表示されます。

ビジネスプロセスを再発行すると、HPE Propelはバージョン番号を1つ増やします。ビジネスプロセスを再発行すると、そのビジネスプロセスの新バージョンが作成され、ツリーのそのブランチ内のすべてのビジネスプロセスに関連付けられます。ビジネスプロセス名は、そのビジネスプロセスの複数のバージョンで一意ではありません。

注: 今のところ、承認ポリシーに対して使用できるのは、直近に発行されたビジネスプロセスのみです。

以前のビジネスプロセスバージョンに戻すことが必要な可能性がある場合は、そのプロセスを複製してから変更を行ってください。

承認ポリシーとして使用されるビジネスプロセス


ビジネスプロセスは、ポリシーアプリケーションで、要求のフルフィルメントの承認ポリシーとして使用されます(「[ポリシー](#)」(106ページ)を参照)。すでにポリシーを持っているビジネスプロセスを発行するときに、古いビジ


ネプロセスバージョンを使用した場合、そのポリシーは古いバージョンを使用し続けます。最新バージョンにアップグレードするには、**ポリシーアプリケーション**に移動し、ポリシーを編集して、同じ承認プロセスを選択する必要があります(手順については、「[ポリシーの詳細の編集](#)」(111ページ)を参照してください)。プロセスセレクターには、常に最新のビジネスプロセスバージョンが表示されます。そのため、保存後に、ポリシーはアップグレードされ、最新バージョンを使用するようになります。

これにより、同じ承認プロセスを使用して、稼働ポリシーとテストポリシーを持つことができます。プロセスに変更を加えて発行するときは、まずテストポリシーをアップグレードし、顧客から見えないテストカタログアイテムで試すことができます。正常に動作したら、稼働ポリシーもアップグレードできます。即座に稼働ポリシーをアップグレードすると、プロセスにエラーが含まれていた場合に、新しいHPE Propelオーダーを壊すリスクがあります。

タスク

ビジネスプロセスを発行するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**ビジネスプロセスアプリケーション**をクリックします。**[ビジネスプロセス]**ビューが表示されます。
2. **ビジネスプロセスビュー**で、発行するビジネスプロセスの横にある縦方向の省略記号  をクリックして、**[発行]**を選択します。ビジネスプロセスが発行されます。

注: ビジネスプロセスを発行するには、**[プロセスの詳細]**ビューで、縦方向の省略記号  をクリックして **[発行]**を選択する方法もあります。

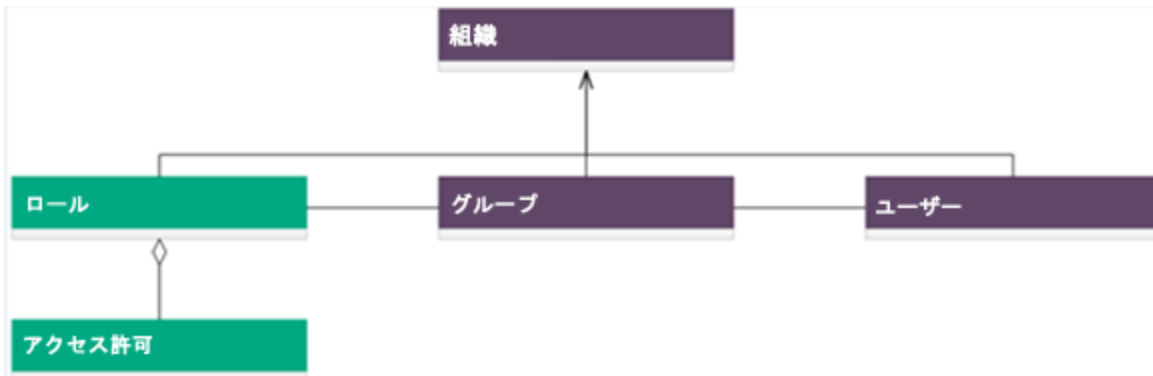
ID管理

概念

HPE PropelID管理 (IdM) は、ロールベースのアクセス制御を使用します。これは、ユーザーのロールに対する割り当て、およびアプリケーション定義済みのアクセス許可とのロールの関連付けに基づいて、ユーザーがオペレーションを実行できるかどうかを制御するものです。

HPE Propelの組織、グループ、ロール、アクセス許可の関係性を次に説明します。

- アクセス許可は認証の最も基本的な単位です。これによって、HPE Propelのアプリケーションとサービスへのアクセスが可能になります。
- ロールは、ユーザーが定義するアクセス許可の集合です。ロールは、メンバー(ユーザー)を含むグループに関連付けられます。
- グループには、1人以上のユーザーが存在します。グループには1つ以上のロールを関連付けることができ、グループは1つ以上の組織に属します。
- 組織には、1つ以上のグループが含まれます。



組織は、ユーザーのHPE Propelへのエンリポイントを決定し、グループメンバーをサービスおよびリソースに関連付けます。組織の例としては、会社、ビジネスユニット、部署などがあります。HPE Propel管理者は、次のいずれかを設定して、HPE Propel組織内のメンバーシップを特定できます。

- 組織のLDAP (Lightweight Directory Access Protocol) ディレクトリサービス: ユーザーがログインすると、LDAPは、ユーザー名とパスワードがLDAPディレクトリ内のユーザーと一致することを確認することによってログイン資格情報を認証します。

組織のユーザーの認証と能力 (HPE Propel サプライヤーの作成など) は、事前定義されているロールおよびアクセス許可と、LDAPディレクトリのグループDN (識別名) へのメンバーシップによって決まります。実行可能な機能を設定したロールに、グループDNを割り当てます。

- 組織のSAML (Security Assertion Markup Language) サーバー: ユーザーのログイン時に、SAMLがログイン資格情報を認証します。

2つのデフォルトのHPE Propel組織が提供されています。

- **プロバイダー組織** - インストール時に、プロバイダー組織が1つ作成されます。プロバイダー組織のメンバーは、IDアプリケーションを使用して、コンシューマー組織の作成、構成した組織の管理、リソースとサービスの管理 (リソースとサービスの消費のための設計、オフリング、発行など) を行います。

管理可能な組織、リソース、サービスは、プロバイダー組織のメンバーに割り当てられているロールおよびアクセス許可によって決まります。HPE Propel 管理者は、すべての組織に対して、すべての組織、ロール、グループ、アクセス許可を管理します。

プロバイダー組織は1つのみ存在し、インストール時に自動設定されます。プロバイダー組織は必要に応じて変更できますが、削除することはできません。

- **コンシューマー組織** - インストール時に、コンシューマー組織が1つ作成されます。管理者は、IDアプリケーションを使用して、デフォルトのコンシューマー組織を必要に応じて変更できます。さらに、HPE Propel 組織管理者は、IDアプリケーションを使用して、組織内のロール、グループ、アクセス許可を管理できます。

コンシューマー組織のメンバーは、プロバイダー組織が提供するリソースとサービスをサブスクリブまたは使用します。プロバイダー組織はコンシューマー組織を複数作成し、ただし、コンシューマーまたはサブスクリバが認識できるのは自分が所属するコンシューマー組織のサービスおよびリソースのみです (コンシューマー組織のメンバーシップは、コンシューマー組織のLDAPまたはSAML設定で指定します)。

タスク

管理者は、[ID] アプリケーションで次のタスクを実行できます。

- 「[組織の管理](#)」(152ページ) - 組織を作成、変更、削除します。
- 「[言語の管理](#)」(155ページ) - コンシューマー組織内で言語を追加、デフォルトとして設定、および削除します。
- 「[認証の管理](#)」(157ページ) - 組織のLDAP認証またはSAML認証を設定します。組織との統合のため、メンバー、グループ、およびその他の基本認証情報に関する属性および権限を設定します。

- 「[カスタマイズの管理](#)」(162ページ) - 組織の各種項目をカスタマイズします。HPE Propelポータルタイトルやログイン時に表示するメッセージなどをカスタマイズできます。
- 「[ロールの管理](#)」(166ページ) - 組織内のロールを作成、変更、削除します。アクセス許可をロールに関連付け、関連付けられたアクセス許可をロールから削除することもできます。
- 「[グループの管理](#)」(170ページ) - 組織内のグループを作成、変更、削除します。ユーザーおよびロールをグループに追加し、ユーザーおよびロールをグループから削除することもできます。
- 「[アクセス許可の管理](#)」(174ページ) - 組織内のアクセス許可を作成、変更、削除します。グループおよびアクセス許可をロールに関連付け、グループおよびアクセス許可をロールから削除することもできます。
- 「[偽装の管理](#)」(179ページ) - 代理要求用に、偽装を作成、削除します。
- 「[HPE Propel自動化ライセンス](#)」(181ページ) - HPE Propelライセンスを管理します。

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者 ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、**[Sign In]** をクリックします。検索テキストボックスに「**Propelヘルプ**」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

組織の管理

概念

HPE Propel 管理者は、特定のロールおよびアクセス許可を持つユーザーグループで構成される組織を作成できます。管理者は、既存の組織を変更または削除することもできます。

HPE Propelユーザーは、組織の**組織ID**であるテナントを指定することにより、組織にログインします。組織の**組織ID**は、**[組織の詳細]** ビューで表示できます(組織の**組織ID**を表示する方法については、「[組織の編集](#)」(154ページ)を参照してください)。

たとえば、コンシューマー組織にログインするには、ブラウザーに次のURLを入力します。

```
https://PROPEL_HOST:9000/org/CONSUMER
```

ここで、PROPEL_HOSTは、HPE Propelシステムの完全修飾ホスト名です。

この例では、「CONSUMER」は、コンシューマー組織の**組織ID**です。HPE Propelで作成された組織にログインするには、組織の**組織ID**を使用します。

タスク

- [「すべての組織の表示」](#)(153ページ)
- [「新しい組織の作成」](#)(153ページ)
- [「組織の編集」](#)(154ページ)
- [「組織の削除」](#)(154ページ)

すべての組織の表示

すべての組織を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。

[組織リスト]ビューが開き、現在のHPE Propel組織が表示されます。


新しい組織の作成

新規組織を作成するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。

2.  をクリックします。

3. [組織の作成]ダイアログで、[組織名]に新しい名前を入力します。組織名に基づいて一意の組織IDが作成され、一意に特定する識別子となります。

4.  をクリックすると、組織が作成されます。新しく作成した組織が[組織の詳細]ビューに表示されます。

5. [組織の詳細]ビューで[編集]をクリックします。

6. 組織情報エディターでは、オプションで、組織の説明を入力し、画像のURLを[組織の画像URL]フィールドに入力することができます。[組織の画像URL]フィールドには最大1,024文字入力できます。

7. [保存](#)をクリックして、変更内容を保存します。

組織の作成と基本的なプロパティの指定が完了したら、次のタスクを実行して組織を設定する必要があります。

- 「[認証の管理](#)」(157ページ) - 新しい組織のLDAP認証またはSAML認証を設定します。組織との統合のため、メンバー、グループ、およびその他の基本認証情報に関する属性および権限を設定します。
- 「[カスタマイズの管理](#)」(162ページ) - 組織の各種項目をカスタマイズします。HPE Propelポータルタイトルやログイン時に表示するメッセージなどをカスタマイズできます。
- 「[ロールの管理](#)」(166ページ) - 組織のロールを作成し、そのロールにアクセス許可を関連付けます。
- 「[グループの管理](#)」(170ページ) - 組織のグループを作成し、そのグループにロールを関連付けます。
- 「[アクセス許可の管理](#)」(174ページ) - アクセス許可を管理し、ロールにアクセス許可を関連付けます。


組織の編集

組織を編集するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。
2. [組織リスト] ビューで、編集したい組織をクリックします。
3. [組織の詳細] ビューで [編集] をクリックします。
4. [組織情報エディター] で、組織の [表示名]、[組織の説明]、および [組織の画像URL] の各プロパティを変更できます。[組織の画像URL] フィールドには最大 1,024 文字入力できます。
5. [保存](#) をクリックして、変更内容を保存します。

組織の削除

組織を削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。
2. [組織リスト] ビューで、削除したい組織をクリックします。
3. [組織の詳細] ビューで  をクリックします。
4. 組織の削除を確認します。

HPE Propel組織が削除されます。

言語の管理

概念

複数の外国語を1つのコンシューマー組織に関連付けることができます。外国語をコンシューマー組織に追加すると、HPE Propel 組織管理者は、アイテムのプロパティを外国語に翻訳して、アイテムを外国語で表示できるようになります。カタログ、カテゴリ、カタログアイテムのプロパティを翻訳して、外国語で表示できます。

HPE Propel 管理者は、すべてのコンシューマー組織の言語を管理できます。

HPE Propel 組織管理者は、1つのコンシューマー組織内の言語を管理できます。

タスク

HPE Propel 管理者および組織管理者は、[言語] ビューで次のタスクを実行できます。

- 「[言語の表示](#)」(155ページ)
- 「[言語の追加](#)」(155ページ)
- 「[デフォルト言語の設定](#)」(156ページ)
- 「[言語の削除](#)」(156ページ)

言語の表示

コンシューマー組織のすべての言語を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。
2. [組織リスト] ビューで、表示したい言語が含まれているコンシューマー組織をクリックします。
3. [組織の詳細] ビューで[言語] をクリックします。

[言語] ビューが開き、コンシューマー組織内のすべての言語が表示されます。

言語の追加

注: このタスクを実行するには、組織の[言語] ビューを開く必要があります (詳細については「[言語の表示](#)」(155ページ)を参照してください)。

言語をコンシューマー組織に追加するには、次の手順を実行します。

1. [言語]ビューが開いたら、[言語の追加]をクリックします。
2. [言語の追加]ダイアログで、組織に追加する言語を選択します。
3. **追加** をクリックして、変更内容を保存します。

新規言語は、[言語]リストに表示されます。

デフォルト言語の設定

注: このタスクを実行するには、組織の[言語]ビューを開く必要があります (詳細については「[言語の表示](#)」(155ページ)を参照してください)。

コンシューマー組織である言語をデフォルト言語として設定するには、次の手順を実行します。


1. [言語]ビューで、デフォルト言語として設定する言語に対して、[デフォルトとして設定]をクリックします。

指定した言語がデフォルト言語になります。

言語の削除

注: このタスクを実行するには、組織の[言語]ビューを開く必要があります (詳細については「[言語の表示](#)」(155ページ)を参照してください)。

言語をコンシューマー組織から削除するには、次の手順を実行します。

1. 組織から削除する言語用の[言語]ビューで、削除  アイコンをクリックします。
2. 組織からの言語の削除を確認します。

選択した言語が組織から削除されます。

認証の管理

概念

HPE Propel 管理者は、[認証] ビューを使用して、次のタイプの認証 ID サーバーを構成および管理できます。

- LDAP - 管理者は、組織用にLDAP (Lightweight Directory Access Protocol) のIDサーバーを複数構成および管理できます。複数のLDAPサーバーを接続するには、構成を追加し、組織内での相対的な優先順位を指定します。

LDAPは次の目的で使用されます。

- ユーザーのログインを認証
- ユーザーの情報へのアクセスを認証
- ユーザーの情報へのアクセスを許可

LDAPによるHPE Propelアクセスを完全に構成するには、ユーザーログイン認証に関するLDAP構成、ユーザーによる情報アクセスを認証する組織に関するLDAP構成、ユーザーによる情報アクセスを認証する組織のアクセス制御の構成が必要です。

- SAML - 管理者は、組織用にSAML (Security Assertion Markup Language) のIDサーバーを構成および管理できます。

タスク

HPE Propel 管理者は次の認証タスクを実行できます。

- [「認証構成の表示」\(157ページ\)](#)
- 認証構成の追加
 - [「LDAP構成の追加」\(158ページ\)](#)
 - [「SAML構成の追加」\(161ページ\)](#)
- [「認証構成の編集」\(161ページ\)](#)
- [「認証構成の削除」\(161ページ\)](#)

認証構成の表示

組織のすべての認証構成を表示するには、次の手順を実行します。


1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。
2. [組織リスト]ビューで、表示したい認証構成が含まれている組織をクリックします。
3. [組織の詳細]ビューで[認証]をクリックします。

[認証]ビューが開き、組織のすべての認証構成が表示されます。

LDAP構成の追加

注: このタスクを実行するには、組織の[認証]ビューを開く必要があります (詳細については「[認証構成の表示](#)」(157ページ)を参照してください)。

組織のLDAPを構成するには、次の手順を実行します。

1. [認証]ビューが開いたら、[構成の追加]をクリックします。
2. [新規認証の作成]ダイアログで、[LDAP構成]を選択して、をクリックします。
3. [LDAPサーバー設定]ダイアログで、必須フィールドの値を入力します。

注: 認証フィールドの詳細については、「[LDAPサーバー設定](#)」(158ページ)を参照してください。

4. [保存](#)をクリックし、認証設定を保存します。

組織の認証のリストに、新しいLDAP認証構成が表示されます。

LDAPサーバー設定

LDAPサーバー情報

1つまたは複数のLDAPサーバーと、サーバーにアクセスするユーザーを構成します。

項目	説明
表示名	LDAPサーバーの表示名。
ホスト名	LDAPサーバーの完全修飾ドメイン名 (server.domain.com) またはIPアドレス。 例: ldap.xyz.com

項目	説明
ポート	LDAPサーバーへの接続に使用するポート (デフォルトは389)。 例: 389
SSL接続	LDAPサーバーでldaps (LDAP over SSL) の使用を選択した場合は、 [SSL接続] チェックボックスを選択します。
ベースDN	ベース識別名。 ベースDN は、検索対象となるLDAPディレクトリの最上位レベルにあります。 例: o=xyz.com
ユーザーID (フルDN)	LDAPサーバーへのアクセスが認証される任意のユーザーの完全識別名。LDAPサーバーでの認証にユーザーIDやパスワードが必要ない場合、この値は省略できます。 例: uid=admin@xyz.com,ou=People,o=xyz.com
パスワード	ユーザーID のパスワード。LDAPサーバーでの認証に ユーザーID やパスワードが必要ない場合、この値は省略できます。
パスワードの再入力	ユーザーID のパスワードを再入力します。

LDAP属性

電子メール、認証、HPE Propel承認で使用する値について、属性名を入力します。

項目	説明
氏名	ユーザーの氏名を保存するために使用するLDAP属性の名前。これはcnまたは 表示名 である場合が多いですが、異なるLDAPディレクトリには、異なる属性が使用されることがあります。正しい 氏名 を決定するには、LDAP管理者に問い合わせてください。 デフォルト: cn
ユーザー電子メール	ユーザーの電子メールアドレスを示すユーザーオブジェクトの属性の名前。この電子メールアドレスは、通知用です。この属性の値がユーザーに対して設定されていない場合、電子メールによる通知は受信されません。 デフォルト: mail
グループのメンバー	グループに所属するユーザーを識別するグループオブジェクトの属性の名前。グループメンバーシップで指定されている属性が複数ある場合、属性名をコンマで区切る必要があります。 デフォルト: member,uniqueMember
マネージャーID	ユーザーのマネージャーを示すユーザーオブジェクトの属性の名前。 デフォルト: manager

項目	説明
マネージャーID値	マネージャーIDの属性の値を説明するユーザーオブジェクトの属性の名前。たとえば、 マネージャーID 属性の値が識別名 (cn=John Smith, ou=People, o=xyz.comなど) である場合、このフィールドの値はdn (識別名) などとなります。また、 マネージャーID が電子メールアドレス (admin@xyz.comなど) である場合、このフィールドはemailなどとなります。 デフォルト: dn
ユーザーアバター	ユーザーにログインしているユーザーに関して表示されるユーザーアバター画像のURLを表すLDAP属性。アバターが指定されていない場合、デフォルトのアバター画像が使用されます。

ユーザーログイン設定

ユーザー検索ベースのログイン方法を使用して情報へのアクセスを認証します。


項目	説明
ユーザー名属性	ログイン時に使用するユーザー名が格納されたユーザーオブジェクトの属性の名前。このフィールドの値を確認するには、LDAPディレクトリ内のユーザーオブジェクトを参照し、一意のユーザー名を含む属性を特定してください。[ユーザー名属性]としては、ユーザーオブジェクトで電子メールアドレスの値を持つ属性を使用する場合もあります。 例: userPrincipalName、sAMAccountName、uid
ユーザー検索ベース	ユーザーのレコードが配置されているLDAPディレクトリ内の場所。ベースDNに対する相対的な位置で示します。ベースDNの下にある共通ディレクトリにない場合、このフィールドは空白にしてください。 例: cn=Usersまたはou=People
ユーザー検索フィルター	ログイン時にユーザーを識別するために使用するLDAPクエリの一般形式を指定します。ここには{0}というパターンが含まれます。これは、ログイン時にユーザーが入力するユーザー名です。フィルターは一般的に{<属性>= 0}という形式で指定されます。通常、<属性>には[ユーザー名属性]に入力した値が使用されます。 例: userPrincipalName={0}、sAMAccountName={0}、uid={0}
検索オプション (サブツリーの検索)	ユーザーがログインしたときに、ユーザーアカウントを見つけるためにLDAPディレクトリに対するクエリが実行されます。[ユーザー検索ベース]の下の検索の深さは、[サブツリーの検索]設定によって制御されます。 [ユーザー検索ベース]と、[ユーザー検索ベース]の下のサブツリーすべてでユーザーを検索するには、[サブツリーの検索] チェックボックスが選択されていることを確認します。

項目	説明
	サブツリーを除外して [ユーザー検索ベース] のみでユーザーを検索するには、[サブツリーの検索] チェックボックスの選択を解除します。

SAML構成の追加

注: このタスクを実行するには、組織の [認証] ビューを開く必要があります (詳細については「[認証構成の表示](#)」(157ページ)を参照してください)。

組織のSAMLを構成するには、次の手順を実行します。


1. [認証] ビューが開いたら、[構成の追加] をクリックします。
2. [新規認証の作成] ダイアログで、[SAML構成] を選択して、 をクリックします。
3. [SAMLサーバー設定] ダイアログで、必須フィールドの値を入力します。
4. [保存](#) をクリックし、認証設定を保存します。

組織の認証のリストに、新しいSAML認証構成が表示されます。

認証構成の編集

注: このタスクを実行するには、組織の [認証] ビューを開く必要があります (詳細については「[認証構成の表示](#)」(157ページ)を参照してください)。


認証構成を編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集する認証構成用の [認証] ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. [LDAPサーバー設定] または [SAMLサーバー設定] ダイアログで、変更内容を入力し、[保存](#) をクリックして変更を保存します。

認証構成の削除

注: このタスクを実行するには、組織の [認証] ビューを開く必要があります (詳細については「[認証構成の表示](#)」(157ページ)を参照してください)。

認証構成を削除するには、次の手順を実行します。

1. 削除する認証構成用の [認証] ビューで、削除  アイコンをクリックします。
2. 認証構成の削除を確認します。

HPE Propel の認証構成が削除されます。

カスタマイズの管理

概念

HPE Propel 管理者は、組織用の HPE Propel ポータル の各種項目をカスタマイズできます。

タスク

管理者は、[カスタマイズ] ビューで次のタスクを実行できます。

- 「[カスタマイズの表示](#)」(162 ページ)
- 「[新規キーペアの追加](#)」(162 ページ)
- 「[キーペアの編集](#)」(163 ページ)
- 「[キーペアの削除](#)」(163 ページ)

カスタマイズの表示

組織のすべてのカスタマイズを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで ID アプリケーションをクリックします。
2. [組織リスト] ビューで、表示したいカスタマイズが含まれている組織をクリックします。
3. [組織の詳細] ビューで [カスタマイズ] をクリックします。

[カスタマイズ] ビューが開き、組織のすべてのキーペアとその値が表示されます。

新規キーペアの追加

注: このタスクを実行するには、組織の [カスタマイズ] ビューを開く必要があります (詳細につ

いては「[カスタマイズの表示](#)」(162ページ)を参照してください。

新しいキーペアを組織に追加するには、次の手順を実行します。

1. [カスタマイズ] ビューが開いたら、[キーペアの追加] をクリックします。
2. [キーペアの作成] ダイアログで、キーペアの名前と値を [名前] および [値] に入力します。パブリックにアクセス可能にする新しいキーペアを指定することもできます。
3. **保存** をクリックして、変更内容を保存します。


組織用の新しいHPE Propelキーペアが追加されます。

キーペアの編集

ヒント: HPE Propelのデフォルトのキーペアとそれらの値の詳細については、「[カスタマイズフィールド](#)」(164ページ)を参照してください。

注: このタスクを実行するには、組織の [カスタマイズ] ビューを開く必要があります (詳細については「[カスタマイズの表示](#)」(162ページ)を参照してください)。


組織用のキーペアを編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集するキーペア用の [カスタマイズ] ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. [キーペアの編集] ダイアログで、キーペアの [値] を変更できます。また、キーペアをパブリックにアクセス可能にするかどうかを指定することもできます。
3. **保存** をクリックして、キーペアに対する変更内容を保存します。

キーペアの削除

注: このタスクを実行するには、組織の [カスタマイズ] ビューを開く必要があります (詳細については「[カスタマイズの表示](#)」(162ページ)を参照してください)。

組織用のキーペアを削除するには、次の手順を実行します。

1. 削除するキーペア用の [カスタマイズ] ビューで、削除  アイコンをクリックします。
2. キーペアの削除を確認します。

組織用のHPE Propelキーペアが削除されます。

カスタマイズフィールド

アプリケーションのラベル

キーペア値	説明
portalTitle	組織のポータルログイン画面とヘッダーに表示される名前を入力します。
portalWelcomeMsg	組織のポータルにユーザーがログインしたときにアプリケーション名の下に表示されるようこそメッセージを入力します。
portalFooterMsg	組織のポータルログイン画面とヘッダーの下に表示されるフッターメッセージを入力します。
portalLegalNoticeUrl	組織のポータルログインページの[ログイン]ボタンの下に表示される、組織の法的通知または著作権表示へのリンクを入力します。

外部組織のリンク

キーペア値	説明
portalLegalNoticeUrl	組織の法的注意事項へのリンクを入力します。
portalShowTermsOfUse	適用できません。

アプリケーションの機能拡張

キーペア値	説明
featuredCategory	サービスオファリングを表示する際に使用するおすすめカテゴリを入力します。
portalEndDatePeriod (12か月)	適用できません。
portalEnforceEndDate	適用できません。
portalShowConfirmDialog	適用できません。
portalShowLegalNotice	IDアプリケーションのフッターの法的注意事項 (portalLegalNoticeUrl) の表示を有効または無効にします。機能を有効にするには“true” (デフォルト) に、無効にするには“false” に設定します。

キーペア値	説明
requestOnBehalf	代理要求機能を有効または無効にします。機能を有効にするには“true” (デフォルト) に、無効にするには“false” に設定します。

テーマ

キーペア値	説明
themeName	適用できません。

セキュリティ設定

キーペア値	説明
securityLevel	適用できません。
disclaimerText	適用できません。


ウィジェット

HPE Propel ウィジェットのデフォルトのセットが提供されます。これらのウィジェットは、組織のスタートパッドに追加できます。次のようなウィジェットを使用できます。

- PropelLink (URL)
- 時計


ウィジェットのカスタマイズ

カスタムウィジェットはキーペア値を変更して作成します。カスタムウィジェットを使用して、組織のスタートパッド上にタイルとして表示する機能を追加できます。

キーペア値	説明
widget:PropelLink	このウィジェットは、メインのHPE Propelウェブサイト組織に接続します。
widget:Clock	このウィジェットは、月、曜日、年などの日付情報をスタートパッドに表示します。
カスタムウィジェット	カスタムウィジェットを構成するには、ウィジェットのキーペアの編集  アイコンをクリックします。

キーペア値	説明
	<p>分かりやすい表示名をキーペアに指定し、ウィジェットのプロパティを [値] ボックスに入力します。[キーペア値] ボックスには10,000文字まで入力できます。</p> <p>HPE Propelポータルでカスタムウィジェットが認識されるようにするためには、ウィジェットに接頭辞の "widget:" を付与する必要があります。この命名規則の例については、デフォルトウィジェットの形式を参照してください。</p>

ウィジェットのベストプラクティス

ウィジェットを削除するには、[カスタマイズ] ビューでウィジェットの削除  アイコンをクリックします。この操作は恒久的で、元に戻せないので注意が必要です。

コンテンツのローカライズ

ローカライズしたコンテンツは、次の組織の属性で使用できます。

- portalTitle
- portalWelcomeMsg
- portalFooterMsg
- disclaimerText

ブラウザの設定で目的の言語をアクティブにしておいてください。ローカライズする属性用の「[キーペアの編集](#)」(163ページ)プロセスに従って操作を行います。HPE Propelポータルに次回ログインすると、ローカライズしたコンテンツがこれらのフィールドに表示されます。

ロールの管理

概念

ロールには、HPE Propelの機能を使用可能にするアクセス許可が含まれます。ロールは組織のグループに関連付けられます。この関連付けにより、グループのメンバーはHPE Propelの機能を使用できるようになります。

次のデフォルトのHPE Propelロールが提供されています。

- **Administrator**ロールは、すべての組織に対して、組織、ロール、グループ、アクセス許可を管理する能力を持っています。管理者は、HPE Service Exchange (SX)のコンテンツパックの管理、HPE Propelライセンスの管理、HPE Propel診断の表示も行うことができます。
- **Consumer**ロールには、組織内での基本的なアクセス権限が与えられています。このロールは、組織内のすべてのメンバーシップとHPE Propelポータルへのフルアクセスが与えられた通常のエンドユーザーと捉えることができます。
- **Organization Administrator**ロールは、組織の管理者またはマネージャーと捉えることができます。標準的な業務ロールとしては、組織に対する日常の作業の一環として、HPE Propelポータル内の要求の承認やオーダーの処理を行うマネージャーや管理アシスタントのロールが挙げられます。組織管理者は、カタログ、サプライヤー、承認ポリシー、集約を管理することができます。さらに、組織管理者は、組織内のロール、グループ、アクセス許可を管理できます。

HPEでは、各組織が次のHPE Propelロールの初期セットを持つことをお勧めします。

プロバイダー組織

HPEでは、プロバイダー組織が**Administrator**という1つのロールを提供し、次の表に示すアクセス許可を割り当てることをお勧めします。

アクセス許可
SUPER_IDM_ADMIN
CONTENT_ADMIN
DIAGNOSTICS_ADMIN
LICENSE_ADMIN
SUPPLIER_VIEWER

コンシューマー組織

ほとんどの組織は、コンシューマー組織です。HPEでは、コンシューマー組織が**Organization Administrator**および**Consumer**という2つのロールを提供し、次の表に示すアクセス許可を割り当てることをお勧めします。

アクセス許可	Organization Administratorロール	Consumerロール
IDM_ADMIN	X	
AGGREGATION_ADMIN	X	
CATALOG_ADMIN	X	

CONSUMER		X
ROLE_REST	X	X
SUPPORT		X
SUBSCRIPTION_ADMIN	X	
SUPPLIER_ADMIN	X	

タスク

HPE Propel 管理者は、[**ロール**] ビューで次のタスクを実行できます。

- [「ロールの表示」\(168ページ\)](#)
- [「ロールの追加」\(168ページ\)](#)
- [「ロールの編集」\(169ページ\)](#)
- [「ロールの削除」\(169ページ\)](#)
- [「組織の削除」\(169ページ\)](#)

ロールの表示

組織のすべてのロールを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで**ID**アプリケーションをクリックします。
2. [**組織リスト**] ビューで、表示したいロールが含まれている組織をクリックします。
3. [**組織の詳細**] ビューで [**ロール**] をクリックします。

[**ロール**] ビューが開き、組織内部で関連付けられているすべてのロールが表示されます。

ロールの追加

注: このタスクを実行するには、組織の [**ロール**] ビューを開く必要があります (詳細については [「ロールの表示」\(168ページ\)](#) を参照してください)。

ロールを組織に追加するには、次の手順を実行します。


1. [ルール] ビューが開いたら、[ルールの追加] をクリックします。
2. [ルールの追加] ダイアログで、ルール名と説明を入力し、保存をクリックして新規ルールを保存して終了します。

新規ルールが組織に追加されます。

ルールの編集

注: このタスクを実行するには、組織の[ルール]ビューを開く必要があります (詳細については「[ルールの表示](#)」(168ページ)を参照してください)。

組織内でルールを編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集するルール用の[ルール]ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. [ルール設定の編集] ダイアログで、[ルール名] フィールドと[説明] フィールドを変更します。


ヒント: [ルール設定の編集] ダイアログでは、ルールに関連付けられたアクセス許可を追加または削除することもできます。

3. 保存をクリックして、ルールに対する変更内容を保存します。

ルールの削除

注: このタスクを実行するには、組織の[ルール]ビューを開く必要があります (詳細については「[ルールの表示](#)」(168ページ)を参照してください)。

組織用のルールを削除するには、次の手順を実行します。

1. 組織から削除するルール用の[ルール]ビューで、削除  アイコンをクリックします。
2. 組織からのルールの削除を確認します。


ルールは組織に存在しなくなります。

組織の削除

注: このタスクを実行するには、組織の[ルール]ビューを開く必要があります (詳細については

「[ロールの表示](#)」(168ページ)を参照してください。

組織の削除:

1. [ロール] ビューで  をクリックします。
2. 組織の削除を確認します。

HPE Propel組織が削除されます。

グループの管理

概念

HPE Propel 管理者は、組織にグループを追加できます。これにより、ユーザーの識別や、ユーザーへのロールの割り当てが簡単になります。組織内でグループを定義した後は、ユーザーのさまざまなグループにロールとアクセス許可を割り当てることができます。

HPE Propelグループには次の2つのタイプがあります。

- LDAP表現 - このグループのメンバーは、組織の認証構成で指定される、LDAPサーバー上で構成されます。LDAP表現が作成されると、指定されたLDAPサーバーのメンバーは、HPE Propelにログインできるようになります。
- データベース表現 - このグループのメンバーは、管理者によってLDAPサーバーから手動で追加されます。このタイプのグループは、HPE Propelに対してローカルになります。手動でメンバーを追加するには、事前にLDAP表現グループを作成しておく必要があります。このグループによってLDAPサーバーが指定されます。

データベース表現グループの適格なLDAPユーザーは次のとおりです。

- HPE Propelに以前ログインしたことがあるメンバー。
- HPE Propelに以前ログインしたマネージャーの直属の部下であるメンバー。

タスク

管理者は、[\[グループ\]](#) ビューで次のタスクを実行できます。

- [「グループの表示」](#)(171ページ)
- [「グループの追加」](#)(171ページ)
- [「グループの編集」](#)(172ページ)
- [「ユーザーの追加」](#)(172ページ)
- [「ロールの追加」](#)(173ページ)
- [「関連ユーザーの削除」](#)(173ページ)
- [「関連ロールの削除」](#)(174ページ)
- [「グループの削除」](#)(174ページ)

グループの表示

組織のすべてのグループを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドでIDアプリケーションをクリックします。
2. [組織リスト] ビューで、表示したいグループが含まれている組織をクリックします。
3. [組織の詳細] ビューで[グループ] をクリックします。

[グループ] ビューが開き、組織内にあるすべてのグループ表示されます。


グループの追加

注: このタスクを実行するには、組織の[グループ] ビューを開く必要があります (詳細については[「グループの表示」](#)(171ページ)を参照してください)。

グループを組織に追加するには、次の手順を実行します。

1. [グループ] ビューが開いたら、[グループの追加] をクリックします。
2. [グループの追加] ダイアログボックスが開いたら、次の内容を指定します。
 - [グループ名] を入力します。
 - [グループ表現タイプ] フィールドで、次のいずれかを選択します。
 - **LDAP表現** - ここでは、[識別名] を入力し、[認証] 構成を選択します。
 - **データベース表現** - ここでは、[関連ユーザー] を手動でグループに追加します。**注:** ユーザーをデータベース表現グループに手動で追加する方法の詳細については、[「概念」](#)(170ページ)を参照してください。

作成

3.  をクリックして、新規グループを保存します。

新規グループは、[グループ] リストに表示されます。


この時点では、ロールはグループに関連付けられていません。組織のユーザーにロールを与えるためには、ロールをこのグループに関連付ける必要があります。詳細については「[ロールの管理](#)」(166ページ)を参照してください。

注: 初めてグループを追加してグループ内のロールに関連付けると、統合プロセスができあがりません。まず [グループ] ビューに情報を入力してから、[ロール] ビューにアクセスして、ロールをグループに関連付けます。最後に、[アクセス許可] ビューでアクセス許可をロールに関連付けます。

グループの編集

注: このタスクを実行するには、組織の [グループ] ビューを開く必要があります (詳細については「[グループの表示](#)」(171ページ)を参照してください)。


組織内でグループを編集するには、次の手順を実行します。

1. 編集するグループ用の [グループ] ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. [グループ設定の編集] ダイアログで、次の設定を変更できます。
 - LDAP 表現グループの場合 — **グループ名**、**識別名**、**認証**。また、**関連ロール**を追加することもできます。
 - データベース表現グループの場合 — **グループ名**。また、**関連ユーザー**と**関連ロール**を追加することもできます。
3. **保存** をクリックして、グループに対する変更内容を保存します。

ユーザーの追加

注: このタスクを実行するには、組織の [グループ] ビューを開く必要があります (詳細については「[グループの表示](#)」(171ページ)を参照してください)。関連ユーザーを追加できるのは、データベース表現グループだけです。

関連ユーザーをグループに追加するには、次の手順を実行します。


1. ユーザーを追加するグループ用の **[グループ]** ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. **[グループ設定の編集]** ビューで、**[ユーザーの追加]** (**[関連ユーザー]** フィールドの右側) をクリックします。
3. **[ユーザーの追加]** ダイアログで、グループに追加するユーザーを選択し、**保存** をクリックして終了します。

新規ユーザーが **[関連ユーザー]** フィールドに表示されます。

ロールの追加

注: このタスクを実行するには、組織の **[グループ]** ビューを開く必要があります (詳細については **[グループの表示]** (171 ページ) を参照してください)。

関連ロールをグループに追加するには、次の手順を実行します。


1. ロールを追加するグループ用の **[グループ]** ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. **[グループ設定の編集]** ダイアログで、**[ロールの追加]** (**[関連ロール]** フィールドの右側) をクリックします。
3. **[ロールの追加]** ダイアログで、グループに追加するロールを選択し、**保存** をクリックして終了します。

新規ロールが **[関連ロール]** フィールドに表示されます。

関連ユーザーの削除

注: このタスクを実行するには、組織の **[グループ]** ビューを開く必要があります (詳細については **[グループの表示]** (171 ページ) を参照してください)。関連ユーザーを削除できるのは、データベース表現グループからだけです。

グループから関連ユーザーを削除するには、次の手順を実行します。



1. 関連ユーザーを削除するグループ用の **[グループ]** ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. **[グループ設定の編集]** ダイアログで、関連ユーザーの右にある **[X]** をクリックして、グループから削除します。
3. グループからの関連ユーザーの削除を確認して終了します。

関連ユーザーがグループから削除されます。

関連ロールの削除

注: このタスクを実行するには、組織の [グループ] ビューを開く必要があります (詳細については「[グループの表示](#)」(171ページ)を参照してください)。

グループから関連ロールを削除するには、次の手順を実行します。


1. 関連ロールを削除するグループ用の [グループ] ビューで、編集  アイコンをクリックします。
2. [グループ設定の編集] ダイアログで、関連ロールの右側にある削除  アイコンをクリックします。
3. グループからの関連ロールの削除を確認して終了します。

関連ロールがグループから削除されます。

グループの削除

注: このタスクを実行するには、組織の [グループ] ビューを開く必要があります (詳細については「[グループの表示](#)」(171ページ)を参照してください)。

組織からグループを削除するには、次の手順を実行します。

1. 削除するグループ用の [グループ] ビューで、削除  アイコンをクリックします。
2. [グループの削除] ダイアログで、グループの削除を確認します。

HPE Propelグループが削除されます。

アクセス許可の管理

概念

アクセス許可は認証の最も基本的な単位で、HPE Propelのアプリケーションとサービスへのアクセスが可能になります。

アクセス許可はロールに関連付けられ、ロールは組織のグループに関連付けられます。これにより、グループのメンバーは特定のHPE Propel機能を持つことができます。

次のデフォルトのHPE Propelアクセス許可が提供されています。

ID管理 (IdM) のアクセス許可

アクセス許可	タイプ	説明	用途
IDM_ADMIN	コンシューマー	ユーザーの組織を対象としたすべてのIdM操作を可能にします。	コンシューマー組織管理者
SUPER_IDM_ADMIN	プロバイダー	すべての組織に対するすべてのIdM操作を可能にします (プロバイダー組織の削除を除く)。	プロバイダー組織管理者
ROLE_REST	コンシューマー	すべてのユーザーに割り当てられるデフォルトのロール。	すべてのユーザーに自動的に割り当てられます。

カタログのアクセス許可

アクセス許可	タイプ	説明	制約
CATALOG_ADMIN	コンシューマー	カタログの管理を可能にします。	カタログアイテムの認証を管理するために、ユーザーにはIDM_ADMINアクセス許可も割り当てする必要があります。
SUPSCRIPTION_ADMIN	コンシューマー	サブスクリプションの管理を可能にします。	

HPE Service Exchange (SX) のアクセス許可

アクセス許可	タイプ	説明	用途
AGGREGATION_ADMIN	コンシューマー	オフリングのカタログへの集約を実行します。	コンシューマー組織管理者
INTEGRATOR	プロバイダー	SXトランスポートユーザーによるカタログ操作の実行を可能にします。	SXトランスポートユーザー

その他のアクセス許可

アクセス許可	タイプ	説明	用途
CONTENT_ADMIN	プロバイダー	HPE SXのコンテンツバックを管理します。	プロバイダー組織管理者
LICENSE_ADMIN	プロバイダー	ライセンス詳細の表示と新規ライセンスのアップロードを可能にします。	HPE Propelライセンスを管理する管理者
CONSUMER	コンシューマー	サービスの要求と承認を可能にします。	通常は、すべてのコンシューマー組織ユーザーに割り当てられます。
SEARCH	プロバイダー	検索操作を可能にします。	検索サービスのトランスポートユーザー
SUPPORT	コンシューマー	サポートアイテムへのアクセスを可能にします。	コンシューマー組織管理者
DIAGNOSTICS_ADMIN	プロバイダー	HPE Propel診断メトリックの表示と管理を可能にします。	プロバイダー組織管理者
SUPPLIER_ADMIN	コンシューマー	HPE Propelサプライヤーの管理を可能にします。	コンシューマー組織管理者
SUPPLIER_VIEWER	プロバイダー	HPE Propelサプライヤーの表示を可能にします。	プロバイダー組織管理者

注: デフォルトのHPE Propelアクセス許可を編集または削除することはできません。

タスク

管理者は、[アクセス許可]ビューで次のタスクを実行できます。

- 「アクセス許可の表示」(177ページ)
- 「アクセス許可の管理」(177ページ)
- 「グループのロールへの関連付け」(177ページ)
- 「アクセス許可のロールへの関連付け」(178ページ)
- 「ロールからのグループの削除」(178ページ)

- [「ロールからのアクセス許可の削除」\(178ページ\)](#)
- [「組織の削除」\(179ページ\)](#)

アクセス許可の表示

組織のロールに関連付けられたすべてのアクセス許可とグループを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで **ID** アプリケーションをクリックします。
2. **[組織リスト]** ビューで、表示したいアクセス許可が含まれている組織をクリックします。
3. **[組織の詳細]** ビューで **[アクセス許可]** をクリックします。

[アクセス許可] ビューが開き、組織のロールに関連付けられたすべてのアクセス許可とグループが表示されます。

アクセス許可の管理

注: このタスクを実行するには、組織の **[アクセス許可]** ビューを開く必要があります (詳細については [「アクセス許可の表示」\(177ページ\)](#) を参照してください)。

組織のアクセス許可を管理するには、次の手順を実行します。

1. **[アクセス許可]** ビューで **[アクセス許可の管理]** をクリックします。組織のすべてのアクセス許可が表示されます。
2. **[アクセス許可リスト]** ビューでは、組織に新規アクセス許可を追加し、アクセス許可を編集し、アクセス許可を削除することができます。

注: デフォルトの HPE Propel アクセス許可を編集または削除することはできません。

グループのロールへの関連付け

注: このタスクを実行するには、組織の **[アクセス許可]** ビューを開く必要があります (詳細については [「アクセス許可の表示」\(177ページ\)](#) を参照してください)。

組織のグループをロールに関連付けるには、次の手順を実行します。

1. グループに関連付けるロール用の **[アクセス許可]** ビューで、**[グループの追加]** をクリックします。
2. **[グループの追加]** ダイアログで、グループを選択し、**保存** をクリックして終了します。

指定したグループがロールと関連付けられ、ロールの下に表示されます。

アクセス許可のロールへの関連付け

注: このタスクを実行するには、組織の **[アクセス許可]** ビューを開く必要があります (詳細については **「アクセス許可の表示」** (177 ページ) を参照してください)。

組織のロールにアクセス許可を関連付けるには、次の手順を実行します。

1. アクセス許可に関連付けるロール用の **[アクセス許可]** ビューで、**[アクセス許可の追加]** をクリックします。
2. **[アクセス許可の追加]** ダイアログで、アクセス許可を選択し、**保存** をクリックして新規アクセス許可を保存して終了します。

指定したアクセス許可がロールと関連付けられ、ロールの下に表示されます。

ロールからのグループの削除

注: このタスクを実行するには、組織の **[アクセス許可]** ビューを開く必要があります (詳細については **「アクセス許可の表示」** (177 ページ) を参照してください)。

組織のロールからグループの関連付けを削除するには、次の手順を実行します。


1. グループを削除するロール用の **[アクセス許可]** ビューで、グループの削除 **✕** アイコンをクリックします。
2. ロールからのグループの削除を確認します。

グループはそのロールに関連付けられなくなります。

ロールからのアクセス許可の削除

注: このタスクを実行するには、組織の **[アクセス許可]** ビューを開く必要があります (詳細については **「アクセス許可の表示」** (177 ページ) を参照してください)。

組織のロールからアクセス許可の関連付けを削除するには、次の手順を実行します。


1. アクセス許可を削除するロール用の[アクセス許可]ビューで、アクセス許可の削除  アイコンをクリックします。
2. ロールからのアクセス許可の削除を確認します。

アクセス許可はそのロールに関連付けられなくなります。

組織の削除

注: このタスクを実行するには、組織の[アクセス許可]ビューを開く必要があります (詳細については「[アクセス許可の表示](#)」(177ページ)を参照してください)。

組織の削除:

1. [アクセス許可]ビューで  をクリックします。
2. 組織の削除を確認します。

HPE Propel 組織が削除されます。

偽装の管理

概念

組織のグループのメンバーは、当該組織内の別のグループのメンバーの代わりに、HPE Propel カタログアイテムを要求することができます。これは、代理要求 (RoB) と呼ばれます。

RoBの必須グループは、次のとおりです。

- 偽装グループ - このグループのメンバーは、偽装ターゲットグループの代わりに、カタログアイテムを要求できます。
- 偽装ターゲットグループ - このグループのメンバーは、偽装されたメンバーが利用可能なカタログアイテムをショッピングまたは要求する目的で、偽装グループのメンバーによって偽装できます。

RoBを容易にするために、HPE Propel 管理者は、偽装を管理します。

タスク

HPE Propel 管理者は、**[偽装]**ビューで次のタスクを実行できます。

- [「偽装の表示」\(180ページ\)](#)
- [「偽装の追加」\(180ページ\)](#)
- [「偽装の削除」\(181ページ\)](#)

偽装の表示

組織のすべての偽装を表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで**ID**アプリケーションをクリックします。
2. **[組織リスト]**ビューで、表示したい偽装が含まれている組織をクリックします。
3. **[組織の詳細]**ビューで**[偽装]**をクリックします。

[偽装]ビューが開き、組織内にあるすべての偽装が表示されます。

[代理グループの管理]の下に表示されるグループが、偽装ターゲットグループです。このグループのメンバーは、カタログアイテムを代理要求することができます。

偽装の追加

注: このタスクを実行するには、組織の**[偽装]**ビューを開く必要があります(詳細については[「偽装の表示」\(180ページ\)](#)を参照してください)。偽装を作成する前に、偽装グループと偽装ターゲットグループを作成する必要があります(詳細については、[「概念」\(179ページ\)](#)を参照してください)。

偽装を組織に追加するには、次の手順を実行します。


1. **[偽装]**ビューが開いたら、**[グループの追加]**をクリックします。
2. **[グループの追加]**ダイアログで、偽装ターゲットグループのメンバーの代わりに、カタログアイテムを要求できるメンバーを含む、偽装グループを選択します。
3. **[代理グループの追加]**ダイアログで、アイテムを代理要求するメンバーを含む偽装ターゲットグループを選択します。
4. **保存**をクリックして、変更内容を保存します。

新規偽装は、**[偽装]**リストに表示されます。

偽装の削除

注: このタスクを実行するには、組織の[偽装]ビューを開く必要があります(詳細については「[偽装の表示](#)」(180ページ)を参照してください)。

組織用の偽装を削除するには、次の手順を実行します。

1. 組織から削除する偽装用の[偽装]ビューで、削除  アイコンをクリックします。
2. 組織からの偽装の削除を確認します。

前の偽装が組織から削除されます。

HPE Propel自動化ライセンス

概念

HPE Propel 管理者は、HPE Propelソフトウェアライセンスを表示および管理できます(他のユーザーが実行できる操作は、ライセンス情報の表示です)。

HPE Propelライセンスには次のタイプがあります。

- インスタントオン – HPE Propelのインストール時に実装され、有効期限は60日です。
- 恒久 – 制限や有効期限はありません。

HPE Propelにユーザーがログインすると、次の場合にライセンスステータスバナーが表示されます。

- ライセンスの有効期限が近い場合。
- ライセンスが期限切れの場合。

バナー情報が更新されるタイミングは、表示を更新時、HPE Propelへのログイン時、スタートパッドのタイクをクリックしてHPE Propelポータルの新しいセクションに移動したときです。

注: [ライセンス管理]ビューでライセンスを管理するには、adminでログインする必要があります。

タスク

次のタスクを実行するには、スタートパッドに移動し、アバターをクリックして **[ライセンス]** を選択します。

ヒント: adminユーザーでログインしている場合、**[ライセンス管理]** ビューにアクセスするには、任意のHPE Propelビューでアバターをクリックして、**[ライセンス]** を選択します。

- **ソフトウェアライセンスに関する次の情報を表示します。**
 - 製品の名前。
 - 製品のバージョン。
 - ライセンスのタイプ。
 - ライセンスの有効期限。
 - ライセンスが発行された理由。
- **ライセンスをダウンロードする方法**
 - 評価ライセンスの場合
[Propelセンター](#)
- **ライセンスを更新する方法**
 - a. **[ライセンス管理]** ビューで、**ライセンスのアップロード** をクリックします。
 - b. **[ファイルのアップロード]** ダイアログで、ダウンロード済みのHPE Propelライセンスを選択し、**[オープン]** をクリックします。

HPE Propelライセンスが適用され、詳細が**[ライセンス管理]** ビューに表示されます。

注: 最後に適用したライセンスが**[ライセンス管理]** ビューに表示されます。

HPE SXコンテンツ管理

概念

コンテンツパックは、HPE Service Exchange (SX) に対する拡張ポイントです。アダプターとコンテンツパックを組み合わせることによって、HPE SXとエンドポイントシステム (HPE Service Manager (SM) やHPE Cloud Service Automation (CSA) の通信が可能になります。コンテンツパックはZIPファイルまたはJARファイルであり、オペレーション定義、Free Markerテンプレート、HPE Operations Orchestration (OO) フロー、またはその他構成ファイルが格納されています。コンテンツパックには、要求-フルフィルメント (R2F) ユースケースに、HPE OOフローにモデリングされたオーダーメッセージライフサイクルが含まれています。コンテンツパックのインストールとアンインストールは、行います。

ヒント: コンテンツ管理の詳細については、『HPE Propel Service Exchange SDK』を参照してください。

HPE Propel 管理者は、**コンテンツ管理**アプリケーションを使用して、HPE Propelコンテンツパックを表示、ダウンロード、アップロード、および削除します。ダウンロードと削除では、関連のHPE OO JARファイル (HPE OOコンテンツパック) のアップロードまたは削除を行い、HPE SXのカスタマイズをHPE Propelにマージします。

コンテンツパックの構造

コンテンツパックはそれぞれ構造が異なりますが、一般的に次のフォルダーとファイルが使用されます。

- oo - カスタムHPE OOフローを含むHPE OOコンテンツパックが格納されているフォルダー
- sx - HPE SX固有の構成ファイルが格納されているフォルダー
- template- Free Markerテンプレートが格納されているフォルダー
- operations.json - HPE SXオペレーション定義が格納されているファイル
- flows.json - アダプターのマッピングとOOフローのメッセージタイプが格納されているファイル
- metadata.json - コンテンツパックの定義ファイル

他にも、次のようなコンテンツパック構造があります。

- HPE SMコンテンツパックのsmフォルダーには、カスタマイズ用HPE SMアンロードファイルが格納されています。
- TicketingコンテンツパックにはOOフロー (HPE OOコンテンツパック) がないので、ooフォルダーとflows.jsonファイルはありません。

タスク

HPE Propel 管理者は、**コンテンツ管理** アプリケーションで次のタスクを実行できます。

- [「コンテンツパックの表示」](#)(184ページ)
- [「コンテンツパックのダウンロード」](#)(184ページ)
- [「コンテンツパックのアップロード」](#)(184ページ)
- [「コンテンツパックの削除」](#)(185ページ)

コンテンツパックの表示

HPE Propelコンテンツパックを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**コンテンツ管理** アプリケーションをクリックします。

[**コンテンツパックリスト**] が開き、HPE Propelコンテンツパックが一覧表示されます。


コンテンツパックの詳細については、[「コンテンツパックの詳細」](#)を参照してください。

コンテンツパックのダウンロード

コンテンツパックをダウンロードするには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**コンテンツ管理** アプリケーションをクリックします。[**コンテンツパックリスト**] が開き、コンテンツパックが一覧表示されます。



2. ダウンロードするコンテンツパックの  をクリックし、[**ダウンロード**] を選択します。
3. ダウンロードダイアログで、コンテンツパックファイルを保存します。

HPE Propelコンテンツパックが、ファイルシステムにダウンロードされます。

コンテンツパックのアップロード

コンテンツパックをアップロードするには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**コンテンツ管理** アプリケーションをクリックします。[**コンテンツパックリスト**] が開き、HPE Propelコンテンツパックが一覧表示されます。

新しいコンテンツパックのアップロード

2. [新しいコンテンツパックのアップロード](#) をクリックします。
3. [ファイルのアップロード] ダイアログで、アップロードする .zip ファイルまたは .jar ファイルを選択します。
4. [オープン] をクリックします。

アップロードが完了すると、[コンテンツ管理] ビューの上に確認メッセージが表示されます。コンテンツパックのアップロード時間が表示されます。


注: ロード済みのコンテンツパックをアップロードすると、HPE SX によって既存のバージョンは上書きされます。コンテンツパックは、メタデータファイルに保存されている ID 属性で識別されます。

コンテンツパックの削除

コンテンツパックを削除するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**コンテンツ管理** アプリケーションをクリックします。[コンテンツパックリスト] が開き、HPE Propel コンテンツパックが一覧表示されます。



2. 削除するコンテンツパックの  をクリックし、[削除] を選択します。
3. コンテンツパックの削除を確認するダイアログボックスが開きます。

HPE Propel コンテンツパックが削除されます。

関連トピック

[「コンテンツパックの詳細」\(186 ページ\)](#)

ヒント: 最新英語バージョンの HPE Propel 管理者 ヘルプの場合、[ここ](#) をクリックし、HPE Passport の資格情報 (ユーザー ID とパスワード) を入力します。あるいは、HPE ソフトウェア サポート サイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passport の資格情報を入力し、[Sign In] をクリックします。検索テキストボックスに「Propel ヘルプ」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプ PDF を選択します。

コンテンツパックの詳細

[コンテンツパックの詳細] ビューには、次のような詳細情報が表示されます。この情報はユーザーが定義し、コンテンツパックのmetadata.jsonファイルから抽出されます。

[コンテンツパックリスト] ビュー内でHPE Propelコンテンツパックの名前をクリックすると、次の詳細情報が表示されます。

値	説明
コンテンツパックID	コンテンツパックに割り当てられている一意のID
バージョン	ユーザーが定義したコンテンツパックバージョン番号。注: コンテンツパックのアップロードまたは再アップロードを行う場合は、まずバージョンを更新してください。
アダプター	コンテンツパック作成時のHPE Propelアダプター。
機能	ユーザーが定義したコンテンツパックの機能。注: コンテンツパックのアップロードまたは再アップロードを行う場合は、まず機能を更新してください。
OOコンテンツパック	HPE Operations Orchestrationコンテンツパック

ヒント: コンテンツ管理およびHPE Propelコンテンツパックの詳細については、『HPE Propel Service Exchange SDK』を参照してください。

診断

概念

診断アプリケーションは、HPE Propel 管理者にHPE Propelサービスおよびサプライヤーに関する基本的なサービスのモニタリングおよび正常性ステータスを提供します。

サービスには、HPE Propelバックエンドサービスおよびユーザーインターフェイス (UI) サービスが含まれます。バックエンドサービスの例として、Service Exchange、ID管理 (IdM)、および検索などがあります。UIサービスの例として、カタログ接続、スタートパッド、およびショップなどがあります。

サプライヤーとは、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムです。サプライヤーの例として、プロバイダーシステム、フルフィルメントシステム、およびチケット処理システムなどがあります。HPE Service Manager (SM) サプライヤーの場合、アンロードファイルのステータスは、[[サプライヤーの詳細](#)] ビューで表示できます。

注: 診断アプリケーションにアクセスするには、adminユーザーとしてログインする必要があります。

タスク

HPE Propel 管理者は、[[診断](#)] アプリケーションで次のタスクを実行できます。

- 「[HPE Propelサービスのステータスの表示](#)」(188ページ)
- 「[HPE Propelサービスの詳細の表示](#)」(189ページ)
- 「[サプライヤーのステータスの表示](#)」(190ページ)
- 「[サプライヤーの詳細の表示](#)」(190ページ) ([[概要](#)] および [[構成チェック](#)] ビューを含む)

ヒント: 最新英語バージョンのHPE Propel 管理者ヘルプの場合、[ここ](#)をクリックし、HPE Passportの資格情報 (ユーザーIDとパスワード) を入力します。あるいは、HPEソフトウェアサポートサイト (<https://softwaresupport.hpe.com/group/softwaresupport>) をご覧ください。HPE Passportの資格情報を入力し、[[Sign In](#)] をクリックします。検索テキストボックスに「[Propelヘルプ](#)」と入力します。結果セクションで、日付が最も新しいヘルプPDFを選択します。

HPE Propelサービスのステータスの表示

概念

診断 アプリケーションは、HPE Propel 管理者にHPE Propelサービスに関する基本的なモニタリングおよび正常性ステータスを提供します。サービスには、HPE Propelバックエンドおよびユーザーインターフェイス (UI) サービスが含まれます。

HPE Propelバックエンド サービスの例として、Service Exchange、ID管理 (IdM)、および検索などがあります。

HPE PropelUIサービスの例として、カタログ接続、スタートパッド、およびショップなどがあります。

タスク

HPE Propelサービスの正常性ステータスを表示するには、次の手順を実行します。


1. スタートパッドで、**診断** アプリケーションをクリックします。
2. まだ選択されていない場合は、**[Propel]** をクリックします。

HPE Propelバックエンド サービスとUIサービスのステータスの概要が表示されます。ステータス情報の色の設定は次のとおりです。

- 緑 = 既知の問題なし
- 赤 = 1つ以上の問題が存在

バックエンド サービスがドーナツグラフに表示され、成功と失敗の数を示します。バックエンド サービスをクリックすると、**[サービスの詳細]** ビューに移動します。

UIサービスはステータスインジケータ付きのアイコンで表示されます。追加詳細はUIサービスでは利用できません。

ヒント: HPE Propelサービスの正常性ステータスを更新するには、更新  アイコンをクリックします。

HPE Propelサービスの詳細の表示

概念

診断アプリケーションは、HPE Propel 管理者にHPE Propelサービスに関する基本的なモニタリングおよび正常性ステータスを提供します。サービスには、HPE Propelバックエンドおよびユーザーインターフェイス (UI) サービスが含まれます。

HPE Propelバックエンドサービスの例として、Service Exchange、ID管理 (IdM)、および検索などがあります。

HPE PropelUIサービスの例として、カタログ接続、スタートパッド、およびショップなどがあります。

タスク

バックエンドサービスの詳細な正常性ステータスを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**診断**アプリケーションをクリックします。
2. まだ選択されていない場合は、**[Propel]** をクリックします。HPE Propelサービスのステータスの概要が表示されます。
3. HPE Propelバックエンドサービスをクリックして、サービスの詳細を表示します。(詳細はUIサービスでは利用できません)。

表示される情報はサービスによって異なりますが、通常は次のような情報が表示されます。

- サービス正常性ステータス。
- すべてのサービスの依存関係が満たされているか (IdMなどの別のサービス、またはデータベースなどの内部サービスへの依存など)。
- 使用済みヒープメモリに関する情報を含む、基本的なモニタリングチャート。

さらに、Service Exchangeサービスの失敗したメッセージを表示して消去することもできます。

サプライヤーのステータスの表示

概念

診断アプリケーションは、HPE Propel 管理者にHPE Propelサービスに関する基本的なモニタリングおよび正常性ステータスを提供します。サプライヤーとは、プロバイダー、フルフィルメント、およびチケット処理システムなど、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。

タスク


サービスの正常性ステータスを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**診断**アプリケーションをクリックします。
2. **[サプライヤー]**をクリックします。

サプライヤーのステータスの概要が表示されます。ステータス情報の色の設定は次のとおりです。

- 緑 = 既知の問題なし
- 赤 = 1つ以上の問題が存在

サプライヤーがドーナツグラフに表示され、成功と失敗の数を示します。サプライヤーをクリックすると、**[サプライヤーの詳細]**ビューに移動します。

ヒント: HPE Propelサプライヤーの正常性ステータスを更新するには、更新  アイコンをクリックします。

サプライヤーの詳細の表示

概念

診断アプリケーションは、HPE Propel 管理者にHPE Propelサービスに関する基本的なモニタリングおよび正常性ステータスを提供します。サプライヤーとは、プロバイダー、フルフィルメント、およびチケット処理システムなど、HPE Propelと統合されたエンドポイントシステムを指します。

タスク

管理者は、[[サプライヤーの詳細](#)] ビューで次のタスクを実行できます。

- [「サプライヤーの診断の表示」](#)(191ページ)
- [「サプライヤーの概要の表示」](#)(191ページ)
- [「サプライヤーの構成チェックの表示」](#)(192ページ)

サプライヤーの診断の表示

サプライヤーの詳細な正常性ステータスを表示するには、次の手順を実行します。

1. スタートパッドで、**診断**アプリケーションをクリックします。
2. [[サプライヤー](#)] をクリックします。HPE Propel サプライヤーの高レベルのステータスが表示されます。
3. サプライヤーをクリックして、詳細なステータス情報を表示します。

表示される情報はサプライヤーによって異なりますが、通常は次のような情報が表示されます。

- エンドポイントのアクセシビリティステータス。
- 統合アカウントログインの成功または失敗。
- 新規オーダーとサポートチケット、応答時間、要求のステータスなどの情報を示す基本的なモニタリングチャート。

ヒント: サプライヤーの正常性ステータスが失敗ステータスの場合、ステータスアイコンをクリックして詳細情報を表示できます。

サプライヤーの概要の表示

注: このタスクを実行するには、サプライヤーの [[サプライヤーの詳細](#)] ビューを開く必要があります。(詳細については [「サプライヤーの診断の表示」](#)(191ページ)を参照してください)。

サプライヤーの全般的なプロパティとユーザープロパティを表示するには、次の手順を実行します。

1. [[サプライヤーの詳細](#)] ビューで [**概要**] をクリックします。

サプライヤーの次のプロパティが表示されます。

- エンドポイント、プロセスデザイナー、およびLWSSO値を含む一般的なプロパティ。
- ログイン名、およびパスワードが指定されているかどうかを含む、ユーザープロパティ。

サプライヤーの構成チェックの表示

注: このタスクを実行するには、サプライヤーの[[サプライヤーの詳細](#)]ビューを開く必要があります。(詳細については「[サプライヤーの診断の表示](#)」(191ページ)を参照してください)。構成チェックが使用できるのは、HPE SMサプライヤーに対してだけです。

HPE SMシステムの構成ステータスを表示するには、次の手順を実行します。

1. [サプライヤーの詳細]ビューで[構成チェック]をクリックします。

各HPE SMアンロードファイルの一般設定とステータスが表示されます。

ドキュメントのフィードバックの送信

本ドキュメントについてのご意見、ご感想については、電子メールでドキュメント制作チームまでご連絡ください。このシステムで電子メールクライアントが設定されていれば、このリンクをクリックすることで、以下の情報が件名に記入された電子メールウィンドウが開きます。

フィードバック: HPE Propel管理者ヘルプ (Propel 2.20)

本文にご意見、ご感想を記入の上、[送信]をクリックしてください。

電子メールクライアントが利用できない場合は、上記の情報をコピーしてWebメールクライアントの新規メッセージに貼り付け、Propel_IE@hpe.com 宛にお送りください。

お客様からのご意見、ご感想をお待ちしています。

